

# 北海道議会時報

令和2年第2回定例会

北海道議会事務局

# もくじ

議会日誌	1
令和2年度北海道補正予算の概要	2

## 第2回定例会

概要	4
本会議	6
提出案件	22
会議案	25
意見案	28

## 委員会の動き

議会運営委員会	40
常任委員会	43
総務委員会	
総合政策委員会	
環境生活委員会	
保健福祉委員会	
経済委員会	
農政委員会	
水産林務委員会	
建設委員会	
文教委員会	
特別委員会	54
産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
新幹線・総合交通体系対策特別委員会	
人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会	
少子・高齢社会対策特別委員会	
食と観光対策特別委員会	
北海道地方路線問題調査特別委員会	
予算特別委員会	60

## 資料

第2回定例会において議決を経た条例の公布調	84
5月・6月・7月の出来事	85

本書においては、便宜上、会派の名称を次のとおり表記した。

自民党・道民会議	-----	自民
民主・道民連合	-----	民主
北海道結志会	-----	結志
公明党	-----	公明
日本共産党	-----	共産



# 議会日誌

## ▶ 5月

- 12日(火) 各常任委員会  
13日(水) 各特別委員会

## ▶ 6月

- 2日(火) 各常任委員会  
3日(水) 各特別委員会  
9日(火) 議会運営委員会  
15日(月) 議会運営委員会  
各常任委員会  
各特別委員会  
16日(火) 議会運営委員会  
新庁舎移転に伴う議長あいさつ

### [第2回定例会開会]

- 本会議** (会期決定〈18日間〉、提案説明、質疑〈5人〉、議案可決、会議案1件可決)  
19日(金) 議会運営委員会  
**本会議** (一般質問〈3人〉)  
22日(月) 議会運営委員会  
**本会議** (一般質問〈4人〉)  
23日(火) 議会運営委員会  
**本会議** (一般質問〈6人〉)  
24日(水) 議会運営委員会  
**本会議** (一般質問〈7人〉、追加提出議案説明、予算特別委員会設置、会議案1件説明)  
予算特別委員会 (正・副委員長の互選、2分科会を設置)  
予算特別委員会第1・第2分科会 (正・副委員長の互選)  
26日(金) 予算特別委員会第1・第2分科会 (各部所管審査)  
29日(月) 予算特別委員会第1・第2分科会 (各部所管審査)  
30日(火) 予算特別委員会第1・第2分科会 (各部所管審査)  
議会運営委員会

## ▶ 7月

- 1日(水) 予算特別委員会 (各分科委員長報告)  
2日(木) 予算特別委員会 (総括質疑)  
3日(金) 各常任委員会  
各特別委員会  
議会運営委員会  
**本会議** (各委員長報告、議案等可決、会議案1件可決、追加提出議案説明・同意議決、意見案8件可決、関係委員会の閉会中請願継続審査及び事務継続調査の決定)

### [第2回定例会閉会]

## 令和2年度北海道補正予算の概要

**第2回定例会において、次のとおり補正予算について審議し、可決しました。**

### ○令和2年度北海道一般会計補正予算（第4号）

(単位 千円)

歳 入	歳 出
国 庫 支 出 金 29, 611, 684	総合政策費 123, 341
寄 附 金 100, 000	環境生活費 100, 000
繰 入 金 335, 378	保健福祉費 23, 948, 347
	経済費 2, 830, 874
	農政費 1, 992, 300
	水産林務費 1, 052, 200
計 30, 047, 062	計 30, 047, 062

令和2年第2回定例会で可決した一般会計補正予算は、総額約300億4,700万円。

歳出予算の主なものは、保健所設置市が行う医療提供体制の整備に対して支援することとして新型コロナウイルス感染症緊急対策費補助金46億8,100万円、感染症の影響により収入の減少等があった世帯に対する特例貸付の原資を追加するため、生活福祉資金貸付事業費補助金169億2,000万円、観光需要の段階的な回復を図るため、道民の皆様を対象とした旅行商品の割引を支援することとして観光誘客促進道民割引事業費24億9,200万円、道産水産物の価格低下などの影響を軽減するため、学校給食の食材として道産水産物を無償提供する取組を支援することとして9億6,200万円。

これらに見合う歳入予算の主なものは、国庫支出金296億1,100万円、繰入金3億3,500万円。

### ○令和2年度北海道一般会計補正予算（第5号）

(単位 千円)

歳 入	歳 出
国 庫 支 出 金 2, 753, 119	総務費 1, 009, 634
寄 附 金 △ 6, 798	総合政策費 △ 278, 745
繰 入 金 △ 778, 496	環境生活費 △ 450, 014
諸 収 入 66, 196	保健福祉費 1, 587, 860
	経済費 △ 138, 693
	農政費 375, 817
	水産林務費 △ 9, 670
	警察費 △ 58, 400
	教育費 69, 964
	諸支出金 66, 196
計 2, 034, 021	計 2, 034, 021

## ○令和2年度北海道特別会計補正予算

(単位 千円)

会 計 名	金 額
國民健康保険事業特別会計	225,000
計	225,000

令和2年第2回定例会で追加提案され可決した補正予算は、総額約22億5,900万円。

歳出予算の主なものは、幼児教育や保育の無償化のため、安心こども基金を積み立てるとともに、円滑な事業の実施を図ることとして16億4,100万円を計上。

また、感染症発生に伴う事業の見直しにより、既定経費を減額するとともに、今後の財政需要に対応するため、財政調整基金に10億3,000万円。

これらに見合う歳入予算の主なものは、国庫支出金27億5,300万円を計上し、繰入金7億7,800万円を減額。

## ○令和2年度北海道一般会計補正予算（第6号）

(単位 千円)

歳 入	歳 出
国 庫 支 出 金 1 6 4 , 5 6 8 , 5 9 9	総 務 費 6 0 7 , 3 0 1
寄 附 金 3 6 0 , 0 0 0	総合政策費 1 , 0 0 0 , 0 0 0
繰 入 金 1 5 3 , 4 5 9	環境生活費 1 2 , 3 1 7
諸 収 入 2 0 2 , 6 8 5 , 5 3 7	保健福祉費 1 3 0 , 3 8 6 , 8 0 2
	経 済 費 2 3 2 , 9 3 9 , 9 8 8
	水産林務費 1 6 7 , 1 2 0
	建 設 費 7 , 2 5 9
	警 察 費 3 1 , 8 0 0
	教 育 費 2 , 6 1 5 , 0 0 8
計 3 6 7 , 7 6 7 , 5 9 5	計 3 6 7 , 7 6 7 , 5 9 5

令和2年第2回定例会で追加提案され可決した一般会計補正予算は、総額約3,677億6,700万円。

歳出予算の主なものは、感染症病床の確保のほか、医療機関や介護、障がい福祉事業所等における感染拡大防止の取組を支援するとともに、日々最前線で勤務されている医療従事者の方々等への慰労金の支給など、医療提供体制の強化等を図ることとして1,293億7,200万円、経済活動の段階的拡大を進めるため、「新北海道スタイル」を実践しながら消費喚起や域内交流などを促進することとして教育旅行支援事業費11億8,600万円、交通事業者利用促進支援事業費10億円、プレミアム付商品券発行支援事業費36億100万円、教員の業務負担を軽減するため、道内の各学校に学習指導員やスクール・サポート・スタッフを配置することとして15億6,900万円。

これらに見合う歳入予算の主なものは、国庫支出金1,645億6,800万円、諸収入2,026億8,500万円。

## 第 2 回 定 例 会

### ►総額4,000億7,300万円余の令和2年度補正予算を可決◀

#### 概 要

① 令和2年度補正予算案等を審議する第2回定例会は、6月16日に招集され、会議録署名議員の指定等を行い、会期を7月3日までの18日間と決定。

次に、総額323億600万円余の令和2年度補正予算案及びこれに関する議案等31件が上程され、知事から提出議案に関する説明。

次に、議案第1号「令和2年度北海道一般会計補正予算（第4号）」について先議することを決定した後、質疑に入り、委員会付託を省略し、採決の結果、異議なく原案可決。

次に、会議案第1号「北海道議會議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案」が提案され、説明及び委員会付託を省略し、採決の結果、異議なく原案可決。

その後、議案等調査のため、6月17日から6月18日までの本会議を休会することを決定して散会。

② 休会明けの6月19日から一般質問に入り、6月24日、一般質問の後、総額3,677億6,700万円余の令和2年度補正予算案1件が追加提案され、知事から提出議案に関する説明の後、議案第22号を一括議題として議事を継続することを決定し、一般質問を終結。直ちに予算特別委員会を設置し、議案第9号を少子・高齢社会対策特別委員会に、議案第15号を新幹線・総合交通体系対策特別委員会に、それぞれ付託することを決定し、残余の議案等を各委員会に付託。

次に、会議案第2号「北海道花きの振興に関する条例案」が提案され、質疑に入り、農政委員会に付託。

次に、各委員会付託議案等審査のため、6月25日から6月26日まで及び6月29日から7月2日までの本会議を休会することに決定して散会。

③ 予算特別委員会は、6月24日に正・副委員長の互選を行い、2分科会を設置。

6月26日から各分科会において各部所管の審査に入り、6月30日にこれを終了。7月1日に各分科委員長報告。

7月2日総括質疑を行い、同日、付託議案に対する質疑を終結。討論、採決の結果、報告は承認議決、議案はいずれも原案可決と決定。

なお、審査の経緯に鑑み、新型コロナウイルス感染症に関し、道がこれまで行ってきた様々な措置・施策について、知事の判断も含め早急に検証を行うとともに、記録が確實に保存されるよう適切に管理することについて、次の感染拡大を想定し、減収となっている医療機関への支援、感染症対策に関わる全ての方々の処遇改善、検査体制や医療体制の充実、医療備品の確保、感染リスク低減に向けた取組など、山積する課題の解決に取り組むことについて、道は、本道経済を一日も早く回復させるため、政策を総動員して取り組むとともに、今後、各市町村、経済界と連携し、オール北海道で取り組むことについて、子どもたちの学習の遅れについて、子どもの負担に配慮しながら、学習の遅れを取り戻すための様々な取組を進めるとともに、「学校における新しい生活様式」の定着、ICT環境の整備に全力で取り組むことについて意見を付すことに決定。

④ 会期最終日の7月3日は、各付託議案に対する委員長報告の後、討論を行い、採決の結果、いずれも委員長報告のとおり、報告は承認議決、議案は原案可決。

次に、「北海道公安委員会委員及び方面公安委員会委員の選任につき同意を求める件」の人事案件1件が追加提案され、知事から提出議案に関する説明の後、委員会付託を省略し、採決の結果、同意議

**決。**

次に、**意見案第1号「新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書」等8件**について、説明及び意見案第1号ないし第4号の委員会付託を省略し、採決の結果、いずれも**原案可決**。

最後に、閉会中請願継続審査及び事務継続調査の件について異議なく決定後、閉会。

⑤ 提出案件の議決状況は次のとおりである。

提 案 者	提出件数	議 決 状 況					報告のみ
		原案可決	同意議決	承認議決	意見を付し 認定議決	否 決	
知 事	32	22	1	1			8
議員・委員会	10	10					
計	42	32	1	1			8

## 本会議

○6月16日（火） 午前10時19分開会、村田憲俊議長、令和2年第2回定例会の開会を宣し、

**日程第1 議席の変更の件**を議題とし、別紙配付議席表のとおり変更。

**日程第2 会議録署名議員の指定**を行い、諸般の報告、元議員の逝去報告。

**日程第3 会期決定の件**を議題とし、今期定例会の会期を本日から7月3日までの18日間と決定。

**日程第4 議案第1号ないし第21号及び報告第1号**を議題とし、知事から提出議案に関する説明。

日程第4のうち、議案第1号を先議することについて異議なく決定。

議事進行の都合により午前10時31分休憩。午後1時3分再開。

議案第1号に関する質疑に入り、

**佐々木 俊雄議員（自民）**から、

1 検査体制の整備等について  
・PCR検査をはじめとする検査体制の整備等の進め方に係る所見

2 高齢者介護施設等の取組について  
・クラスター発生に係る認識及びクラスター対策への取組に係る所見

3 生活困窮者の支援について  
・貸付制度の一層の充実及び迅速な対応に向けた体制整備に係る所見

4 文化活動の振興について  
・文化活動を応援する機運醸成及び文化活動の振興に係る所見

5 新北海道スタイルの浸透・定着について  
・新たな事業展開に当たっての取組姿勢  
・PR活動の手法に係る所見

6 休業要請等支援金等の早期支給について  
・支援金支給状況に対する認識及び早期支給に向けた今後の取組

7 雇用対策について  
・雇用をめぐる状況に対する認識及び今後の対応に係る見解

8 観光振興施策の展開方向について  
・観光振興施策の取り進め方に係る見解

9 食関連産業の振興について  
・食関連産業の振興の進め方に係る所見

10 水産業対策について  
・感染症拡大の水産業への影響を最大限緩和するための対策の進め方と実効性の確保

11 経済対策について  
・道内中小企業の支援に向けた取組及び段階的緩和方針に関する判断に係る所見

等について質問があり、知事から答弁。議事進行の都合により午後1時42分休憩。午後1時55分再開し、

**沖田 清志議員（民主）**から、

1 道独自の対策について  
・新型コロナウイルス感染症対策に関する基本的な認識及び早くから影響を受けた方々に

対する支援に係る所見

2 「新北海道スタイル」について

・道民生活に根ざした取組となるよう柔軟に見直すことに係る所見  
・施策横断的な取組  
・PRの手法見直しに向けた取組及び長期的視点に立った新北海道スタイルの取り入れに係る所見  
・商工業者以外の事業者に対する取組の促進及び参加できない事業者への配慮  
・道民生活や事業活動への影響及び定着後の社会の姿に係る所見

3 医療提供体制等の充実強化について

・札幌市内の軽症者等用宿泊施設の整備水準及び道と市の負担並びに札幌市以外における整備に係る取組

・医療機関への支援に係る所見

・クラスターへの対応  
・全ての2次医療圏にPCR検査センターを設置する時期及び早期設置に向けた取組  
・PCR検査能力の拡充に向けた取組

4 経済活動について

・現在の雇用環境に対する認識及び再就職支援の取組に係る所見

・どうみん割と交通施策との連携に係る所見  
・どうみん割を小規模宿泊施設にも効果を行き渡らせる制度とすることへの所見  
・どうみん割開始以降に感染拡大の兆しが見られた場合の対応に係る所見

・「地域の魅力再発見」エリア循環促進事業の効果見込み及び事業を民間委託とした考え方  
・周遊範囲の設定に係る所見

- ・道産食品道内販路確保事業の重点を百貨店での対面販売に置いた理由及び「新北海道スタイル」の一つとして宅配サービスを進めることに対する所見

- ・漁協の経営支援策として短期の貸付金を選択した理由及び追加支援策を講じる必要性に係る所見

## 5 社会生活・文化活動の継続と安心の確保について

- ・生活福祉資金貸付金の補正額の考え方及び窓口業務等の体制の充実に向けた取組
- ・文化芸術活動応援事業費の財源の考え方及び寄附金が予定額に満たなかった場合の文化芸術活動支援の取組
- ・道庁の在宅勤務環境を整備する事業の目指す姿と今後の進め方

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問があつて知事から答弁。議事進行の都合により午後2時55分休憩。午後3時14分再開し、

### 赤根 広介議員（結志）から、

- 1 先議要請に係る基本的な考え方について
  - ・議会に先議を要請することに対する基本的な考え方
- 2 新型コロナウイルス感染症緊急対策事業について

- ・保健所設置市の医療提供体制整備に関し、相談窓口設置支援、病床確保の具体的な内容
- ・軽症者等の宿泊施設確保に係る所見

## 3 P C R 検査センター設置事業について

- ・地域の医師会の合意
- ・民間検査機関のP C R 検査実施見込み及び第3波、第4波に備えた臨床検査技師の養成に係る所見

## 4 感染症検査機器整備事業について

- ・現状及び予算措置に伴う検査体制の充実
- ・P C R 検査実施率が伸びない原因及び実施率向上に向けた対策

## 5 医療従事者等派遣について

- ・応援が必要な医療機関の数及び地域医療の現状認識と地域医療確保に向けた対処

## 6 生活福祉資金貸付事業について

- ・貸付原資の積み増しを急ぐ理由及び道社協の体制に係る所見

## 7 道産食品道内販路確保事業について

- ・販売現場での「三密」対策及び通販サイトを活用した北海道物産の割引販売の消費回復への貢献

## 8 漁協経営緊急支援資金利子補給金について

- ・融資実行時期及び利子補給時期

## 9 「新北海道スタイル」構築促進事業について

- ・事業の財源に係る見解及び推進組織として作られる協議会の構成員と協議の内容

## 10 観光需要の喚起について

- ・「どうみん割」事業と国の事業とのすみ分けに係る所見及び事業実施による波及効果の見込み

- ・宿泊事業者感染予防対策推進事業費補助金の恒久化など、安心して観光地を訪れるができる環境の構築に係る見解

- ・修学旅行での感染防止対策の支援に係る所見

- ・修学旅行の誘致に向けた今後の取組

## 11 「地域の魅力再発見」エリア循環促進事業について

- ・事業目的及び事業実施による消費回復効果に係る所見

## 12 文化芸術活動応援事業について

- ・事業規模確保の確約に係る見解

## 13 離職者向け再就職支援事業について

- ・ジョブカフェのカウンセラーの採用時期及び説明会の開催時期と回数

- ・カウンセラー10名体制維持に係る所見

## 14 在宅勤務環境整備事業について

- ・道府職員の在宅勤務拡大に向けた環境整備に係る所見

## 15 国産農畜産物供給力強靭化事業・輸出先国市場変化対応施設等緊急整備事業について

- ・事業実施を急ぐ理由

## 16 道産花き緊急消費拡大促進事業について

- ・花き業者支援に必要な予算額に係る見解

- ・花きの消費拡大に向けた今後の取組に係る所見

## 17 道産水産物学校給食提供推進事業について

- ・事業の実施期間、実施回数及び計上額の積算根拠

## 18 寄附金について

- ・「エールを北の医療へ！」のスローガンの下で集めた寄附金の使途に係る所見

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問があつて知事から答弁。議事進行の都合により午後4時7分休憩。



### 赤根 広介議員（結志）から、

- 1 先議要請に係る基本的な考え方について
  - ・議会に先議を要請することに対する基本的な考え方
- 2 新型コロナウイルス感染症緊急対策事業について

- ・保健所設置市の医療提供体制整備に関し、相談窓口設置支援、病床確保の具体的な内容
- ・軽症者等の宿泊施設確保に係る所見

## 3 P C R 検査センター設置事業について

- ・地域の医師会の合意
- ・民間検査機関のP C R 検査実施見込み及び第3波、第4波に備えた臨床検査技師の養成に係る所見

## 4 感染症検査機器整備事業について

- ・現状及び予算措置に伴う検査体制の充実
- ・P C R 検査実施率が伸びない原因及び実施率向上に向けた対策

## 5 医療従事者等派遣について

- ・応援が必要な医療機関の数及び地域医療の現状認識と地域医療確保に向けた対処

## 6 生活福祉資金貸付事業について

- ・貸付原資の積み増しを急ぐ理由及び道社協の体制に係る所見

## 7 道産食品道内販路確保事業について

- ・販売現場での「三密」対策及び通販サイトを活用した北海道物産の割引販売の消費回復への貢献

憩。午後4時19分再開し、



**荒當 聖吾議員（公明）から、**

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
  - ・感染症流行についての現状及び今後の見通しに係る所見
  - ・緊急対策第3弾の基本的な考え方
  - ・地域や団体からの要望や意見の受け止め及び緊急対策への意見の反映に係る所見
  - ・学識者などから成るプロジェクトチームを設置して緊急対策の効果検証に取り組むことに対する所見
  - ・「新北海道スタイル」と「新しい生活様式」の違い及び北海道の独自性に係る所見
  - ・「新北海道スタイル」の進め方に係る所見
  - ・真に新しい北海道スタイル構築に向けた具体的なモデル作りに係る所見
  - ・「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」等に対する認識及び今後の対応に係る所見
  - ・道が設置した専門家会議を書面会議にとどめず、会議を開催して意見交換を行うことの意義に係る所見
  - ・PCR検査体制の拡充に向けた取組に係る所見
  - ・介護職員の応援派遣など補正予算案に含まれた事業に対する所見
  - ・道内経済再生に向けた取組及びロードマップに係る所見
  - ・観光産業の回復に向けた取組に係る所見
  - ・観光産業全体での消費好循環実現に向けた取組に係る所見
  - ・生活困窮者に早急に必要な資金が届くよう取り組んでいくことに対する所見
  - ・大学生や留学生への支援に係るこれまでの取組を含めた所見
  - ・文化芸術活動への支援に係る所見
  - ・水産業における感染症拡大の影響に係る認識及び今後の対策

等について質問があり、知事から答弁。同議員から発言があって、議事進行の都合により午後4時57分休憩。午後5時14分再開し、



**菊地 葉子議員（共産）から、**

- 1 知事の認識について
  - ・先議の予算事業は議会での政策議論を十分に行った上で取り組むことに対する認識
- 2 病床確保対策について
  - ・医療機関への経営支援に係る所見
  - ・医療提供体制の再構築に向けた取組
- 3 PCR検査の拡充について
  - ・18道県知事共同で提言を出すに至った理由
  - ・院内感染防止に向けた検査対象拡大の必要性に係る所見
  - ・今後の検査対象、検査数の拡大に向けた道独自の取組
- 4 医療従事者等派遣関連経費について
  - ・派遣職員への確実な支援に結びつく仕組みの担保及び感染症対応作業手当の追加支給に係る所見
  - ・介護保険施設やデイサービスに対する減収補填支援の必要性に係る所見
  - ・社会福祉施設等感染症拡大防止対策事業に介護施設以外の社会福祉施設等を対象とすることに係る認識
- 5 「新北海道スタイル」構築促進事業費について
  - ・「新北海道スタイル」における道の独自性に係る認識
  - ・策定に当たっての専門家からの意見聴取及び感染対策としての効果の検証
  - ・事業効果の検証に係る所見
  - ・PR活動の事業委託先に係る所見
  - ・新北海道スタイル実践による減収に係る認識及び補償とセットにすることへの見解
  - ・学校内における新北海道スタイルの取組に係る所見
  - ・実施基準を明確にして取り組むことに係る所見
- 6 「地域の魅力再発見」エリア循環促進事業費について
  - ・事業の契約の在り方に係る所見
  - ・アプリから取得したデータの扱いに係る所見
- 7 観光誘客促進道民割引事業費について
  - ・道内観光に関する現状認識
  - ・インバウンド依存からの脱却及び国内旅行活性化への方向転換に係る見解

- ・「地域の魅力再発見」エリア循環促進事業費との整合性に係る所見
- 等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問があつて知事から答弁。同議員から発言があつて、質疑を終結。委員会付託を省略し、採決に入り、異議なく原案可決。

**日程第5 会議案第1号**を議題とし、説明及び委員会付託を省略し、採決に入り、異議なく原案可決。

次に、議案等調査のため6月17日から6月18日までの本会議を休会することに決定し、午後5時59分散会。

○6月19日（金） 午前10時5分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第2号ないし第21号及び報告第1号**を議題とし、質疑並びに一般質問に入り、  
**加藤 貴弘議員（自民）**から、

- 
- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
- ・感染予防と社会経済活動の両立を目指す新北海道スタイルの取組の本格スタートに係る認識

- ・判断基準とする「警戒ステージ」の見直し等の検討に係る所見
- ・医療機関等の経営支援に向けた今後の取組に係る所見
- ・札幌市など関係市町村の体制も含めた医療体制等の立て直しに向けた取組
- ・データを活用する試みを感染症拡大防止に確実に結びつけるための具体的な取組
- ・感染症終息後を見据えた新たな産業政策の展開を練ることの必要性に係る見解
- ・中小企業の事業継続に向けた取組
- ・持続的な鉄道網の確立に向けた今後の取組に係る所見
- ・地域交通の状況の認識及び交通事業継続に向けた対応
- ・市町村との連携や保健所の機能強化も含めた新型コロナウイルス感染症への対応力強化に係る所見
- ・地域間格差が生じる現在の感染症対策制度のあり方に対する認識及び今後の対処
- ・感染症対策等に必要な財源の確保に係る所見

## 2 道政上の諸課題について

- ・自然災害と感染症の同時発生への備えに係る所見
- ・道営住宅の整備や活用の基本的な考え方及び新たな取組に係る所見
- ・道内でのスポーツ大会等の開催に係る所見
- ・国の新たな食料・農業・農村基本計画の受け止め及び本道農業・農村の将来像に係る所見
- ・パワーアップ事業の取組の成果に対する認識及び今後の取組に係る所見
- ・主要魚種の生産回復に向けた今回の水産業対策の重点及び今後の取組の進め方
- ・林業・木材産業の生産活動の回復に向けた取組

## 3 教育問題について

- ・子どもたちの学びの保障に向けた取組
  - ・新北海道スタイルの下での教育旅行の進め方
  - ・I C T 環境の整備に向けた取組に係る所見
- 等について質問があり、議事進行の都合により午前10時38分休憩。午前10時40分再開し、知事、建設部建築企画監及び教育長から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。同議員から発言があつて、議事進行の都合により午前11時37分休憩。午後1時2分再開し、

**菅原 和忠議員（民主）**から、

- 
- 1 知事の政治姿勢について
- ・前回の補正予算の専決処分の理由
  - ・今後の議会との信頼関係構築に係る所見
- ・政府予算における多額の予備費の積み上げに対する所見
  - ・国の予備費支出に伴って補正予算を組む場合の手法
  - ・2月の緊急事態宣言の際の「結果責任」発言に係る所見
  - ・2030年に向けた北海道のロードマップ見直しに係る所見
- 2 新型コロナウイルス感染症対策について
- ・緊急事態宣言の発出に伴う影響の中間的な検証実施に係る所見
  - ・会議録の作成状況
  - ・国の経済対策の効果及び評価に係る所見
  - ・「事態収束後」の科学的根拠、及び具体的な状態
  - ・事態の収束の道民への示し方に係る所見

- ・経済再生の道筋に関し、次のフェーズに入る時期に係る現状分析
  - ・経済再生に向けた戦略やロードマップの策定に係る所見
  - ・新型コロナウイルスとの闘いが長期戦になる時代における地域活性化の方策
  - ・民間企業と連携、協力した地域経済の回復及び一次産業支援
  - ・次の流行期に向けた備えに係る所見
  - ・ふるさと納税の寄附金を用いた支援の時期及び同様の取組を行う札幌市との連携
  - ・感染者や医療従事者等への差別等に対する対策に係る所見
- 3 事業の見直しによる減額補正について
- ・減額補正対象事業の選定の考え方
  - ・不要不急な予算の見直しに係る所見
- 4 札幌一極集中について
- ・札幌一極集中解消に向けた取組に係る所見
- 5 医療・福祉政策について
- ・全国の公立・公的病院の再編統合に関し、地域医療確保に向けた国や地域医療機関への対応
  - ・改正育児・介護休業法施行にあわせ介護人材の確保に向けて道独自の取組を実施することに係る所見
  - ・児童虐待の状況を把握、分析し、具体的な対策を講ずることに係る所見
  - ・H A C C Pへの対応及び衛生管理制度導入への支援等に係る所見
- 6 経済・雇用対策について
- ・景気落ち込みの認識及び具体的な経済対策
  - ・1次産業を専門とする教育機関と連携した水産加工業や農業の人手不足問題への対処に係る所見
  - ・雇用確保に関し、不適切な事案に対して講じた対策及び雇用を守るための取組
  - ・中小・小規模事業所における労働時間管理及び健康管理への取組に係る所見
  - ・女性や高齢者、障がい者等の雇用促進に向けた労働環境の整備に係る所見
- 7 エネルギー政策について
- ・泊原発断層の再調査に係る所見
  - ・幌延深地層研究計画に関し、再延長を認めないという担保を取ることへの所見
  - ・幌延深地層研究計画の確認会議に委嘱する専門有識者の選定の考え方
- 8 防災・減災対策について
- ・北海道太平洋沿岸地域の津波対策への取組に係る所見
  - ・大規模自然災害に対応するために土地の利用規制に乗り出すような国の動きに対する認識
  - ・都市計画法への広域自治体の立場としての対応
- 9 交通政策について
- ・現下の状況を踏まえた J R 北海道線維持問題への効果的な取組に係る所見
  - ・現下の状況における持続的な公共交通の確保に向けた鉄路の位置づけと取組に係る所見
  - ・北海道エアポートが公表した事業計画への認識
  - ・空港運営事業の円滑化に向けた対応に係る所見
  - ・道内 7 空港の交通需要の回復に向けた取組
- 10 第1次産業振興について
- ・食料自給率に関する現状分析と北海道の役割を果たすための農業政策の基本的な考え方
  - ・農業基盤整備に対する認識及び意欲に係る所見
  - ・スマート農業の推進方針に明記された課題解決に向けてロードマップなどを示すことに係る所見
  - ・慢性的な労働力不足の解消に向けた取組に係る所見
  - ・道産食品輸出拡大に向けた取組に係る所見
  - ・安定的な漁業経営が可能となる対策に係る所見
  - ・水産業におけるコロナ禍の影響を軽減するための今後の対策
  - ・森林環境譲与税に関し、配分の在り方や役割分担、税を活用した施策に係る所見
- 11 人権施策について
- ・インターネット上の誹謗中傷や、アウティングに係る認識及び「北海道人権施策基本方針」の見直しにおけるこうした課題の反映に係る所見
- 12 ウポポイの魅力発信について
- ・現状を踏まえての魅力発信に向けた取組
- 13 教育課題について
- ・学校教育活動への支援に向けた国の補正予算活用に係る所見

- ・児童生徒の安全確保上必要な学校職員の人員確保に向けた見通し
- ・リモート学習の定着に向けた今後の対応
- ・「学びの保障」への対応に係る所見
- ・子ども、保護者、独り親家庭へのメンタルケアに係る所見

等について質問があり、議事進行の都合により午後1時43分休憩。午後1時45分再開し、知事、総務部長兼北方領土対策本部長、保健福祉部長、経済部長、農政部長及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後2時50分休憩。午後2時52分再開し、同議員から再質問があつて、知事から答弁。同議員から再々質問があつて、知事から答弁。議事進行の都合により午後3時37分休憩。午後4時2分再開し、

### **池本 柳次議員（結志）から、**

- 1 知事の基本姿勢について
  - ・新型コロナウイルス感染症対策に関する基本方針作成における新型コロナウイルス感染症対策専門会議への諮問及び

#### 回答内容

- ・警戒レベル1の基準の根拠及び妥当性
- ・感染防止策としての呼びかけの効果
- ・警戒レベル2でのアラート発出の対象範囲及び外出抑制で生じる負担への対策
- ・警戒レベル3に移行して休業を要請した場合の休業協力金等の対処に係る所見
- ・医療提供体制に関し、確保する病床数の算出根拠及び振興局別内訳、感染ピーク時に対応できる病床数及び医療提供体制の準備に係る所見
- ・感染症に強い北海道の構築に向けて、本道の医療体制の弱点及び克服に向けた今後の対策に係る所見
- ・感染症に強い北海道の構築に向けて、労働生産性向上のための経済・雇用対策に係る見解
- ・今後の災害時における避難所の感染対策
- ・感染症拡大防止のための物資、資材の備蓄状況及び今後の充実策
- ・法律の範囲以外の独自の外出自粛要請等の後ろ盾となる条例策定に係る見解
- ・ウイズ・コロナ社会における次期行財政運営方針の作成方針
- ・道職員の在宅勤務環境の整備に係る所見

### 2 道政の諸課題について

- ・「交通政策に関する緊急要請」の要請内容の

#### 実効性確保に向けた取組

- ・持続的な鉄道網の確立を目指した国への提言や国民的理解の醸成に向けた今後の取組
- ・持続可能な地域交通の確保に向けた取組
- ・数値目標を含め、次期の観光のくにづくり行動計画の扱いに係る見解
- ・宿泊税導入に係る所見
- ・I R候補地に関する苫小牧市の環境影響調査報告及び結果の扱いに係る所見
- ・道立病院での院内感染防止対策
- ・道立江差病院及び道立羽幌病院の地域における感染症対策上の役割
- ・精神科専門病院である道立緑ヶ丘病院と道立向陽ヶ丘病院における感染症への対応
- ・介護・障がい施設に対する感染防止対策の取組及び今後の対策強化に係る所見
- ・児童虐待防止に向けた対応
- ・子ども食堂に対する支援策及び今後の対処に係る所見
- ・子ども食堂に対する支援団体で構成するネットワーク会議が果たした役割
- ・感染症に強い北海道の構築を図るに当たってSDGsの観点を盛り込んだ施策への取組及び取組を道民に説明する必要性に係る所見
- ・感染症への対応を位置づけた「北海道農業・農村振興推進計画」策定に係る認識
- ・新たな「北海道農業・農村振興推進計画」における食料自給率向上に係る対応
- ・海洋環境変化が本道漁業に与える影響を踏まえた漁業生産回復対策の推進に係る所見
- ・新型コロナによる林業・木材産業への影響を最小限に抑え、長期的な視点で森林づくりを計画的に進めることに係る所見

### 3 教育行政について

- ・児童・生徒の学力回復への対処に係る所見
- ・ICTを活用した学習環境の早急な整備に係る所見
- ・9月入学に関する地域からの提案の取りまとめに係る所見

等について質問があり、議事進行の都合により午後4時43分休憩。午後4時45分再開し、知事、総務部長兼北方領土対策本部長、総合政策部長、保健福祉部長、経済部長、総務部職員監、総合政策部交通企画監、保健福祉部少子高齢化対策監、病院事業管理者及び教育長から答弁。同議員から再質問があつて、知事及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後5時49分散

会。

○6月22日（月） 午後1時4分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第2号ないし第21号及び報告第1号**を議題とし、質疑並びに一般質問を継続。



**植村 真美議員（自民）**から、

- 1 移住定住の促進について
  - ・新型コロナ感染症拡大により地方移住への関心が高まっている状況に対する認識
  - ・移住促進に向けた施策の推進に係る所見
- 2 S o c i e t y 5.0構想の推進について
  - ・感染症拡大リスクに対応する上でICTの活用が待ったなしとなっている現状でのS o c i e t y 5.0構想推進に係る所見
  - ・光ファイバー整備の取組
- 3 地域医療体制について
  - ・地域医療構想の進捗状況に対する認識及び地域での議論の進め方に係る所見
  - ・広域な医療体制の充実に向けた今後の広域連携の推進に係る所見
- 4 北の森づくり専門学院について
  - ・今後の運営に係る所見
  - ・アフターコロナ社会に向けた林業・木材産業の担い手の育成及び確保の取組に係る所見
- 5 地域におけるワイン振興について
  - ・今後の取組に係る所見
- 6 花卉の活用拡大について
  - ・道産花卉の活用拡大に向けた今後の取組に係る所見
- 7 魅力ある道立高校の在り方について
  - ・高校配置計画における地域の取組の評価
  - ・北海道ふるさと・みらい創生推進事業の実施などによる地域密着型の人材づくりに関し、参加校の拡大や道立高校におけるキャリア教育の充実に向けた取組に係る見解
  - ・道立高校の魅力の幅広い発信の必要性に係る見解

等について質問があり、知事、総合政策部長、保健福祉部長、農政部長、水産林務部長、総合政策部地域振興監及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後1時46分休憩。午後1時48分再開し、



**笠木 薫議員（民主）**から、

1 新型コロナウイルス対策と社会経済基盤の立て直しについて

- ・道内一斉休校及び一律の公園の閉鎖に係る見解
- ・道北市長会から出された道内

一律の休業要請の見直しに係る緊急要請に対する見解

- ・休業要請や外出等の自粛要請を振興局単位に見直すことに対する見解
- ・休業要請対象施設の設定根拠及び施設の見直しに係る所見

・休業要請に応じなかった施設の公表に關し、把握している施設件数及び状況

- ・パチンコ店のみ公表し他の業種、業態の公表を控えた根拠

・休業要請に対する道の支援金及び国の持続化給付金等の申請状況

- ・道民の制度活用に向けたサポートに係る所見
- ・「新北海道スタイル」の定着に向けて、新たな推進組織を立ち上げて常時見直しを行い、北海道らしいものに仕上げていくことに係る所見

・感染拡大により売り上げが大幅に減少したJR北海道の実態を受けた、現時点の国の対策の動向及びそれに対する所見

- ・JR路線維持に向けた今後の取組に係る所見
- ・地方空港の利用促進に重点を置きながら地方路線の減便解消及び地方空港ビルの活性化に向けて取り組んでいくことに係る所見
- ・路線バス維持に向けた国の動向及び今後の道独自の取組

2 あおり運転及びS N S等での誹謗中傷の対応について

- ・あおり運転の道内における取締りの状況
- ・あおり運転ゼロに向けた取組
- ・S N S等における誹謗中傷の道内の現状とそれに対する認識
- ・悪質な誹謗中傷をなくすための今後の取組

等について質問があり、知事、経済部長、総合政策部交通企画監、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。同議員から再々質問があつて、知事から答弁。議事進行の都合により午後2時48分休憩。午後3時13分再開し、



### 檜垣 尚子議員（自民）から、

#### 1 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・海外への情報発信に対する認識及び取組に係る所見
- ・困難な状況にある外国人の方々への支援に係る所見

- ・本年度の北海道行政職員採用試験の実施に係る所見

- ・休校の長期化を受けて3月に予定されている高校入試の出題範囲に係る所見

#### 2 津波被害の減災目標について

- ・減災目標策定の認識及び対応に係る所見

#### 3 障がい者の学びの支援について

- ・学校卒業後における障がい者の学びの場の充実に向けた支援に関し、これまでの取組及び今後の見解

#### 4 拉致問題について

- ・北朝鮮による拉致問題への受け止め及び今後の取組に係る所見

等について質問があり、理事者答弁準備のため、午後3時37分休憩。午後3時44分再開。檜垣議員より発言の訂正があり、これを了承。休憩前の議事を継続し、知事、教育長及び人事委員会委員長から答弁。議事進行の都合により午後3時57分休憩。

午後4時再開し、

### 中野渡 志穂議員（公明）から、

#### 1 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・札幌市の介護老人保健施設で発生したクラスターに関する課題の検証及び札幌市との情報の共有に係る所見

- ・社会福祉施設で発生したクラスターに係る課題の認識

- ・今後のクラスター対策に必要な取組に係る所見

- ・北海道版CDC設置検討に係る所見

- ・中小企業支援に向けた今後の取組に係る所見

#### 2 多文化共生社会の実現について

- ・JICA北海道が実施した北海道における外国人材の現状、課題等に関する調査の結果に係る所見

- ・JICA北海道の調査結果を踏まえた今後の対応

#### 3 航空政策について

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている航空路線の現状を踏まえた「航空ネットワークビジョン」の目指す姿の実現に係る所見

- ・北海道エアポート社長が「中期計画の修正が必要」と発言するような状況に対する受け止め及び対応に係る所見

#### 4 北朝鮮による日本人拉致問題について

- ・北朝鮮による日本人拉致問題への道としてのこれまでの取組及び今後の取組に係る所見

#### 5 光ファイバーの整備について

- ・道内における整備の現状及び今後の整備に係る所見

#### 6 胆振東部地震被災地への支援について

- ・被災3町における河川整備の重要性を受けた今後の河川整備の取組に係る所見

- ・きめ細やかな被災者支援体制の構築に向けた取組に係る所見

#### 7 障がい者支援について

- ・「あいサポート運動」を導入し障がいのある方々が暮らしやすい共生社会の実現を目指すことに対する所見

#### 8 性暴力被害者支援について

- ・医療面での支援に関する検討状況及び今後の取組

- ・性暴力被害者支援センター北海道「S A C R A C H（さくらこ）」の周知に係る取組

#### 9 教育問題について

- ・特別支援学校による訪問教育を受けている子どもたちに対する、臨時休業中における学習の支援

- ・訪問教育を受けている子どもたちに対する教育の保障に係る見解

等について質問があり、知事、総合政策部長、環境生活部長、保健福祉部長、経済部長、建設部長、総合政策部交通企画監及び教育長から答弁。同議員から発言があつて、議事進行の都合により午後4時48分散会。

○ 6月23日（火） 午前10時30分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第2号ないし第21号及び報告第1号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続。



**宮下 淳一議員（自民）**から、

- 1 道産野菜の需要拡大について
  - ・安定出荷等に必要な施設整備等、国の事業の今後の活用に係る見解
- 2 ウポポイについて
  - ・多くの方々から愛され、輝き続けられるための取組
- 3 東京オリンピックについて
  - ・開催に向けた対応
  - ・聖火リレーに関し、ランナー決定者への配慮を含んだ今後の取組
- 4 道内航空ネットワークの充実について
  - ・新型コロナウイルス感染症の拡大により状況が激変した道内航空ネットワークの整備に係る現状認識及び今後の対応
- 5 新型コロナウイルス感染症に関する道からの要請の影響について
  - ・苫小牧市内の製油所の定期メンテナンス工事において隣接する千歳市で発生した宿泊キャンセルに関する一連の事態への認識及び今後の対応

等について質問があり、知事及び環境生活部東京オリンピック連携推進監から答弁。議事進行の都合により午前10時56分休憩。午前10時59分再開し、

**松本 将門議員（民主）**から、

- 1 北海道自転車利活用推進計画について
  - ・自転車活用等促進事業に対する事業推進に当たっての現状認識及び今後の進め方に係る所見
- 2 北海道自転車活用等推進連携会議における今後の議論の進め方に係る所見
- 3 推進計画見直しに係る今後の手続きの進め方
- 2 アライグマ対策について
  - ・「アライグマ根絶モデル実証事業」の内容及び今後の進め方
  - ・市町村等が実施する特定外来生物の防除に係る今年度中に必要な防除の確認、認定に向けた手続きに対する道の関与
- 3 建設発生木材への対応について
  - ・公募による立木伐採に対する認識及び昨年のコスト縮減状況
  - ・北海道が施工する建設工事における北海道地

方建設リサイクル推進計画2015に基づく取組の状況と再資源化率

- ・建設発生木材のリサイクル促進上の課題に対する認識
- ・公募による立木伐採の全道への適用に係る所見
- 4 道民笑いの日について
  - ・制定5年目の節目を迎える改めて普及啓発を行うことに係る見解
- 5 花いっぱいプロジェクトについて
  - ・3月以降の花卉生産の現状認識
  - ・プロジェクトに対する認識及び対応姿勢
  - ・フラワーウォーク事業の全庁展開及び参加企業・団体を増やす取組に係る所見
- 6 道立美術館の利用促進について
  - ・新型コロナウイルス感染防止対策の徹底及び魅力の発信のための事業展開に係る見解

等について質問があり、知事、環境生活部長、農政部長、建設部長、総合政策部地域振興監及び教育長から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。議事進行の都合により午前11時41分休憩。午後1時4分再開し、

**渡邊 靖司議員（自民）**から、

- 1 学校における働き方改革などについて
  - ・不登校の未然防止及び不登校児童生徒への対応に係るこれまでの取組
    - ・不登校児童生徒が年々増加している要因に係る所見
    - ・教員の負担軽減を図るための取組
    - ・今年度末に期限を迎えるアクション・プランの目標達成に向けた取組
- 2 児童相談体制の充実について
  - ・地域の関係機関が相互に連携した支援について、児相から強い働きかけを実施することに係る所見
- 3 歩きスマホ対策について
  - ・歩きスマホの現状に対する認識
  - ・歩きスマホ根絶に向けた積極的な取組に係る所見
- 4 道産木材の需要喚起について
  - ・新たな需要の掘り起こしに向けた取組に係る所見
- 5 丘珠空港の滑走路延伸について
  - ・滑走路延伸による効果の認識及び今後の取組

等について質問があり、知事、環境生活部長及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後1時32分休憩。午後1時35分再開し、



**山根 理広議員（民主）から、**

- 1 保育人材の確保に向けた施策について  
・保育士の離職防止及び保育士確保のために講じた感染症への対策

- ・保育人材確保のために必要な手立てを講じる必要性に係る所見

2 ヘルシーD oの現状と課題について

- ・制度の現状や課題に係る認識
- ・認定商品の販路拡大に向けた取組
- ・ヘルシーD oの推進と食と健康のブランド化に向けた今後の取組

3 航空機の低空飛行について

- ・米軍機と思われるプロペラ機による低空飛行に関し、航空法における倁知安町地域での高度に係る認識
- ・道への事前通告の有無
- ・今後の対応に係る所見

4 コロナ禍と教員の時間外勤務縮減について

- ・働き方改革実現本部会議及び学校における働き方改革促進会議におけるこれまでの検討状況
- ・時間外勤務等に係る実態調査の結果を受けた今後の対策

5 コロナ禍と教育現場について

- ・国の学校・子供応援サポート人材バンクと道のボランティアバンクへの登録状況及び今後の対応スケジュール
- ・1学級あたりの人数を少なくし、可能な限り児童及び生徒間の距離を広げる工夫を行うことに係る所見
- ・教職員による学校の消毒の実施をうけた教職員への特殊勤務手当の必要性に係る見解

6 コロナ禍の影響によるJR北海道支援策について

- ・JR北海道に対する道独自の支援策の必要性に係る所見

7 どうみん割と民泊・イベント施策について

- ・小規模な宿泊事業者等への周知及び説明
- ・地域活性化施策として地域の宿泊施設を活用した企業研修旅行及び宿泊施設内でのテレワ

ーク研修等を実施することに係る所見

8 コロナ禍による北海道スポーツ界への影響と対策について

- ・本道スポーツへの支援に係る所見
- ・スポーツ界における感染症対策と各競技開催に向けた対策及び道の取組
- ・北海道のスポーツに対する自主財源の確保に向けたスポーツ税創設に係る所見

9 コロナ禍がパチンコ業界に与えた影響と対策について

- ・パチンコ業界の感染症対策及び第3波が起きた場合の休業要請に係る所見

等について質問があり、知事、環境生活部長、総務部危機管理監、総合政策部交通企画監、保健福祉部少子高齢化対策監、経済部観光振興監、経済部食産業振興監及び教育長から答弁。同議員から再質問があつて、知事及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後2時33分休憩。午後3時24分再開し、



**浅野 貴博議員（自民）から、**

1 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・感染症指定医療機関に指定されている医療機関の経営支援に係る所見

- ・陽性患者用の病床を増やす取組に関し、道としての正式な要請、指導の実施に係る認識及び今後の取組

- ・PCR検査の実施地域の拡大に対する認識及び今後の取組

- ・全道各地域の保健所における保健師の充足状況及び保健所の体制強化に向けた取組

- ・介護事業所と介護事業の申請先となる市町村等の関係機関と保健所との連携に対する認識及び今後の取組

- ・介護事業所支援として、介護報酬を先払いする支援策に係る認識及び今後の取組

- ・介護施設でクラスターが発生した際に自衛隊に支援を要請することに対する認識及び対応に係る所見

- ・道立羽幌病院と留萌市立病院の今後の連携に係る所見

- ・道立羽幌病院の体制強化に向けた取組

2 本道の社会経済の回復について

- ・国や道の給付金等の支払いの対象外となっている事業者への支援に係る認識及び今後の支援の在り方

- ・どうみん割の事業に関し、中小零細事業者等へも恩恵を行き渡らせるための工夫や市町村との連携、予算の計画的な執行や事業終了後の観光需要の落ち込みの防止等に係る認識と今後の取組
- ・コロナ禍の影響を受けたニシンの輸入に関し、輸入状況に係る認識及び地域雇用や伝統的食文化維持に向けた国との連携を含んだ今後の取組
- ・漁業協同組合の経営支援に向けた今後の取組
- ・人材のマッチングに関し、各振興局が地域事情を把握して重要な役割を果たしていくことの必要性に係る認識及び今後の取組
- ・本年度策定を予定している「酪農・肉用牛生産近代化計画」における本道の和牛の生産振興の位置づけ及び北海道への全国和牛能力共進会の誘致に係る見解
- ・建設業の雇用や経営の安定の確保に向けた感染防止の取組の徹底等に対する道の対応
- ・公共事業予算の確保に係る認識及び今後の取組

### 3 本道の教育について

- ・教員の確保が厳しい地方の状況に対する認識
- ・子どもたちの学びの場の確保と教員の負担軽減に向けた今後の対応に係る所見
- ・生徒の活動機会の確保に対する協力や助言に係る認識と今後の取組

等について質問があり、知事、保健福祉部長、経済部長、農政部長、建設部長、経済部食産業振興監、病院事業管理者、道立病院部長及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後4時14分休憩。午後4時17分再開し、

### 畠山 みのり議員（民主）から、

- 1 北海道の高速通信網整備について
  - ・市町村と連携した光ファイバ一敷設の推進に係る認識
  - ・道内に光ファイバーを張り巡らせる近道としてのＩＲＵ方式に係る見解

- ・情報通信技術を生かしたこれから先の北海道の姿に係る所見

### 2 道ホームページの利用しやすさについて

- ・多くの人にとって見やすいホームページをつくるための工夫

### 3 ジェンダー平等について

- ・男女の平等感が生まれないことに係る所見

- ・北海道男女平等参画基本計画の位置づけ及び市町村の計画策定に対するこの2年のアプローチ

- ・全ての人が自分らしく生きられるように、それぞれの実力が生かされて生きやすい北海道であることの大切さに係る所見

### 4 2050ゼロカーボンシティ宣言について

- ・二酸化炭素排出量削減が地域経済に及ぼす効果に係る認識
- ・2050年までのゼロカーボン実現に向けた戦略策定の仕組み及び実施に係る所見
- ・これまでの地球温暖化対策、省エネ対策の課題認識及び克服に係る所見

等について質問があり、知事、総合政策部長及び環境生活部長から答弁。同議員から再質問があって、知事から答弁。議事進行の都合により午後4時56分散会。

○ 6月24日（水） 午前10時8分開議、諸般の報告の後、

### 日程第1 議案第2号ないし第21号及び報告第1号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続。

**大越 農子議員（自民）** から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
  - ・全国都道府県知事への特措法改正の必要性に係るアンケートの回答

- ・特措法に対する評価
- ・特措法における知事権限の強化の可能性に対する見解
- ・知事権限の強化に關し、私権の過度な制限を防ぐために、活動制限の範囲を最小にしつつ感染拡大防止効果を最大化できるような措置の在り方を研究することに係る見解
- ・休業補償について最低限とされる補償額及びスピーディーな支払い方法の検討に係る所見
- ・知事権限の強化に關し、憲法との関わり及び課題に係る所見
- ・どうみん割など観光施策について、三密を防ぐ対策及び第3波到来等による予約のキャンセルへの対策
- ・全道各地と札幌との双方向の人の流れを促進させる支援の実施
- ・中小・小規模事業者の相談体制構築に係る所見



- ・第3波到来に備えた固定費支援に係る所見
  - ・「HOKKAIDO LOVE！」プロジェクトの将来に向けた活用に係る所見及び観光振興に対する決意
  - ・これまでの感染防護具の確保状況及び今後の流行に備えた感染防護具の確保に向けた取組
- 2 食品ロスの削減について
- ・北海道での食品ロス発生量の推計値
  - ・食品関連事業者を巻き込んだ新たな取組の実施状況
  - ・食品ロスの理念及び今後の食品ロス削減に向けた取組
- 3 DV防止について
- ・人材確保や高齢化等の課題を抱えている民間シェルターに対する認識及び支援に係る所見
  - ・DV被害者が安心して相談できるSNS等を活用した相談体制の整備に係る見解
  - ・感染防止対策を前提としたDV被害者等への支援や様々な立場の方々を受け入れる体制づくり等の切れ目のない支援に関する取組の検討及び対応に係る所見
- 4 文化・芸術への支援について
- ・北のまんが大賞の受賞者の中でプロとして活躍している事例
  - ・コンテストに多くの才能が集まるように工夫した仕組みづくりの必要性に係る所見及び今後の取組
  - ・北海道にゆかりのあるアーティストへの継続した活動支援の必要性に係る所見
  - ・北海道における文化に係る認識
  - ・今後の北海道の文化発展に係る所見及び今後の展開
- 5 英語教育について
- ・これまでの子どもたちの英語力向上に向けた取組
  - ・コロナ後の世界に対する見解及び英語教育のさらなる必要性に係る認識
  - ・フィンランドなどの先進的な取組の研究及び英語教育に取り入れることの検討に係る見解
  - ・今後の英語教育充実に係る所見
- 6 体力向上について
- ・体育の授業における感染症予防対策
  - ・児童生徒の体力及び運動能力の状況把握の必要性に係る認識
  - ・新型コロナウイルス感染症により対応すべき

課題が多い状況における児童生徒の体力向上の取組に係る所見

等について質問があり、知事、環境生活部長、保健福祉部長、経済部長、経済部観光振興監、農政部食の安全推進監及び教育長から答弁。同議員から発言があって、議事進行の都合により午前11時7分休憩。午前11時10分再開し、

**田中 英樹議員（公明）** から、



- 1 交通ネットワークについて
- ・新型コロナウイルス感染症の影響が続く中での総合的な交通体系の維持確保に係る所見
- 2 観光振興について

- ・「HOKKAIDO LOVE！」プロジェクトとどうみん割事業の連携により相乗効果が期待できることに係る所見
- ・国の「Go To キャンペーン」事業に「HOKKAIDO LOVE！」プロジェクトを連携させて相乗効果を高める必要性に係る所見及び今後の対応
- ・「HOKKAIDO LOVE！」プロジェクト内のウポポイの位置づけ及びウポポイを中心とした観光振興の取組に係る所見

3 道産食品の販路拡大について

- ・感染防止対策に留意しながら実施する道産食品の販路確保に向けた取組に係る所見
- ・感染予防策を講じながら実施する道内外のどさんこプラザを活用した道産食品の販路拡大の取組に係る所見
- ・新型コロナウイルス感染症の影響下における道産食品の輸出の推進に係る所見

4 日本遺産について

- ・道民への周知及び地元市町村と連携した取組

5 文化振興について

- ・郷土の文化芸術活動の担い手支援に係るこれまでの取組の視点と取組内容及び今後の文化の振興に対する所見

6 農業問題について

- ・本道農業及び農村の現状に係る認識
- ・新たな農業・農村振興推進計画策定に向けた検討の考え方
- ・農業の人手不足の実態及び営農への影響に係る認識
- ・人手不足に悩む農業者と新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた事業者を結びつける取組の内容と成果及び収穫等農作業のピーク

## 時期における対応

### 7 災害対策について

- ・国の太平洋沿岸の巨大地震モデル公表を踏まえた津波からの円滑な避難に向けた取組
- ・三密を回避するための避難所増設に向けた取組

### 8 教育問題について

- ・代替大会開催の検討すらしないと声明を出した高体連の対応に対する見解
- ・他県の代替大会開催の検討状況
- ・インターハイ31競技における代替大会開催等機会の創出に向けた競技別の検討状況
- ・競技ごとの感染予防ガイドライン
- ・生徒の集大成の場を喚起する今後の取組

等について質問があり、知事、環境生活部長、農政部長、総務部危機管理監、経済部観光振興監、経済部食産業振興監及び教育長から答弁。議事進行の都合により午前11時54分休憩。午後1時5分再開し、

## 千葉 英也議員（自民）から、

### 1 道内における医療用物資の生産・確保・供給・備蓄体制について

- ・医療物資確保の取組及び需給状況

- ・医療機関と医療物資等の製造業とのマッチング推進による道内製造業の新たなビジネスチャンス創出の必要性に係る所見

### 2 「居心地が良く歩きたくなるまちなか」づくりについて

- ・国的新規施策であるまちなかウォーカブル推進プログラムに対する認識
- ・新たな視点に立ったまちなかづくりの推進に係る見解

### 3 防災対策について

- ・国の防災基本計画の修正に係る今後の対応
- ・新型コロナウイルス感染症と大規模な自然災害が併発した場合に備えた対応策
- ・多様化する外国人に配慮した防災対策推進に係る所見

### 4 コロナウイルス感染症拡大防止に係る放課後児童クラブについて

- ・小学校が臨時休校となった時期における放課後児童クラブの状況に係る認識及びその間の対応
- ・感染拡大防止対策等について、道が基本マニ

ュアルを作成して提供する必要性に係る見解

### 5 道路占用の許可基準の緩和について

- ・許可基準の緩和に対する認識及び今後の対応等について質問があり、知事、保健福祉部長、建設部長、総務部危機管理監、保健福祉部少子高齢化対策監及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により午後1時36分休憩。午後1時38分再開し、

## 道見 泰憲議員（自民）から、

### 1 人口減少等がもたらす危機について

- ・道の187計画のうち新型コロナウイルス感染症による影響を受けた計画数及び影響を受け

る計画の見直しの検討

### ・諸計画の見直し時期に係る見解

- ・「北海道人口ビジョン」「北海道創生総合戦略」の対極に位置する別シナリオを作成して道民と危機感を共有することに係る見解
- ・札幌市との連携に関し、様々な見直しの断行の必要性に対する見解

### 2 エゾシカ肉等の輸出について

- ・北海道における養鹿産業の確立に係る見解
- ・エゾシカ肉等の利活用に向けたこれまでの施策の展開及び輸出対象となることで必要なルールや施策の検討に係る所見
- ・台湾への輸出に係る交渉の状況
- ・海外への輸出に向けた意気込みと見解
- ・台湾等へのエゾシカ肉の輸出環境の調整とともに味付けジンギスカン輸出の検討を行うことに係る見解及び今後の対応
- ・食の北海道ブランドの挑戦に向けた取り組む覚悟及び今回の提案施策に係る見解

等について質問があり、知事、総合政策部長、環境生活部長及び経済部食産業振興監から答弁。議事進行の都合により午後2時10分休憩。午後2時13分再開し、

## 内田 尊之議員（自民）から、

### 1 南檜山地域における医療確保の取組について

- ・道と南檜山地域の各町、地元医療機関の関係者が連携して策定した行動方針に基づいた今後の取組

- ・行動方針における各自治体の病院が各自担う診療機能
- ・行動方針に掲げる取組の推進体制となる地域

- 医療連携推進法人の設立に向けたスケジュール及び設立後の取組
  - ・行動方針どおり江差病院を札幌医科大学の地域医療研究教育センターとして位置付けるために必要な整備に向けた取組及び医師確保に係る所見
  - ・今年度が改定時期となる北海道病院事業改革推進プランに関し、次期プラン策定に向けた地域医療を守るために今後の取組
- 2 新型コロナウイルス感染症対策について
- ・道から市町村への情報提供に係る認識
  - ・振興局、市町村、保健所及び医療関係者が情報を共有し有事に対応可能な体制を構築することに係る所見
  - ・振興局のテレワークの環境整備及び実施に向けたルールづくりに係る今後の検討
  - ・地方創生臨時交付金について道内市町村の実施計画に搭載された取組事例
  - ・地方創生臨時交付金の最大限の有効活用に向けた道の対応
  - ・特別定額給付金の道内の給付状況
  - ・特別定額給付金に係る道内自治体の独自の取組状況及び道の受け止め
- 3 新たな過疎法に関する過疎地域の取組について
- ・過疎地域が果たす役割及び過疎対策の必要性に係る所見
  - ・人口減少が加速する地域の特殊事情を人口要件に反映させる必要性に係る所見
  - ・現行の過疎法が期限を迎えるに当たり、過疎地域が直面する状況を踏まえた今後の対応
- 4 農業農村整備事業の円滑な実施について
- ・工事を担う建設業の厳しい現状や長時間労働の是正等を踏まえての円滑な工事実施に向けた取組
- 等について質問があり、知事、農政部長、総務部職員監、総合政策部地域振興監、病院事業管理者及び道立病院部長から答弁。議事進行の都合により午後2時53分休憩。午後3時20分再開し、

**佐藤 権洋議員（自民）** から、

1 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・現在実施中のインターネット販売による販売キャンペーンの実施状況

- ・新北海道スタイルを実践しながらの地域の食関連事業者の販路確保支援に係る所見
  - ・新型コロナウイルス感染症の流行下において原子力災害が発生した場合の対応に係る所見
- 2 原子力防災対策の充実・強化について
- ・原子力防災対策の充実強化に向けた今後の取組
- 3 中小企業の受注機会確保について
- ・契約実態の調査結果及び今後の対応
- 4 エコチューニングについて
- ・普及・定着に向けた取組の必要性に係る所見
- 5 小樽看護専門学校について
- ・後志圏域における看護師確保に向けて進学先となる養成校の確保に係る見解
- 等について質問があり、知事、環境生活部長、保健福祉部長、経済部長及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後3時47分休憩。午後3時50分再開し、
- 真下 紀子議員（共産）** から、
- 1 知事の政治姿勢について
- ・保健所の箇所数の推移及び保健所・衛生研究所の職員の減少数並びに体制の縮小理由とその影響に係る所見
  - ・地域医療機関の経営危機の把握及び危機感を持った対応に係る所見
  - ・国の交付金を活用した民間病院を含めた医療機関の支援に係る所見
  - ・感染症対策の観点を踏まえての地域医療構想見直しに係る所見
  - ・新北海道スタイルの徹底だけでは解決できない問題への対応に係る所見
  - ・契約の在り方に關し、今後の契約は原則に立ち返り厳しく見直していくことに係る所見
  - ・専決処分決定に至った経過及び事業の執行状況に係る所見
  - ・議会審議を軽視する姿勢の改めに係る所見
- 2 道民生活について
- ・健診を進めるための広報の内容及び契約内容
  - ・がん検診の受診状況の把握及び今後の検診推進と早期発見に向けた取組
  - ・禁煙及び受動喫煙防止をはじめとするがん対策に対する姿勢
  - ・地域防災計画の見直しに当たって喫緊に求められる集団感染のリスク回避に向けた改善点
  - ・原発事故と感染症との複合災害を想定した医



## 療機能の確保と緊急時対応の見直し

### 3 経済産業対策について

- ・泊原発の感染症対策に関し、北電社員等の感染防止対策、三密対策、道外からの泊原発の作業員の健康調査及び移動自粛への対応
- ・感染症への対応を含む複合災害に対応した新たな計画策定を北電に求めるに係る所見
- ・泊原発が抱える危険性の認識及び原発に電力を頼らない北海道に向けた取組に係る所見
- ・コロナ禍の雇用への影響の推移及び厳しい雇用状況に対する認識
- ・雇用対策としての道への採用人数及び今後採用枠を増やすことへの見解
- ・大規模な雇用対策の必要性に係る認識
- ・売上げが減った事業者への支援として行った第2弾支援金の申請・支援状況及び更なる支援に係る見解
- ・ライブ・エンターテインメント事業者支援に必要なガイドラインの策定や助成金支給に向けた取組の進捗状況及び今後の見通し
- ・営業継続支援として事業者の家賃支給給付金の要件を緩和することに係る見解
- ・足腰の強い北海道経済への転換に向けた最低賃金増額に係る認識
- ・日本共産党道議団が行った全国一律賃金の実施と賃金引き上げの申し入れに対する見解

### 4 女性の登用について

- ・道庁における女性管理職の登用率の推移及び女性登用の加速に係る見解

### 5 一次産業について

- ・食の自給向上に向けた戦略的な取組の必要性に係る所見
- ・密を回避した田園回帰志向を力にした農業の人材確保に向けた積極的な取組の実施に係る所見

### 6 教育問題について

- ・一斉休校が道民と道民の生活に与えた影響の検証
- ・全国で最も長期に及ぶ休業が子どもたちに与えた影響に係る所見
- ・子どもの成長に寄り添った学校現場への支援の実施に係る所見
- ・少人数学級の感染対策効果等に係る見解
- ・コロナ禍における学校現場の対応業務拡大及び教職員の負担増に係る認識

・教職員の時間外勤務に関し、業務の持ち帰りも見られる現状の受け止め及び抜本的な解決に遠く及ばない状況に対する見解

等について質問があり、知事、総合政策部長、保健福祉部長、経済部長、農政部長、総務部危機管理監及び教育長から答弁。同議員から再質問があつて、知事及び教育長から答弁。同議員から再々質問があつて、知事及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後5時29分休憩。午後5時31分再開し、日程第1の議事を中止。

**追加日程 議案第22号**を議題とし、知事から追加提出議案に関する説明。日程第1にあわせ追加日程、議案第22号を一括議題として議事を継続し、質疑並びに質問を終結。

議長から、予算に関する案件について、本会議に27人の委員をもって構成する予算特別委員会を設置し、関係案件を付託の上審査することを諮り、異議なく決定。次の委員を議長指名により選任。

### ○予算特別委員（27人）

寺島 信寿（公明）	小泉 真志（民主）
鈴木 一磨（民主）	武田 浩光（民主）
佐々木大介（自民）	滝口 直人（自民）
星 克明（自民）	浅野 貴博（自民）
阿知良寛美（公明）	宮川 潤（共産）
新沼 透（結志）	池端 英昭（民主）
小岩 均（民主）	藤川 雅司（民主）
太田 憲之（自民）	桐木 茂雄（自民）
佐藤 稔洋（自民）	笠井 龍司（自民）
村木 中（自民）	田中 芳憲（自民）
沖田 清志（民主）	赤根 広介（結志）
佐藤 伸弥（結志）	小畠 保則（自民）
吉田 正人（自民）	大谷 亨（自民）
川尻 秀之（自民）	

議案第9号を少子・高齢社会対策特別委員会に、議案第15号を新幹線・総合交通体系対策特別委員会にそれぞれ付託することについて異議なく決定し、残余の議案については、議案付託一覧表のとおりそれぞれ所管の常任委員会に付託。

**日程第2 議案第2号**を議題とし、佐々木俊雄議員（自民）から議案第2号に関する説明の後、真下紀子議員（共産）から質疑があり、議案第2号を農政委員会に付託することを決定。

各委員会付託議案等審査のため6月25日から6月26日まで及び6月29日から7月2日までの本会議を休会することに決定し、午後5時57分散会。

○7月3日（金） 午後4時2分開議、諸般の報告の後、元議員の逝去報告。

**日程第1 議案第2号ないし第22号、報告第1号及び会議案第2号**を議題とし、予算特別委員長、総務副委員長、総合政策委員長、保健福祉副委員長、少子・高齢社会対策特別副委員長、農政委員長、建設副委員長、新幹線・総合交通体系対策特別委員長、文教副委員長及び水産林務副委員長から、それぞれ各委員会における付託議案審査の経過と結果について報告。

討論に入り、菊地葉子議員（共産）から、議案第6号、第13号、第15号、第18号及び報告第1号に関する反対討論があつて、討論終結。

採決に入り、議案第6号、第13号、第15号、第18号及び報告第1号を問題とし、委員長報告（議案はすべて可決、報告は承認議決）のとおり決することについて、起立多数により原案可決。

次に、議案第2号ないし第5号、第7号ないし第12号、第14号、第16号、第17号、第19号ないし第22号及び会議案第2号を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおり決することについて、いずれも異議なく原案可決。

**日程第2 議案第23号**を議題とし、知事から追加提出議案に関する説明の後、委員会付託を省略。

採決に入り、議案第23号を問題とし、起立多数により同意議決。

**日程第3 意見案第1号ないし第8号**を議題とし、説明及び意見案第1号ないし第4号の委員会付託を省略。

採決に入り、意見案第6号を問題とし、起立採決の結果、起立多数により原案可決。

次に、意見案第1号ないし第5号、第7号及び第8号を問題とし、いずれも異議なく原案可決。

閉会中請願継続審査及び事務継続調査の件について、各常任委員長並びに議会運営委員長から、申し出のとおり、閉会中の継続審査または調査に付することを決定。

今期定例会に付議された案件は、すべて議了し、午後4時44分閉会。

# 提 出 案 件

## 第2回定例会において知事から提出のあった案件

### 議 案

提年月出日	番号	件 名	付託委員会	議年月日	議結事果
2. 6. 16	1	令和2年度北海道一般会計補正予算（第4号）	付託省略	2. 6. 16	原案可決
2. 6. 16	2	令和2年度北海道一般会計補正予算（第5号）	予 算	2. 7. 3	原案可決
2. 6. 16	3	令和2年度北海道国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	予 算	2. 7. 3	原案可決
2. 6. 16	4	北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	総 務	2. 7. 3	原案可決
2. 6. 16	5	北海道税条例等の一部を改正する条例案	総 務	2. 7. 3	原案可決
2. 6. 16	6	特定地域等における道税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例案	総 務	2. 7. 3	原案可決
2. 6. 16	7	北海道総合政策部の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案	総合政策	2. 7. 3	原案可決
2. 6. 16	8	北海道立児童福祉施設条例の一部を改正する条例案	保健福祉	2. 7. 3	原案可決
2. 6. 16	9	北海道安心こども基金条例の一部を改正する条例案	少子・高齢社会対策	2. 7. 3	原案可決
2. 6. 16	10	北海道農政部手数料条例の一部を改正する条例案	農 政	2. 7. 3	原案可決
2. 6. 16	11	国営土地改良事業負担金等徴収条例の一部を改正する条例案	農 政	2. 7. 3	原案可決
2. 6. 16	12	租税特別措置法施行令の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例案	建 設	2. 7. 3	原案可決
2. 6. 16	13	北海道建築基準法施行条例の一部を改正する条例案	建 設	2. 7. 3	原案可決
2. 6. 16	14	北海道地方警察職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	総 務	2. 7. 3	原案可決
2. 6. 16	15	新幹線鉄道の建設に関する工事に伴う地方公共団体の負担金に関する件	新幹線・総合交通体系対策	2. 7. 3	原案可決
2. 6. 16	16	国営土地改良事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	農 政	2. 7. 3	原案可決
2. 6. 16	17	工事請負契約の締結に関する件	文 教	2. 7. 3	原案可決
2. 6. 16	18	工事委託契約の締結に関する件	建 設	2. 7. 3	原案可決
2. 6. 16	19	船舶建造請負契約の締結に関する件	水産林務	2. 7. 3	原案可決
2. 6. 16	20	船舶建造請負契約の締結に関する件	文 教	2. 7. 3	原案可決
2. 6. 16	21	財産の処分に関する件	文 教	2. 7. 3	原案可決
2. 6. 24	22	令和2年度北海道一般会計補正予算（第6号）	予 算	2. 7. 3	原案可決
2. 7. 3	23	北海道公安委員会委員及び方面公安委員会委員の選任につき同意を求める件	付託省略	2. 7. 3	同意議決

### 報 告

提年月出日	番号	件 名	付託委員会	議年月日	議結事果
2. 6. 16	1	専決処分報告につき承認を求める件	予 算	2. 7. 3	承認議決
2. 6. 16	2	令和元年度北海道繰越明許費繰越計算書報告の件	報告のみ	—	—
2. 6. 16	3	令和元年度北海道事故繰越し繰越計算書報告の件	報告のみ	—	—
2. 6. 16	4	令和元年度北海道病院事業会計予算繰越計算書報告の件	報告のみ	—	—
2. 6. 16	5	法人の経営状況に関する件	報告のみ	—	—
2. 6. 16	6	土地信託の事務処理状況に関する件	報告のみ	—	—
2. 6. 16	7	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
2. 6. 16	8	専決処分報告の件	報告のみ	—	—

提 年 月 出 日	番号	件 名	付 委 員 会	託 會	議 年 月 決 日	議 結	事 果
2. 6.16	9	専決処分報告の件		報告のみ	—	—	

## 第2回定例会において議員又は委員会から提出のあった案件

### 会 議 案

提 出 年 月 日	番号	件 名	提 出 者	議 決 年 月 日	議 結 事 果
2. 6.16	1	北海道議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案	佐々木 俊雄議員外9人	2. 6.16	原案可決
2. 6.23	2	北海道花きの振興に関する条例案	佐々木 俊雄議員外14人	2. 7. 3	原案可決

### 意 見 案

提 出 年 月 日	番号	件 名	提 出 者	議 決 年 月 日	議 結 事 果
2. 7. 2	1	新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書	笠井 龍司議員外4人	2. 7. 3	原案可決
2. 7. 2	2	地方財政の充実・強化を求める意見書	笠井 龍司議員外4人	2. 7. 3	原案可決
2. 7. 2	3	令和2年度北海道最低賃金改正等に関する意見書	笠井 龍司議員外4人	2. 7. 3	原案可決
2. 7. 2	4	北海道内における大学入学共通テスト会場の複数設置に関する意見書	笠井 龍司議員外4人	2. 7. 3	原案可決
2. 7. 3	5	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書	水産林務委員長 三好 雅	2. 7. 3	原案可決
2. 7. 3	6	国土強靭化に資する道路の整備等に関する意見書	建設委員長 村木 中	2. 7. 3	原案可決
2. 7. 3	7	義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める意見書	文教委員長 笠井 龍司	2. 7. 3	原案可決
2. 7. 3	8	私学助成制度に係る財源措置の充実強化に関する意見書	文教委員長 笠井 龍司	2. 7. 3	原案可決

# 会議案

## 会議案第1号

### 北海道議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案

〔2年2定  
佐々木 俊雄議員外9人提出  
令和2年6月16日 原案可決〕

#### 北海道議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

北海道議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例（昭和31年北海道条例第67号）の一部を次のように改正する。

附則に次の1項を加える。

13 議長、副議長及び議員の議員報酬の月額は、令和2年7月1日から同月31日までの間に限り、第1条の規定にかかわらず、それぞれ同条に定める額から第4条第1項の規定により同年6月1日に在職した者に対して支給された期末手当の額に100分の20を乗じて得た額を減じた額とする。

#### 附 則

この条例は、令和2年7月1日から施行する。

#### 説 明

新型コロナウイルスの感染拡大による道民生活や道内経済への影響等に鑑み、議長、副議長及び議員の議員報酬を減額することとするため、この条例を制定しようとするものである。

## 会議案第2号

### 北海道花きの振興に関する条例案

〔2年2定  
佐々木 俊雄議員外14人提出  
令和2年7月3日 原案可決〕

#### 北海道花きの振興に関する条例

花きは、その彩りの美しさや香りにより、多くの人々に潤いと安らぎを与え、豊かで健康な暮らしをもたらしている。北海道では、冷涼な気候を生かした花きの生産が国内有数の規模で行われており、高品質な花き産地として高い評価を得ている。

今後も高品質な花きの産地としての評価を維持していくためには、花きの生産、流通及び販売を行う者の担い手不足や高齢化の進行、さらには花きの需要が減少しているといった課題があり、これらの課題に対応していく必要がある。

こうした考え方立って、花きの振興に関する施策を総合的に推進することにより、花き産業の持続的な発展及び花きを活用した道民の豊かで健康な暮らしの実現を目指し、道民の総意としてこの条例を制定する。

#### (目的)

第1条 この条例は、花きの振興に関し、道、道民、花き産業事業者及び関係団体の役割を明らかにするとともに、道の施策の基本となる事項を定めることにより、花きの振興に関する施策を推進するとともに、花き産業の持続的な発展及び道民の豊かで健康な生活の実現に寄与することを目的とする。

#### (定義)

第2条 この条例において「花き」とは、観賞の用に供される植物をいう。

2 この条例において「花き産業」とは、花きの生産、流通及び販売の事業をいう。

#### (道の役割)

第3条 道は、花きの振興に関する施策を総合的に推進するものとする。

2 道は、花きの振興に関する法律（平成26年法律第102号）第4条第1項に規定する振興計画を策定するものとする。

3 道は、花きの振興に関する施策の推進に当たっては、国、市町村、道民、花き産業事業者（花き産業を営む者をいう。以下同じ。）及び関係団体との連携に努めるものとする。

#### (道民の役割)

第4条 道民は、花きに対する理解を深め、日常の生活で花きを活用するよう努めるものとする。

2 道民は、道の実施する花きの振興に関する施策に協力するよう努めるものとする。

#### (花き産業事業者等の役割)

第5条 花き産業事業者及び関係団体は、質の高い花きの供給及び道民の花きの活用を促進するための普及啓発に努めるものとする。

2 花き産業事業者及び関係団体は、道の実施する花きの振興に関する施策に協力するよう努めるものとする。

(花きの振興に関する施策)

第6条 道は、花き産業事業者の安定的な生産及び流通の高度化を図るため、人材の育成その他の必要な措置を講ずるものとする。

2 道は、家庭、学校、地域その他の道民の日常の生活における花きを活用した取組を促進するため、花きとのふれあいの場及び機会の提供その他の必要な措置を講ずるものとする。

3 道は、道民の花き及び花きの文化に対する理解を深めさせるため、普及啓発、情報の提供その他の必要な措置を講ずるものとする。

4 道は、まちづくり及び公共施設、社会福祉施設その他施設における花きを活用した取組を促進するため、花きの活用に関する情報の提供その他の必要な措置を講ずるものとする。

(北海道花の日)

第7条 道民の花きに対する関心及び理解を深めさせるとともに、積極的に花きを活用する機運を高めるため、北海道花の日を設ける。

2 北海道花の日は、8月7日とする。

#### 附 則

1 この条例は、公布の日から施行する。

2 知事は、この条例の施行の日から起算して5年を経過するごとに、社会経済情勢の変化等を勘案し、この条例の施行の状況等について検討を加え、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとする。

#### 説 明

花きの振興に関し、道、道民等の役割を明らかにするとともに、道の施策の基本となる事項を定めることにより、花きの振興に関する施策を推進し、花き産業の持続的な発展及び道民の豊かで健康な生活の実現に寄与することとするため、この条例を制定しようとするものである。

# 意 見 案

## 意見案第1号

### 新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書

〔 2年2定  
笠井 龍司議員外4人提出  
令和2年7月3日 原案可決 〕

新型コロナウイルス感染症の全国的な広がりの中、政府が全都道府県を対象として発令した緊急事態宣言のもと、各都道府県においては、検査・医療提供体制の確保をはじめ、緊急事態措置による外出自粛や休業要請等の住民・関係者が一丸となった取組を進め、5月25日には全都道府県において緊急事態宣言が解除された。

北海道においては、2月中旬からの患者の急増に引き続き、第2波ともいえる感染拡大を経験してきており、今後においては、これまでの経験を生かしながら、感染症対策と社会経済活動を両立させていくこととしている。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症との闘いは長期化することも見込まれているところであり、検査体制・医療提供体制のさらなる充実のほか、重篤化のリスクが高い方が多く利用する社会福祉施設におけるクラスター対策等、現下の感染症を確実に抑え込みつつ、次なる感染拡大の波に確実に対応できるよう準備を進める必要がある。

また、外出の自粛や観光客の減少などにより、宿泊・旅行業、飲食業をはじめとしたサービス業を中心に消費が著しく減退し、製造業などでも部品・原料調達ができないことによる受注・販売機会の損失の発生が見られるなど、道内の中小・小規模企業の経営環境は大変に厳しい状況にあり、さらに雇用の維持や従業員の生活安定など様々な方面に関しても一段と厳しさを増しつつある。

よって、国においては、より一層スピード感を持った対応が必要であることから、次の事項について早急に対策を講ずるよう強く要請する。

#### 記

- 1 新たな検査方法への対応を含め、検査体制整備への取組に対する財政的支援を継続するとともに、簡易検査キットの開発を含め、検査対象基準の見直し等、さらなる検査体制の充実を図ること。
- 2 次の流行の波に備え、医療機関や社会福祉施設等の医療・介護従事者に対する支援を充実するとともに、感染防護に必要なマスクやゴーグル、防護服等の資機材の確保や計画的な備蓄など、再流行期に不足が生じないよう、国の責任において確保すること。
- 3 国際社会と連携し、感染拡大防止に有効であるワクチンや治療薬を開発し、早期に供給すること。
- 4 住民からの相談対応や検査・患者搬送、積極的疫学調査等、多岐にわたる保健所の感染対策業務に係る経費に対する財政措置を充実すること。
- 5 新型コロナウイルス感染症患者の受入れに当たり、一般病棟の休止や救急患者の受入れ停止などにより、大幅な減収を余儀なくされている。また、疑い患者の有無にかかわらず、多くの医療機関において収益が低下しており、経営への大きな影響は避けられない状況となっていることから、減収となった医療機関に対するさらなる財政的支援を行うこと。
- 6 社会福祉施設等でクラスターが発生した場合においても、必要なサービスが提供できるよう、介護職員等の応援体制の構築や職員の確保・定着のための継続的な財政支

援を行うこと。

- 7 感染症の影響が長期化し、個人事業主や中小企業の経営悪化が深刻化する中、緊急かつ万全な中小・小規模企業への金融支援対策や各種税の支払い等に関する柔軟な対応、また、業種職種を問わず、個人事業主をはじめ、あらゆる事業者・労働者への支援策の充実や新規学卒者等の採用に対する特段の配慮など、当面の事業継続・雇用維持に万全の対応を行うこと。
  - 8 地域の中小企業の需要喚起に向けた取組を感染収束の各段階に応じ効果的に行うとともに、国による「G o T o キャンペーン」を効果的な事業とするため、時期を逸することなく実施するほか、制度設計に当たっては、これまでの感染状況やそれに起因する地域経済への影響を踏まえること。
  - 9 緊急事態宣言の発出に伴う外出の自粛により、観光業や飲食業をはじめ事業者に多大な影響が生じていること、さらには休業要請に応じた事業者は大きな売上減少に直面したことから、宣言を発出した国の責任のもと事業者への損失補償を行うこと。
  - 10 北海道においては、学校の臨時休業が長期化したことから、その影響を受けた子どもたちに対し、学びの保障に向けた I C T 機器の整備、人的支援、衛生用品の確保など、優先的な環境整備を行うこと。
  - 11 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による景気低迷等に伴い、国税や地方税について、大幅な減収が見込まれることから、地方自治体の財政運営に支障が生じないよう、十分かつ確実な財源措置を講ずること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
財務大臣  
総務大臣  
文部科学大臣  
厚生労働大臣  
経済産業大臣

} 各通

北海道議会議長 村田憲俊

## 意見案第2号

### 地方財政の充実・強化を求める意見書

2年2定  
笠井 龍司議員外4人提出  
令和2年7月3日 原案可決

今、地方自治体には、医療・介護などの社会保障への対応、子育て支援策の充実、地域交通の維持・確保など、より多様化・複雑化した行政需要への対応が求められている中で、近年多発している大規模災害やそのための防災・減災対策の実施、また新たに発生している新型コロナウイルス感染症対策など、緊急な対応を要する課題にも直面している。

とりわけ、新型コロナウイルス感染症に対しては、いまだ収束のめどは見通せないどころか長期化が予想される状況になっている。このため、各自治体では住民の命と生活を守るために感染拡大防止対策や地域経済対策、雇用対策など様々な対策が取られており、今後の状況変化をにらみ国の責任において、さらなる追加の予算措置を含めた対応が必要不可欠である。

一方で、地方の一般財源総額について、政府はいわゆる「骨太方針2018」で、令和3年度の地方財政計画まで、平成30年度の地方財政計画の水準を下回らないよう、実質的に同水準を確保するとされており、実際に令和2年度地方財政計画の一般財源総額は63兆4318億円、前年比プラス1.2%と、過去最高の水準となった。

しかし、人口減少・超高齢化に伴う社会保障費関連などの財政需要の増加に加え、引き続き、新型コロナウイルス感染に係る継続的な対策も見込まれることから、さらなる地方財政の充実・強化が求められている。

よって、国においては、令和2年度補正予算及び令和3年度当初予算の編成と地方財政計画の策定に当たっては、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立を目指すよう、次の事項について適切な措置を講ずるよう強く要望する。

#### 記

- 1 地方財政計画の策定に当たっては、新型コロナウイルス感染症の影響による税収等の減や感染症及び経済対策に要する財政需要の増を確実に反映させるとともに、社会保障、防災、環境対策、地域交通対策、人口減少対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これらに柔軟に対応し得る地方一般財源総額の確保を図ること。
- 2 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度及び令和3年度において、地方税の大幅な減収が見込まれることから、減収補填債の対象税目を拡大するなど、確実な減収補填措置を講ずること。
- 3 「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」及び「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」については、今後の状況変化を踏まえ、検査体制及び医療提供体制の強化等、引き続き、国の責任において、追加の予算措置を講ずること。
- 4 子育て、地域医療の確保、介護や児童虐待防止、生活困窮者自立支援など、急増する社会保障ニーズへの対応と人材を確保するための社会保障関連予算の確保及び地方財政措置を的確に行うこと。
- 5 令和3年度以降の会計年度任用職員制度における財政需要のさらなる増加については、地方財政計画の歳出に確実に計上すること。
- 6 地方交付税における「業務改革の取組等の成果を反映した算定（トップランナー方式）」は、人口規模の違いなど地域の実情を踏まえたものとすること。また、同方式により生み出された財源は、地方の行財政改革の効果であり、必ず地方に還元すること。

- 7 「まち・ひと・しごと創生事業費」として確保されている1兆円について、引き続き同規模の財源を確保すること。
  - 8 森林環境譲与税の譲与基準については、地方団体と協議を行い、林業需要の高い自治体への譲与額を増大させるよう見直すこと。
  - 9 地域間の財源の偏在性の是正のため、引き続き、税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に取り組むこと。  
また、各種税制の廃止、減税を検討する際には、自治体財政に与える影響を十分検証した上で、代替財源の確保をはじめ、財政運営に支障が生じることがないよう対応を図ること。
  - 10 財政基盤の脆弱な地方自治体における過疎地域の自立促進に向けて計画的・効果的な事業が実施できるよう、新たな過疎法の制定に当たっては、一部過疎も含めた現行の過疎地域を引き続き対象とすることを基本としつつ、過疎地域の現状を適切に反映するよう要件設定すること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和　年　月　日

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
財務大臣  
総務大臣  
厚生労働大臣  
経済産業大臣  
内閣官房長官  
経済財政政策担当大臣  
地方創生規制改革担当大臣

各通

北海道議会議長　村田憲俊

## 意見案第3号

### 令和2年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

2年2定  
笠井 龍司議員外4人提出  
令和2年7月3日 原案可決

令和元年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2019」において、最低賃金については、年率3%程度を目指として、景気や物価動向を見つつ、地域間格差に配慮しながら、より早期に全国加重平均が1000円になることを目指すとされており、北海道地方最低賃金審議会においても、当該方針等に配慮した答申がなされ、これらを踏まえ令和元年度の本道最低賃金は861円に改定された。

近年、最低賃金は毎年引き上げられているものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による経済情勢・雇用環境の悪化や、最低賃金制度が道内労働者の有効なセーフティーネットとして十分に機能するための事業所に対する指導監査の強化及び最低賃金制度の履行の確保が極めて重要な課題となっている。

よって、国においては、令和2年度の北海道最低賃金の改正に当たり、次の措置を講ずるよう強く要望する。

#### 記

- 1 最低賃金については、経済の好循環の実現を図るため、より早期に全国加重平均が1000円になることを目指すとの方針を堅持しつつ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、厳しい経営環境に置かれている中小企業、小規模事業者に十分に配慮した上で、最低賃金の引上げを検討すること。
- 2 道内事業所に対する指導監督を強化するなどし、最低賃金制度の確実な履行を図ること。
- 3 最低賃金の引上げを行う場合は、深刻な人手不足が生じている本道の労働市場の状況を十分に踏まえて、中小企業、小規模事業者が行う生産性の向上に資する設備投資などの取組を強力に支援するとともに、安定的で継続的な経営が可能となる対策を講ずること。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
財務大臣  
厚生労働大臣  
北海道労働局長

各通

北海道議會議長 村田憲俊

## 意見案第4号

### 北海道内における大学入学共通テスト会場の複数設置に関する意見書

2年2定  
笠井 龍司議員外4人提出  
令和2年7月3日 原案可決

令和3年度の大学入学共通テストが、令和3年1月16日及び17日に実施されることが決まった。

従来の大学入試センター試験では、東日本と西日本の2地区で追試験を実施していたが、入学志願者が新型コロナウイルス感染症の影響に伴う学業の遅れや、同感染症に罹患した場合等にも対応できる選択肢を確保するため、令和3年1月30日及び31日にも学業の遅れを理由に当該日程を選択する者を対象とともに、令和3年1月16日及び17日の試験を疾病等の理由で受験することができなかった者の追試験として実施することとし、全都道府県に試験場を設置することも発表された。

大学入学共通テストの実施に際し、広域分散型の特徴を有する北海道においては、他都府県と比べ、受験生及び保護者の時間的・経済的な負担が過大となる。

よって、国においては、1月30日及び31日実施の大学入学共通テストを北海道内の複数箇所で実施されるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
財務大臣  
総務大臣  
文部科学大臣

} 各通

北海道議会議長 村田憲俊

## 意見案第5号

### 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

〔2年2定  
水産林務委員長 三好 雅提出  
令和2年7月3日 原案可決〕

本道の森林は全国の森林面積の約4分の1を占め、国土保全、地球温暖化防止、林産物の供給等の多面的機能の発揮が期待されており、これらの機能を十分に発揮させるためには、「植えて育てて、伐って使って、また植える」といった森林資源の循環利用を進める必要がある。

森林の整備を進め、木材を積極的に利用していくことは、山村地域を中心とする雇用・所得の拡大による地方創生にも大きく貢献するものである。

道では、森林の公益的機能の維持増進と森林資源の循環利用の実現に向け、森林整備事業及び治山事業や林業成長産業化総合対策事業等を活用し、植林・間伐や路網の整備、山地災害の防止、木造公共施設の整備、林業事業体の育成など、様々な取組を進めてきたところである。

人工林資源が本格的な利用期を迎える中、計画的な間伐や伐採後の着実な植林を一層進めるため、地方債の特例措置を継続するなど、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化の実現に向けて施策の充実・強化を図ることが必要である。

よって、国においては、次の措置を講ずるよう強く要望する。

#### 記

- 1 森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用の安定化を図るため、森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。
- 2 間伐、植林、種苗生産等を着実に進めるため、「森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法」を延長し、同法に基づく森林整備事業の都道府県・市町村負担分の起債を可能とする地方債の特例措置を継続すること。
- 3 森林資源の循環利用を通じて林業・木材産業の成長産業化を実現するため、地域の実情を十分に踏まえ、森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取組や森林づくりを担う林業事業体や人材の育成に必要な支援措置を充実・強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
財務大臣  
総務大臣  
文部科学大臣  
農林水産大臣  
経済産業大臣  
国土交通大臣  
環境大臣  
復興大臣

各通

北海道議会議長 村田憲俊

## 意見案第6号

### 国土強靭化に資する道路の整備等に関する意見書

2年2定  
建設委員長 村木 中提出  
令和2年7月3日 原案可決

北海道は、豊かで美しい自然環境や広大な大地と海に育まれた豊富で新鮮な食など、多様な魅力を有しており、国内外より訪れる観光客の増加が続いているが、今般の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、本道の経済は食産業や観光業、農林水産業など幅広い分野において、大きな打撃を受けている。

今後は、感染抑制のための取組を継続しながら、経済活動との両立を図ることや復興に向けた取組を加速することが必要であり、そのためには、北海道の強みである「食」や「観光」に関連する地域（生産空間）が持つ潜在力が最大限発揮されるよう、生産性の向上に資する高規格幹線道路ネットワークの早期形成や機能向上が必要不可欠である。

また、本道は近年、豪雨、暴風雪、地震、津波などの自然災害時に発生する交通障害、多発する交通事故、道路施設の老朽化など、様々な課題を抱えている。加えて、本州に比べ積雪寒冷の度合いが特に甚だしく、除排雪等に要する費用も多額となっている。

こうした中、地方財政は依然として厳しい状況にあることから、国と地方の適切な役割分担のもと、道路整備・管理に必要な予算を安定的かつ継続的に確保することが重要である。

よって、国においては、国土の根幹をなす高規格幹線道路から住民に最も密着した市町村道に至る道路網の計画的・体系的整備の必要性や、新型コロナウイルス収束後の物流・観光をはじめとする経済活動の復興における道路の重要性などを踏まえ、より一層の道路整備の推進や管理の充実・強化が図られるよう、次の事項について特段の措置を講ずるよう強く要望する。

#### 記

- 1 長期安定的に道路整備・管理が進められるよう、新たな財源を創設するとともに、道路関係予算は所要額を満額確保すること。
- 2 高規格幹線道路については、着手済み区間の早期開通はもとより、未着手区間の早期着手及び暫定2車線区間における4車線化といった機能向上を図ること。
- 3 令和2年度までの限定的な措置となっている「防災・減災、国土強靭化のための3か年緊急対策」を継続し、対象事業の範囲を拡充すること。また、地方が国土強靭化地域計画に基づく事業を着実に推進するため、必要な予算を確保するとともに、緊急自然災害防止対策事業債等の継続を含めた地方財政措置制度の充実を図ること。
- 4 道路施設の老朽化対策を推進するため、点検・診断・補修などのメンテナンスサイクルを確立し、予防保全を含む戦略的な維持管理・更新事業を行うための技術的支援の充実を図るとともに、対策予算を確保すること。
- 5 冬期交通における安全性の確保、通学路などの交通安全対策、無電柱化の推進、安全で快適な自転車利用環境の創出、北海道観光の発展に資する交通ネットワークの形成など、地域の暮らしや経済活動の復興を支える道路の整備や管理の充実を図ること。
- 6 泊発電所周辺の道路は、複合災害発生時における避難道路としての機能も有していることから、こうした道路の事業について、国の負担割合を引き上げるとともに、早急な整備と適切な管理を図るために必要な予算を別枠で確保すること。
- 7 災害発生時の迅速かつ円滑な復旧等のため、北海道開発局及び開発建設部の人員体制の維持・強化を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
財務大臣  
総務大臣  
国土交通大臣  
国土強靭化担当大臣

} 各通

北海道議会議長 村田憲俊

## 意見案第7号

### 義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める意見書

2年2定  
文教委員長 笠井 龍司提出  
令和2年7月3日 原案可決

義務教育の機会均等・水準確保及び無償制度は、全ての国民に対し、義務教育を保障するための憲法の要請に基づく国的重要な責務であり、我が国の教育制度の根幹となっている。

中でも、義務教育費国庫負担制度は、全ての子どもたちに一定水準の教育機会をひとしく保障するものであり、次代を担う人材を育成するという社会の基盤づくりに必要不可欠なものである。

しかしながら、義務教育費国庫負担法の改正により、平成18年度から義務教育費の国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられたことに伴い、地方公共団体においては、地方交付税等への地方の依存度が高まり、教育財政が圧迫されている状況にある。

とりわけ、広大な地域に小規模校が数多く存在し、また、離島など多くの僻地を有する本道においては、教育財政の逼迫等により、教育水準の全国との格差や市町村間での格差が生じるなど、本道の教育水準のさらなる低下が憂慮されるほか、学力・体力の向上をはじめ、いじめや不登校など多様化・複雑化する生徒指導上の課題への的確な対応、近年増加傾向にある教育上特別な支援を必要とする児童生徒へのきめ細やかな指導の充実等に支障を来すことが懸念される。

令和という新たな時代が始まり、Society 5.0の到来が予測されるなど、急激な社会変化が進み、予測することが難しい未来社会の中で、本道の子どもたちが持続可能な地域のつくり手としての資質・能力を身につけ、幸福な人生を歩んでいくための力の育成を実現させることが重要である。

そのため、これからの中には、よりよい学校教育を通して、よりよい社会をつくるという理念を学校と社会が共有し、社会との連携及び協働によりその実現を図っていく「社会に開かれた教育課程の実現」が求められており、こうした要請に応えるとともに、教育の機会均等や教育水準の維持向上を実現するためにも、教職員定数をはじめとする教育予算の一層の充実が求められている。

さらに、学校施設は災害時に地域住民の緊急避難場所として極めて重要な役割を果たしており、その耐震性の確保に万全を期す必要があることや、低所得者層の増大を要因とした、準要保護などの就学援助受給家庭の増加に対応する、就学援助制度や奨学金制度の充実なども喫緊の課題となっている。

特に、本年においては、新型コロナウィルス感染症に伴う学校の臨時休業が長期にわたって行われたことから、学習の遅れを取り戻し、学びの最大限の保障に向けた環境整備を進める必要がある。

よって、国においては、公教育に地域間格差を生じさせないため、義務教育費国庫負担制度の堅持、少人数学級の実現、地域の教育課題やこれからの社会を見据えた教育に応じるための教職員定数の改善、教科書の無償給与の堅持並びに学校施設費、就学援助費及び教材費等の充実など、地方交付税等を含む義務教育予算の確保・拡充を図られるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
財務大臣  
総務大臣  
文部科学大臣

} 各通

北海道議会議長 村田憲俊

## 意見案第8号

### 私学助成制度に係る財源措置の充実強化に関する意見書

2年2定  
文教委員長 笠井 龍司提出  
令和2年7月3日 原案可決

私学は、建学の精神と独自の教育理念の下、時代の変化や社会の要請に応じた特色ある教育を実践し、我が国の公教育の発展に大きな役割を果たしてきた。

しかしながら、我が国は、少子高齢化社会の到来というこれまで経験したことのない厳しい時代を迎えており、私学においても、児童生徒の急激な減少と、新型コロナウィルスの感染拡大防止のための対応等により、経営環境はより一層厳しさを増している。

近年ますます国際化・高度情報化が進展する社会において、我が国が持続的に成長・発展を遂げていくためには、新しい時代が求める能力や知力を有するグローバル人材の育成が急務であり、私学は、こうした人材育成のために、これまで以上に自主性や多様性を発揮しながら、社会的役割を果たしていく必要がある。

国は、今年から年収590万円未満世帯を対象とした私立高等学校等の授業料の実質無償化を実現し、公私間の格差是正に努めてきたところであるが、私学経営は依然として厳しい経営を余儀なくされており、その安定性・健全性を高めることが何よりも重要となっている。

よって、国においては、こうした私学が置かれている厳しい経営環境と公教育における社会的役割にしっかりと目を向け、次に掲げる事項について支援の一層の充実強化を図るよう、強く要望する。

#### 記

- 1 私立学校振興助成法に基づく国の助成制度の拡充
  - 2 公私間の納付金負担格差の縮小是正とさらなる保護者の負担軽減施策の拡充
  - 3 学校施設の耐震化促進の一層の支援・充実及び私学におけるICT環境の整備促進（公私間格差のは正）
  - 4 都道府県が実施する私学助成制度に対する財源措置の一層の充実強化
  - 5 新型コロナウィルス感染症対策等（「新しい生活様式」を踏まえた学校教育活動）に対する国の助成制度の創設
- 以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
財務大臣  
総務大臣  
文部科学大臣

各通

北海道議会議長 村田憲俊

## 委員会の動き

### 議会運営委員会

○ 6月9日（火） 開議 午後2時38分  
散会 午後2時40分  
議会運営委員会室  
委員長 吉田 祐樹（自民）

- ① 委員席及び委員外議員席について
  - ・着席のとおりとすることを決定。
- ② 会派役員の異動について
  - ・民主・道民連合から、6月1日付で届け出があり、配付のとおり各派役員名簿を整理したことを報告。
- ③ 令和2年第2回定例会について
  - ・総務部長から、招集日を6月16日（火）とする旨発言があり、これを了承。
  - ・総務部長から、提出予定の主要案件について説明。
  - ・会期について18日間とすることを決定。
  - ・日程について、次のとおり取り進めることを決定。

#### [第2回定例会]

6月16日	本会議（提案説明）
6月17日～6月18日	休会
6月19日	本会議（一般質問）
6月22日～6月23日	本会議（一般質問）
6月24日	本会議（一般質問、予算特別委員会設置）
6月25日～6月26日	休会
6月29日～7月2日	休会
7月3日	本会議

○ 6月15日（月） 開議 午前9時58分  
散会 午前10時4分  
議会運営委員会室  
委員長 吉田 祐樹（自民）

- ① 元議員の逝去について
  - ・岡田憲明氏（深川市選出、第26期～第27期、6月9日逝去）について報告。
- ② 議場の議席について

- ・新しい議場の議席配置が変わったため、配付の議席表のとおり、明日の本会議において決定する。

- ③ 提出議案の事前説明について
  - ・総務部長から説明。
  - ・先議要請があった議案第1号の補正予算については、明日の本会議において先議することを決定。
  - ・質疑について5名の通告があったことを報告。
  - ・質疑の順位について、配付の通告一覧のとおりとすることを決定。
  - ・先議の方法について、明日の本会議において、提出議案に関する説明の後、先議することを議決した上、本会議を一たん休憩し、再開後、質疑を行い、委員会付託を省略し、議決する扱いとすることを決定。
- ④ 「北海道花きの振興に関する条例案」について
  - ・配付のとおり、第2回定例会に議員発議により、提出される予定である旨、議長から通知があったことを報告。
- ⑤ 一般質問の通告について
  - ・6月17日（水）の正午までとする。
- ⑥ 予算特別委員会について
  - ・委員会構成及び正副委員長の配分について、配付の協議事項に記載のとおりとすることを決定。
  - ・委員名簿の提出は、6月22日（月）の正午までとする。
- ⑦ 休会について
  - ・議案等調査のため、6月17日から18日までは、本会議を休会することとし、6月19日（金）に再開することを決定。
- ⑧ 6月16日の本会議議事順序について
  - ・明日の委員会において協議する。
- ⑨ 議会運営に関する決定事項について
  - ・議場及び委員会室における質問残時間表示が変更になることから、配付のとおり整理することを決定。
- ⑩ 新型コロナウイルス感染症への対応について
  - ・前会と同様に、各自マスクの着用や、手洗い、手指消毒など感染拡大の防止措置を講じるとともに、本会議の運営に当たっては、休憩を多くとり、こまめに換気を行うこととする。

○ 6月16日（火） 開議 午前9時22分  
散会 午前9時24分  
議会運営委員会室  
委員長 吉田 祐樹（自民）

- ① 会議案の取り扱いについて
  - ・会議案第1号の提出があり、本日の本会議において議決することを決定。
- ② 本日の本会議議事順序について
  - ・事務局長説明のとおりとする。
- ③ 本会議開議時刻について
  - ・午前10時開会とする。

○ 6月19日（金） 開議 午前9時25分  
散会 午前9時28分  
議会運営委員会室  
委員長 吉田 祐樹（自民）

- ① 一般質問の通告について
  - ・20名の通告があり、順位については、配付の通告一覧のとおりとする。
- ② 一般質問の進め方について
  - ・本日は1番から3番までの3名、  
6月22日（月）は4番から7番までの4名、  
6月23日（火）は8番から13番までの6名、  
6月24日（水）は14番から20番までの7名の予定で取り進めることを決定。
- ③ 本日の本会議議事順序について
  - ・事務局長説明のとおりとする。
- ④ 一般質問において
  - ・一時間程度を目安に、演壇の消毒作業を行うため、議場内に残ったままでの休憩を加える。
- ⑤ 本会議開議時刻について
  - ・午前10時開会とする。

○ 6月22日（月） 開議 午後零時15分  
散会 午後3時43分  
議会運営委員会室  
委員長 吉田 祐樹（自民）

- ① 一般質問について
  - ・本日は4番から7番までの4名を行う。
- ② 本日の本会議議事順序について
  - ・事務局長説明のとおりとする。
- ③ 本会議開議時刻について

- ・午後1時開会とする。  
(午後零時16分散会、午後3時39分再開)
- ④ 議場内議運について
  - ・檜垣尚子議員（自民）は一般質問において、教育長にのみ答弁を求めるところ、「知事及び教育長に伺います。」と発言。正副委員長、理事により協議を行い、発言を訂正することを調整。

○ 6月23日（火） 開議 午前9時46分  
散会 午前9時49分  
議会運営委員会室  
委員長 吉田 祐樹（自民）

- ① 会議案について
  - ・会議案2号の提出があったことを報告。
- ② 一般質問について
  - ・本日は8番から13番までの6名を行う。
- ③ 本日の本会議議事順序について
  - ・事務局長説明のとおりとする。
- ④ 北海道議会におけるICT環境の整備について
  - ・配付のとおりとすることを決定。
- ⑤ 本会議開議時刻について
  - ・準備でき次第開会とする。

○ 6月24日（水） 開議 午前9時15分  
散会 午後零時4分  
議会運営委員会室  
委員長 吉田 祐樹（自民）

- ① 一般質問について
  - ・本日は14番から20番までの7名を行う。
- ② 追加提出議案の事前説明について
  - ・総務部長から追加提出議案について説明。
  - ・追加提出議案については、本日の本会議において、一般質問終了後、日程第1の議事を中止した上で、追加日程として提案説明を行うことに決定。
- ③ 予算特別委員会について
  - ・本日、一般質問終了後、設置する。
  - ・分科会の委員数については、配付の協議事項に記載のとおりとする。
  - ・委員会の構成について  
自民党・道民会議14人、民主・道民連合7人、

北海道結志会 3 人、公明党 2 名、日本共産党 1 人とする。

・各分科会の構成について

第1分科会は自民党・道民会議 6 人、民主・道民連合 4 人、北海道結志会 1 人、公明党 1 名、日本共産党 1 人とする。

第2分科会は自民党・道民会議 7 人、民主・道民連合 3 人、北海道結志会 2 人、公明党 1 名とする。

・委員の選任については、配付の名簿のとおりとする。

④ 議案の各委員会付託について

・配付のとおり付託することを決定。

⑤ 会議案第2号の取り扱いについて

・本日の本会議において、知事提出議案の関係委員会付託の後、議題とし、提出者の説明の後、質疑を行い、農政委員会に付託することを決定。

⑥ 会議案第2号に関する質疑について

- ・2名の通告があったことを報告。
- ・質疑の順位については、配付の通告一覧のとおりとすることを決定。

⑦ 休会について

・各委員会付託議案等審査のため、6月25日から26日まで及び29日から7月2日までは本会議を休会することとし、7月3日（金）に再開することを決定。

⑧ 本日の本会議議事順序について

・事務局長説明のとおりとする。

⑨ 本会議開議時刻について

- ・午前10時開会とする。  
(午前9時25分散会、午後零時3分再開)

⑩ 通告の取り下げについて

- ・北海道結志会から通告の取り下げの申し出があり、了承することを決定。

○6月30日（火） 開議 午後6時12分

散会 午後6時13分

議会運営委員会室

委員長 吉田 祐樹（自民）

① 予算特別委員会の総括質疑について

- ・予算特別委員長から総括質疑に十分な審議時間の確保が必要なため、質問時間の増加及び審査日を2日間としたい旨の申し入れがあつたことを報告。

たことを報告。

・予算特別委員会の総括質疑については、今、定例会に限り、最大質問時間を90分から180分とした上、予算特別委員会の審査日を7月2日まで1日間延長することとし、配付の変更日程案のとおり取り進めることに決定。

○7月3日（金） 開議 午後3時15分

散会 午後3時19分

議会運営委員会室

委員長 吉田 祐樹（自民）

① 元議員の逝去について

- ・米田忠彦氏（千歳市選出、第27期～第28期、6月24日逝去）について報告。

② 各委員会付託議案の審議状況について

- ・すべて（予算4件、総務4件、総合政策1件、保健福祉1件、少子・高齢1件、農政3件、建設3件、新幹線1件、文教3件、水産林務1件 以上22件）議了したことを報告。

③ 追加提出議案の事前説明について

- ・総務部長から、追加提出議案について説明。
- ・議案第23号の人事案件については、本日の本会議において議決することを決定。

④ 意見案の取り扱いについて

- ・意見案第1号ないし第8号の提出があり、本日の本会議において議決することを決定。

⑤ 繼続調査の申し出について

- ・配付の申出書のとおり、議長に閉会中継続調査を申し出ることを決定。

⑥ 本日の本会議議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。

⑦ 令和2年第3回定例会の招集予定日について

- ・総務部長から、9月8日（火）を予定している旨発言があり、これを了承。

⑧ 本会議開議時刻について

- ・午後4時開会とする。

# 常任委員会

## 総務委員会

○5月12日(火) 開議 午後1時19分  
散会 午後2時3分  
第10委員会室  
委員長 花崎 勝(自民)

### 開議前

- 人事異動に伴う幹部職員の紹介

### 議事

- 令和3年度(2021年度) 国の施策及び予算に関する提案・要望(案)の概要説明聴取の件  
[総務部長、道警察本部総務部長説明]
- 日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル等に関する報告聴取の件  
[危機対策局長報告]
- 北海道版避難所マニュアルの改正に関する報告聴取の件  
[危機対策局長報告]

### 質疑

- 浅野 貴博委員(自民)  
～日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル等について

### 質問

- 山根 理広委員(民主)  
～新型コロナウイルス感染症に伴う道職員の勤務体制について
- 佐藤 伸弥委員(結志)  
～新型コロナウイルス感染症拡大に係る諸課題について

○6月2日(火) 開議 午後1時19分  
散会 午後1時34分  
第5委員会室  
委員長 花崎 勝(自民)

### 議事

- 議席決定の件 [決定]

### 質問

- 阿知良 寛美委員(公明)

～避難所の感染症対策について

○6月15日(月) 開議 午前10時56分  
散会 午前11時45分  
第5委員会室  
委員長 花崎 勝(自民)

### 議事

- 令和2年第2回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件  
[総務部長、道警察本部総務部長説明]
- 実行委員会等の事務適正化に向けた取組に関する報告聴取の件  
[総務部次長兼行政局長報告]
- 令和元年度北海道職員の公務員倫理の確立及び保持に関する状況並びに講じた施策に係る報告聴取の件  
[人事局長報告]

### 質問

- 浅野 貴博委員(自民)  
～新型コロナウイルス感染症対応に関連した道職員の勤務体制について  
～消防機関における新型コロナウイルス感染症への感染防止対策等について

○7月3日(金) 開議 午前10時14分  
散会 午前10時23分  
第5委員会室  
委員長 花崎 勝(自民)

### 付託案件の審査

議案第4号  
北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)

議案第5号  
北海道税条例等の一部を改正する条例案  
(原案可決)

議案第6号  
特定地域等における道税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)

議案第14号  
北海道地方警察職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)

### 請願の審査

## 請願第2号

北海道人権施策推進基本方針のさらなる推進に  
係る同性パートナーを持つ北海道職員の処遇の  
改善（平等化）を求める件 (継続審査)

## 議事

- 付託議案審査の件
- 北海道防災総合訓練（前期）の実施に関する報告聴取の件 [危機対策局長報告]
- 閉会中における請願継続審査申し出の件 [決定]
- 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

## 総合政策委員会

### ○5月12日（火） 開議 午後1時15分

散会 午後1時38分  
第2委員会室  
委員長 中山 智康（結志）

## 開議前

- 人事異動に伴う幹部職員の紹介

## 議事

- 令和3年度国の施策及び予算に関する提案・要望等の概要説明聴取の件 [政策局計画推進担当局長説明]
- 新たな過疎法の制定に向けた対応に関する報告聴取の件 [地域創生局長兼官民連携推進室長報告]

## 質疑

- 丸岩 浩二委員（自民）  
～新たな過疎法の制定に向けた対応について

### ○6月2日（火） 開議 午後1時17分

散会 午後1時25分  
第4委員会室  
委員長 中山 智康（結志）

## 議事

- 議席決定の件 [決定]
- 令和元年度北海道苦情審査委員の活動状況に関する報告聴取の件 [知事室次長報告]

- 北海道地域振興条例の点検に関する報告聴取の件 [地域創生局長兼官民連携推進室長報告]

### ○6月15日（月） 開議 午前10時54分

散会 午前11時3分  
第4委員会室  
委員長 中山 智康（結志）

## 議事

- 令和2年第2回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [総合政策部長説明]
- 「北海道Society5.0推進計画（仮称）」の策定に関する報告聴取の件 [情報統計局長報告]

### ○7月3日（金） 開議 午前10時19分

散会 午前10時40分  
第4委員会室  
委員長 中山 智康（結志）

## 付託案件の審査

### 議案第7号

北海道総合政策部の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案に関する件  
(原案可決)

## 議事

- 付託議案審査の件
- 令和元年度政策評価（公共事業評価）の結果に関する報告聴取の件 [政策局計画推進担当局長報告]
- 令和3年度北海道開発予算等に関する要望の概要説明聴取の件 [政策局計画推進担当局長説明]
- 次期「連携地域別政策展開方針」の策定に関する報告聴取の件 [地域創生局長兼官民連携推進室長報告]
- 新たな過疎法の制定に向けた国への要請に関する報告聴取の件 [地域創生局長兼官民連携推進室長報告]
- 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

## 質疑

- 丸岩 浩二委員（自民）

～次期「連携地域別政策展開方針」の策定について

## 環境生活委員会

○5月12日（火） 開議 午後1時17分  
散会 午後2時50分  
第3委員会室  
委員長 荒当 聖吾（公明）

### 開議前

- 人事異動に伴う幹部職員の紹介

### 議事

- 令和3年度国の施策及び予算に関する提案・要望の概要説明聴取の件  
〔環境生活部長説明〕

### 質疑

- 真下 紀子委員（共産）  
～令和3年度国の施策及び予算に関する提案・要望について

### 質問

- 渕上 綾子委員（民主）  
～新型コロナウイルス感染症に関する人権問題について
- 広田 まゆみ委員（民主）  
～文化情報発信事業「北のアーティスト」スペシャルプログラムについて
- 赤根 広介委員（結志）  
～新型コロナウイルス感染症拡大に係る諸課題について

○6月2日（火） 開議 午後1時14分  
散会 午後2時31分  
第12委員会室  
委員長 荒当 聖吾（公明）

### 議事

- 議席決定の件 [決定]
- 環境生活部における新型コロナウイルス感染症に関する取組に関する報告聴取の件  
〔環境生活部次長報告〕

### 質疑

- 植村 真美委員（自民）  
～環境生活部における新型コロナウイルス感染症に関する取組について
- 渕上 綾子委員（民主）  
～環境生活部における新型コロナウイルス感染症に関する取組について
- 太田 憲之委員（自民）  
～環境生活部における新型コロナウイルス感染症に関する取組について
- 赤根 広介委員（結志）  
～環境生活部における新型コロナウイルス感染症に関する取組について
- 真下 紀子委員（共産）  
～環境生活部における新型コロナウイルス感染症に関する取組について

○6月15日（月） 開議 午前10時55分

散会 午後零時9分  
第12委員会室  
委員長 荒当 聖吾（公明）

### 議事

- 令和2年第2回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [環境生活部長説明]
- 北海道環境基本計画〔第3次計画〕の策定に関する報告聴取の件 [環境局長報告]
- 「令和元年交通事故及び飲酒運転の状況等に関する年次報告」に関する報告聴取の件 [くらし安全局長報告]
- 令和元年度北海道消費生活条例の施行状況に関する報告聴取の件 [くらし安全局長報告]

### 質問

- 渕上 綾子委員（民主）  
～SNS等における誹謗中傷について
- 広田 まゆみ委員（民主）  
～2050年温室効果ガス排出量をゼロとする取組について
- 赤根 広介委員（結志）  
～ウポポイについて

○7月3日（金） 開議 午前10時17分

散会 午前11時1分  
第12委員会室  
委員長 荒当 聖吾（公明）

### 請願の審査

請願第3号

北海道人権施策推進基本方針のさらなる推進に  
係るパートナーシップ宣誓制度の創設を求める  
件

（継続審査）

### 議事

1. 民族共生象徴空間（ウポポイ）開業記念式典  
への出席の件 [決定]
1. 道内調査実施の件 [決定]
1. 胆振東部地震からの厚真町富里浄水場の復旧  
に関する報告聴取の件 [環境局長報告]
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件  
[決定]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件  
[決定]

### 質問

1. 太田 憲之委員（自民）  
～エゾシカの有効活用の推進について
1. 広田 まゆみ委員（民主）  
～文化芸術活動の支援について

## 保健福祉委員会

○5月12日（火） 開議 午後1時19分  
散会 午後3時20分  
第7委員会室  
委員長 沖田 清志（民主）

### 議事

1. 令和3年度（2021年度）国の施策及び予算に  
関する提案・要望の概要説明聴取の件  
[保健福祉部長説明]
1. 「新型コロナウイルス感染症」感染拡大防止の  
ための緊急事態措置等に関する報告聴取の件  
[健康安全局長報告]

### 質疑

1. 村田 光成委員（自民）

～「新型コロナウイルス感染症」感染拡大防止  
のための緊急事態措置等について

1. 武田 浩光委員（民主）

～「新型コロナウイルス感染症」感染拡大防止  
のための緊急事態措置等について

1. 滝口 信喜委員（結志）

～「新型コロナウイルス感染症」感染拡大防止  
のための緊急事態措置等について

1. 志賀谷 隆委員（公明）

～「新型コロナウイルス感染症」感染拡大防止  
のための緊急事態措置等について

1. 宮川 潤委員（共産）

～「新型コロナウイルス感染症」感染拡大防止  
のための緊急事態措置等について

○6月2日（火） 開議 午後1時15分

散会 午後3時30分

第6委員会室

委員長 沖田 清志（民主）

### 議事

1. 議席決定の件 [決定]
1. 新型コロナウイルス感染症対策に係る道の取  
組に関する報告聴取の件  
[保健福祉部次長報告]
1. 北海道指定障害福祉サービス事業者等指導方  
針に関する報告聴取の件  
[福祉局長報告]
1. 道立病院における令和元年度下半期の医療事  
故等の発生状況に関する報告聴取の件  
[道立病院局次長報告]

### 質疑

1. 村田 光成委員（自民）

～新型コロナウイルス感染症対策に係る道の取  
組について

1. 武田 浩光委員（民主）

～新型コロナウイルス感染症対策に係る道の取  
組について

1. 滝口 信喜委員（結志）

～新型コロナウイルス感染症対策に係る道の取  
組について

### 質問

1. 志賀谷 隆委員（公明）

～新型コロナウイルス感染症対策について

1. 宮川 潤委員（共産）

～コロナウイルス感染拡大対策について

○ 6月15日（月） 開議 午前10時53分

散会 午前11時27分

第6委員会室

委員長 沖田 清志（民主）

## 議 事

1. 令和2年第2回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [保健福祉部長説明]

1. 公衆浴場法施行条例及び旅館業法施行条例の一部を改正する条例（素案）に関する報告聴取の件 [健康安全局長報告]

## 質 問

1. 志賀谷 隆委員（公明）

～新型コロナウイルス感染症対策について

1. 宮川 潤委員（共産）

～新型コロナウイルス感染に係る後期高齢者医療制度および国民健康保険における被保険者支援制度について

○ 7月3日（金） 開議 午前10時15分

散会 午前10時45分

第6委員会室

委員長 沖田 清志（民主）

## 付託案件の審査

議案第8号

北海道立児童福祉施設条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

## 請願の審査

請願第8号

精神障がい者の運賃割引を求める件

(継続審査)

## 議 事

1. 付託議案審査の件

1. 北海道国民健康保険運営方針改定（素案）に関する報告聴取の件

[国保担当局長報告]

1. 閉会中における請願継続審査申し出の件

[決定]

1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件

[決定]

## 質 問

1. 滝口 信喜委員（結志）

～新型コロナウイルス感染症対策について

1. 志賀谷 隆委員（公明）

～新型コロナウイルス感染症対策について

## 経 济 委 員 会

○ 5月12日（火） 開議 午後1時17分

散会 午後2時44分

第8委員会室

委員長 松山 丈史（民主）

## 議 事

1. 令和3年度国の施策及び予算に関する提案・要望の概要説明聴取の件  
[経済部長説明]

## 質 問

1. 渡邊 靖司委員（自民）

～新型コロナウイルス感染症対策について

1. 小泉 真志委員（民主）

～新型コロナウイルス感染症に伴う道内経済への影響と対策について

1. 大河 昭彦委員（結志）

～「新型コロナウイルス感染症」感染拡大防止のための「北海道」における緊急事態措置について

1. 菊地 葉子委員（共産）

～新型コロナウイルス感染症対策に係る対応状況について

○ 6月2日（火） 開議 午後1時16分

散会 午後2時7分

第7委員会室

委員長 松山 丈史（民主）

## 開 議 前

1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介

## 議 事

- 議席決定の件 [決定]
- 新型コロナウイルス感染症に関する道の取組  
に関する報告聴取の件  
[経済部次長兼経済企画局長報告]

### 質 問

- 吉田 正人委員（自民）  
～新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済対策の現状について
- 小泉 真志委員（民主）  
～新型コロナウイルス感染拡大に伴う道内経済への影響と対策について
- 菊地 葉子委員（共産）  
～新型コロナウイルス感染症対策について

○6月15日（月） 開議 午前10時55分  
散会 午前11時17分  
第7委員会室  
委員長 松山 丈史（民主）

### 開 議 前

- 人事異動に伴う幹部職員の紹介

### 議 事

- 令和2年第2回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [経済部長説明]
- 新型コロナウイルス感染症に関する影響調査に関する報告聴取の件  
[経済部次長兼経済企画局長報告]

### 質 疑

- 菊地 葉子委員（共産）  
～新型コロナウイルス感染症に関する影響調査について

○7月3日（金） 開議 午前10時16分  
散会 午前11時17分  
第7委員会室  
委員長 松山 丈史（民主）

### 議 事

- 道内調査実施の件 [決定]
- 民族共生象徴空間（ウポポイ）開業記念式典出席の件 [決定]
- 「令和元年度食関連企業経営意識調査」の結果

- に関する報告聴取の件  
[食関連事業室長報告]
- 閉会中における所管事務継続調査申し出の件  
[決定]

### 質 問

- 渡邊 靖司委員（自民）  
～海外からの投資の受入れについて  
道産食品の販路拡大について
- 平出 陽子委員（民主）  
～緊急経済対策について
- 菊地 葉子委員（共産）  
～製油所の大規模メンテナンス工事について

### 農 政 委 員 会

○5月12日（火） 開議 午後1時15分  
散会 午後1時47分  
第6委員会室  
委員長 中野 秀敏（自民）

### 議 事

- 令和3年度国の施策及び予算に関する提案・要望の概要説明聴取の件 [農政部長説明]
- 春耕起における農作業の進捗状況等に関する報告聴取の件 [技術支援担当局長報告]

### 質 問

- 滝口 直人委員（自民）  
～新型コロナウイルス感染症の影響について
- 新沼 透委員（結志）  
～改正畜産経営の安定に関する法律について

○6月2日（火） 開議 午後1時14分  
散会 午後1時23分  
第10委員会室  
委員長 中野 秀敏（自民）

### 議 事

- 議席決定の件 [決定]
- 令和元年度北海道地方競馬特別会計に係る決算見込みに関する報告聴取の件  
[競馬事業室長報告]
- 農作物の生育状況等に関する報告聴取の件  
[技術支援担当局長報告]

○6月15日（月） 開議 午前10時57分  
散会 午前11時30分  
第10委員会室  
委員長 中野 秀敏（自民）

### 議 事

1. 令和2年第2回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [農政部長説明]
1. 令和元年度（2019年度）農業・農村の動向等に関する年次報告聴取の件 [農政部次長報告]

### 質 問

1. 池端 英昭委員（民主）  
～新型コロナウイルス感染症の影響について

○7月3日（金） 開議 午前10時16分  
散会 午前10時59分  
第10委員会室  
委員長 中野 秀敏（自民）

### 付託案件の審査

#### 議案第10号

北海道農政部手数料条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)

#### 議案第11号

国営土地改良事業負担金等徴収条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)

#### 議案第16号

国営土地改良事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件  
(原案可決)

#### 会議案第2号

北海道花きの振興に関する条例案 (原案可決)

### 請願の審査

#### 請願第1号

「日米貿易交渉での食料輸入拡大の中止を求める意見書」の提出を求める件 (継続審査)

### 議 事

1. 付託議案審査の件
1. 令和3年度国の施策及び予算に関する中央要請実施の件 [決定]
1. 道内調査実施の件 [決定]

1. 令和3年度農業農村整備の概算要望の概要説明聴取の件 [農政部長説明]
1. 令和元年度政策評価の結果（農政部所管分）に関する報告聴取の件 [農村振興局長報告]
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件 [決定]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

### 質 疑

1. 松本 将門委員（民主）  
～付託議案について
1. 新沼 透委員（結志）  
～付託議案について
1. 中野渡 志穂委員（公明）  
～付託議案について

### 質 問

1. 中野渡 志穂委員（公明）  
～新型コロナウイルス感染症による労働力確保への影響について

## 水産林務委員会

○5月12日（火） 開議 午後1時15分  
散会 午後2時10分  
第5委員会室  
委員長 三好 雅（自民）

### 議 事

1. 令和3年度（2021年度）国の施策及び予算に関する提案・要望の概要説明聴取の件 [水産林務部長、次長、水産局長、林務局長説明]
1. 令和3年度（2021年度）国の施策及び予算に関する中央要請実施の件 [決定]
1. 「北海道水産業をめぐる現状と課題等」に関する報告聴取の件 [水産局長報告]
1. 第44回全国育樹祭実施計画に関する報告聴取の件 [森林環境局長兼全国育樹祭推進室長報告]

### 質 疑

1. 桐木 茂雄委員（自民）  
～「北海道水産業をめぐる現状と課題等」につ

いて

1. 喜多 龍一委員（自民）

～「北海道水産業をめぐる現状と課題等」について

委員長 三好 雅（自民）

○ 6月2日（火） 開議 午後1時10分

散会 午後1時20分

第8委員会室

委員長 三好 雅（自民）

## 議 事

1. 議席決定の件 [決定]

1. 北海道らしいスマート林業の推進に関する報告聴取の件 [林務局長報告]

○ 6月15日（月） 開議 午前10時50分

散会 午前11時50分

第8委員会室

委員長 三好 雅（自民）

## 議 事

1. 令和2年第2回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [水産林務部長説明]

1. 令和元年度「水産業・漁村の動向」及び「森林づくりの動向」等に関する年次報告聴取の件  
[水産林務部長、水産局長、林務局長報告]

## 質 疑

1. 桐木 茂雄委員（自民）

～北海道水産業の緊急対策について

1. 森 成之委員（公明）

～北海道水産業の緊急対策について

1. 喜多 龍一委員（自民）

～北海道水産業の緊急対策について

## 質 問

1. 佐々木 大介委員（自民）

～水産物販売促進緊急対策事業について

○ 7月3日（金） 開議 午前10時17分

散会 午前10時30分

第8委員会室

## 付託案件の審査

議案第19号

船舶建造請負契約の締結に関する件

(原案可決)

## 議 事

1. 付託議案審査の件

1. 意見案発議の件 [決定]

1. 令和3年度北海道開発予算等に関する要望の概要説明聴取の件 [水産林務部長説明]

1. クロマグロの資源管理に関する報告聴取の件 [水産局長報告]

1. 第44回全国育樹祭の開催延期に関する報告聴取の件  
[森林環境局長兼全国育樹祭推進室長報告]

1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件  
[決定]

## 建設委員会

○ 5月12日（火） 開議 午後1時15分

散会 午後1時37分

第4委員会室

委員長 村木 中（自民）

## 議 事

1. 令和3年度国の施策及び予算に関する提案・要望の概要説明聴取の件  
[建設部長説明]

## 質 問

1. 小岩 均委員（民主）

～日本ハムボールパーク構想に伴う道道整備について

○ 6月2日（火） 開議 午後1時9分

散会 午後1時20分

第9委員会室

委員長 村木 中（自民）

## 開 議 前

1. 委員会運営方法の件 [了承]

## 議 事

1. 議席決定の件 [決定]
1. 屋外広告物における許可地域区分の錯誤に関する報告聴取の件  
[まちづくり局長報告]

○ 6月15日（月） 開議 午前10時53分

散会 午前11時16分

第9委員会室

委員長 村木 中（自民）

## 議 事

1. 令和2年第2回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [建設部長説明]
1. 新たな「北海道土地開発公社の事業運営及び長期保有地処分の方策」策定に関する報告聴取の件 [建設部次長報告]
1. 道営住宅整備活用方針の見直し案に関する報告聴取の件 [住宅局長報告]

## 質 問

1. 千葉 英也委員（自民）  
～道路占用の許可基準の緩和について

○ 7月3日（金） 開議 午前10時18分

散会 午前10時47分

第9委員会室

委員長 村木 中（自民）

## 付託案件の審査

議案第12号

租税特別措置法施行令の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例案 （原案可決）

議案第13号

北海道建築基準法施行条例の一部を改正する条例案 （原案可決）

議案第18号

工事委託契約の締結に関する件 （原案可決）

## 議 事

1. 付託議案審査の件
1. 道内調査実施の件 [決定]
1. 意見案発議の件 [決定]
1. 意見案に関する中央要請実施の件 [決定]

1. 令和3年度国の施策及び予算に関する中央要請実施の件 [決定]
1. 令和3年度北海道開発予算等に関する要望の概要説明聴取の件 [建設部長説明]
1. 令和元年度政策評価の結果（建設部所管分）に関する報告聴取の件 [建設政策局長報告]
1. 新広域道路交通ビジョン・交通計画の策定に関する報告聴取の件 [土木局長報告]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

## 文 教 委 員 会

○ 5月12日（火） 開議 午後1時17分

散会 午後2時14分

第9委員会室

委員長 笠井 龍司（自民）

## 開 議 前

1. 教育長就任挨拶

## 議 事

1. 新型コロナウイルス感染症への対応等に関する報告聴取の件 [教育部長報告]
1. 令和3年度（2021年度）国の文教施策及び予算に関する提案・要望の概要説明聴取の件 [総務政策局長、学事課長説明]
1. 令和元年度の体罰に係る実態把握に関する報告聴取の件 [総務政策局長、学事課長報告]
1. 北海道教育委員会障がい者活躍推進計画に関する報告聴取の件 [総務政策局長報告]

## 質 疑

1. 檜垣 尚子委員（自民）  
～新型コロナウイルス感染症への対応等について
1. 木葉 淳委員（民主）  
～新型コロナウイルス感染症への対応等について

○ 6月2日（火） 開議 午後1時15分

散会 午後2時25分

第11委員会室

委員長 笠井 龍司（自民）

## 開 議 前

- 委員会運営方法の件 [了承]

## 議 事

- 議席決定の件 [決定]
- 新型コロナウイルス感染症への対応等に関する報告聴取の件 [教育部長報告]
- 公立高等学校配置計画案（令和3年度～5年度）に関する報告聴取の件  
[高校配置担当局長報告]
- 令和3年度公立特別支援学校配置計画案に関する報告聴取の件  
[特別支援教育担当局長報告]
- 令和2年3月公立高等学校卒業者の就職決定状況に関する報告聴取の件  
[指導担当局長報告]

## 質 疑

- 檜垣 尚子委員（自民）  
～新型コロナウイルス感染症への対応等について
- 木葉 淳委員（民主）  
～新型コロナウイルス感染症への対応等について
- 寺島 信寿委員（公明）  
～新型コロナウイルス感染症への対応等について

○6月15日（月） 開議 午前10時56分  
散会 午後3時46分  
第11委員会室  
委員長 笠井 龍司（自民）

## 議 事

- 令和2年第2回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [教育部長説明]
- 新型コロナウイルス感染症への対応等に関する報告聴取の件 [教育部長報告]
- 公立高等学校配置計画案（令和3年度～5年度）及び令和3年度公立特別支援学校配置計画案に関する件
- 教育職員の時間外勤務等に係る実態調査結果に関する報告聴取の件 [教職員局長報告]

## 質 疑

- 佐藤 権洋委員（自民）  
～公立高等学校配置計画案（令和3年度～5年度）及び令和3年度公立特別支援学校配置計画案について
- 内田 尊之委員（自民）  
～教育職員の時間外勤務等に係る実態調査結果について
- 木葉 淳委員（民主）  
～教育職員の時間外勤務等に係る実態調査結果について
- 中司 哲雄委員（自民）  
～教育職員の時間外勤務等に係る実態調査結果について（意見）

○7月3日（金） 開議 午前10時17分  
散会 午前10時29分  
第11委員会室  
委員長 笠井 龍司（自民）

## 付託案件の審査

- 議案第17号  
工事請負契約の締結に関する件 (原案可決)
- 議案第20号  
船舶建造請負契約の締結に関する件  
(原案可決)
- 議案第21号  
財産の処分に関する件  
(原案可決)

## 請願の審査

- 請願第4号  
ゆたかな私学教育の実現を求める私学助成に関する件  
(継続審査)
- 請願第5号  
「私学の授業料無償化と経費補助の公私間格差是正」を求める件  
(継続審査)
- 請願第6号  
私立学校の保護者負担を軽減するとともに教育環境の改善のための私学助成を充実することを求める件  
(継続審査)
- 請願第7号  
北海道の子どもたちにゆきとどいた教育を求める件  
(継続審査)

## 議 事

1. 付託議案審査の件
1. 意見案発議の件 [決定]
1. 令和3年度（2021年度）国の施策及び予算に  
関する中央要請実施の件 [決定]
1. 道内調査実施の件 [決定]
1. 民族共生象徴空間（ウポポイ）開業記念式典  
出席の件 [決定]
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件  
[決定]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件  
[決定]

## 質問

1. 寺島 信寿委員（公明）  
～新型コロナウイルス感染症に伴う授業日数な  
どについて

## 特 別 委 員 会

### 産炭地域振興・エネルギー問題 調査特別委員会

○5月13日(水) 開議 午前10時10分  
散会 午前10時23分  
第8委員会室  
委員長 東 国幹(自民)

#### 開 議 前

- 人事異動に伴う幹部職員の紹介

#### 議 事

- 令和3年度国の施策及び予算に関する提案・要望の概要説明聴取の件  
[環境・エネルギー局長説明]
- 幌延深地層研究計画令和2年度調査研究計画に関する報告聴取の件  
[環境・エネルギー局長報告]

#### 質 疑

- 池本 柳次委員(結志)  
～幌延深地層研究計画令和2年度調査研究計画について(意見)

○6月3日(水) 開議 午前10時13分  
散会 午前10時40分  
第7委員会室  
委員長 東 国幹(自民)

#### 議 事

- 議席決定の件 [決定]
- 令和元年度(2019年度)省エネルギー・新エネルギー関連施策の取組状況に関する報告聴取の件  
[環境・エネルギー局長報告]

#### 質 問

- 笠井 龍司委員(自民)  
～原発の安全対策について
- 壬生 勝則委員(民主)  
～福島第一原発の処理水の取扱いについて

○6月15日(月) 開議 午後1時17分  
散会 午後1時21分

第7委員会室  
委員長 東 国幹(自民)

#### 議 事

- 次期「北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画」の策定に関する報告聴取の件  
[環境・エネルギー局長報告]

○7月3日(金) 開議 午後1時13分  
散会 午後1時22分  
第7委員会室  
委員長 東 国幹(自民)

#### 議 事

- 中央要請実施の件 [決定]
- 幌延深地層研究計画令和元年度調査研究成果報告等に関する報告聴取の件  
[環境・エネルギー局長報告]

## 北方領土対策特別委員会

○5月13日(水) 開議 午前10時11分  
散会 午前10時36分  
第5委員会室  
委員長 松浦 宗信(自民)

#### 議 事

- 令和3年度国の施策及び予算に関する提案・要望の概要説明聴取の件  
[北方領土対策本部長説明]
- 北方四島交流事業等の実施に関する説明聴取の件  
[北方領土対策局長説明]

#### 質 疑

- 千葉 英守委員(自民)  
～北方四島交流事業等の実施について

○6月3日(水) 開議 午前10時10分  
散会 午前10時11分  
第8委員会室  
委員長 松浦 宗信(自民)

#### 議 事

- 議席決定の件 [決定]

○6月15日（月） 開議 午後1時51分  
散会 午後2時11分  
第8委員会室  
委員長 松浦 宗信（自民）

### 議事

- 新型コロナウイルス感染症に対応した今後の事業の進め方に関する報告聴取の件  
[北方領土対策局長報告]

の実施状況に関する報告聴取の件  
[空港戦略担当局長報告]

### 質問

- 清水 拓也委員（自民）  
～緊急事態宣言の延長と今後の交通政策について
- 赤根 広介委員（結志）  
～新型コロナウイルス感染症拡大に係る諸課題について

### 質問

- 梅尾 要一委員（自民）  
～プーチン大統領の発言について

○7月3日（金） 開議 午後1時11分  
散会 午後1時41分  
第8委員会室  
委員長 松浦 宗信（自民）

### 議事

- 令和3年度国の施策及び予算に関する中央要請実施の件 [決定]

○6月3日（水） 開議 午前10時8分  
散会 午前10時45分  
第1委員会室  
委員長 中司 哲雄（自民）

### 議事

- 議席決定の件 [決定]
- 「新千歳空港サーモグラフィー緊急設置事業」の実施状況に関する報告聴取の件  
[航空局長報告]
- 道内空港の運営の民間委託に係る取組に関する報告聴取の件  
[空港戦略担当局長報告]

### 質問

- 大越 農子委員（自民）  
～新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた啓発活動について
- 広田 まゆみ委員（民主）  
～日本遺産認定を契機とした隣接地域振興を含めた啓発のあり方について
- 荒當 聖吾委員（公明）  
～若年層への啓発について

### 質疑

- 山根 理広委員（民主）  
～「新千歳空港サーモグラフィー緊急設置事業」の実施状況について
- 菊地 葉子委員（共産）  
～「新千歳空港サーモグラフィー緊急設置事業」の実施状況について

## 新幹線・総合交通体系対策特別委員会

○5月13日（水） 開議 午前10時10分  
散会 午前10時53分  
第1委員会室  
委員長 中司 哲雄（自民）

### 議事

- 令和3年度国の施策及び予算に関する提案・要望の概要説明聴取の件  
[交通企画監説明]
- 「新千歳空港サーモグラフィー緊急設置事業」

### 質問

- 赤根 広介委員（結志）  
～交通政策について

○6月15日（月） 開議 午後1時16分  
散会 午後1時24分  
第9委員会室  
委員長 中司 哲雄（自民）

### 議事

- 令和2年第2回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [交通企画監説明]

- 「交通対策に関する緊急要請」に関する報告聴取の件  
[交通政策局長報告]

月19日) の概要に関する報告聴取の件  
[地域行政局長報告]

○7月3日(金) 開議 午後1時11分  
散会 午後1時20分  
第9委員会室  
委員長 中司 哲雄(自民)

### 質疑

- 鈴木 一磨委員(民主)  
～第32次地方制度調査会答申素案(令和2年5月19日)の概要について

### 付託案件の審査

議案第15号

新幹線鉄道の建設に関する工事に伴う地方公共団体の負担金に関する件  
(原案可決)

○7月3日(金) 開議 午後1時10分

散会 午後1時28分  
第4委員会室  
委員長 佐藤 伸弥(結志)

### 議事

- 付託議案審査の件
- 道内調査実施の件 [決定]
- 令和3年度北海道開発予算等に関する要望の概要説明聴取の件 [交通政策局長説明]
- 道南いさりび鉄道の決算に関する報告聴取の件 [交通政策局長報告]

### 議事

- 「地方分権改革に関する道の対応等」に関する報告聴取の件 [地域行政局長報告]

### 質問

- 寺島 信寿委員(公明)  
～今後の地域創生について

## 人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会

○5月13日(水) 開議 午前10時8分  
散会 午前10時13分  
第2委員会室  
委員長 佐藤 伸弥(結志)

## 少子・高齢社会対策特別委員会

○5月13日(水) 開議 午前10時10分  
散会 午前10時41分  
第7委員会室  
委員長 笹田 浩(民主)

### 開議前

- 人事異動に伴う幹部職員の紹介

### 議事

- 令和3年度(2021年度) 国の施策及び予算に関する提案・要望の概要説明聴取の件  
[地域創生局長説明]

### 質問

- 木葉 淳委員(民主)  
～高齢者介護施設等における新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

○6月3日(水) 開議 午前10時9分  
散会 午前10時21分  
第4委員会室  
委員長 佐藤 伸弥(結志)

○6月3日(水) 開議 午前10時7分  
散会 午前11時7分  
第6委員会室  
委員長 笹田 浩(民主)

### 議事

- 議席決定の件 [決定]
- 第32次地方制度調査会答申素案(令和2年5

## 議 事

1. 議席決定の件 [決定]
1. 北海道介護保険施設等指導方針に関する報告  
聴取の件 [福祉局長報告]

～介護人材の確保について

## 食と観光対策特別委員会

○ 5月13日（水） 開議 午前10時10分  
散会 午前11時20分  
第10委員会室  
委員長 市橋 修治（民主）

## 質 問

1. 木葉 淳委員（民主）  
～新型コロナウイルス感染症防止対策について
1. 志賀谷 隆委員（公明）  
～新型コロナウイルス感染症対策について
1. 真下 紀子委員（共産）  
～介護保険施設等の新型コロナ対策について

○ 6月15日（月） 開議 午後1時17分  
散会 午後1時34分  
第6委員会室  
委員長 笹田 浩（民主）

## 議 事

1. 令和2年第2回定例会提出予定案件の事前説明  
聴取の件 [少子高齢化対策監説明]

## 質 問

1. 志賀谷 隆委員（公明）  
～新型コロナウイルス感染症対策について

○ 7月3日（金） 開議 午後1時10分  
散会 午後1時18分  
第6委員会室  
委員長 笹田 浩（民主）

## 議 事

1. 令和3年度国の施策及び予算に関する提案・要望の概要説明  
聴取の件 [観光振興監、食の安全推進監説明]

## 質 問

1. 松本 将門委員（民主）  
～新型コロナウイルス感染症による観光への影響と対策について
1. 白川 祥二委員（結志）  
～和牛の適正流通について  
～家畜伝染病予防法改正に伴う豚熱・アフリカ豚熱への対応について
1. 宮川 潤委員（共産）  
～新型コロナウイルス感染拡大による影響について

○ 6月3日（水） 開議 午前10時12分  
散会 午前10時58分  
第5委員会室  
委員長 市橋 修治（民主）

## 議 事

1. 議席決定の件 [決定]
1. 新型コロナウイルス感染症に係る本道観光への影響に関する報告  
聴取の件 [観光局長報告]
1. 食の安全・安心に係る通報等の状況に関する報告  
聴取の件 [くらし安全局長報告]

## 質 疑

1. 真下 紀子委員（共産）  
～付託議案について

## 質 疑

1. 宮下 准一委員（自民）  
～新型コロナウイルス感染症に係る本道観光への影響について
1. 渕上 綾子委員（民主）  
～新型コロナウイルス感染症に係る本道観光へ

## 質 問

1. 志賀谷 隆委員（公明）

の影響について  
1. 宮川 潤委員（共産）  
～新型コロナウイルス感染症に係る本道観光への影響について

散会 午後 2 時  
第10委員会室  
委員長 喜多 龍一（自民）

○ 6月15日（月） 開議 午後 1 時15分  
散会 午後 1 時35分  
第 5 委員会室  
委員長 市橋 修治（民主）

### 議 事

1. 令和 2 年第 2 回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [観光振興監説明]
1. 令和元年度（2019年度）食の安全・安心に関して講じた施策等に関する報告聴取の件 [食の安全推進局長報告]

○ 7月 3 日（金） 開議 午後 1 時12分  
散会 午後 2 時 9 分  
第 5 委員会室  
委員長 市橋 修治（民主）

### 質 問

1. 沖田 清志委員（民主）  
～JR 北海道の事業範囲の見直しについて
1. 真下 紀子委員（共産）  
～新型コロナウイルス感染症の影響と対応について

○ 6月15日（月） 開議 午後 2 時31分  
散会 午後 3 時 9 分  
第 4 委員会室  
委員長 喜多 龍一（自民）

### 議 事

1. 民族共生象徴空間（ウポポイ）開業記念式典への出席の件 [決定]
1. 宿泊事業者の感染拡大防止対策支援に関する事業の実施状況に関する報告聴取の件 [誘客担当局長報告]

1. 議席決定の件 [決定]

1. 「交通対策に関する緊急要請」に関する報告聴取の件 [交通政策局長報告]
1. 日高管内臨時町長会議（JR 日高線関係）の結果に関する報告聴取の件 [交通政策局次長報告]

### 質 問

1. 渕上 綾子委員（民主）  
～どうみん割について
1. 白川 祥二委員（結志）  
～家畜伝染病予防法改正に伴う飼養衛生管理基準について  
～「食の安全・安心に関して講じた施策等に関する報告書」について
1. 安藤 邦夫委員（公明）  
～どうみん割について
1. 宮川 潤委員（共産）  
～どうみん割について

### 質 疑

1. 三好 雅委員（自民）  
～「交通対策に関する緊急要請」について
1. 赤根 広介委員（結志）  
～日高管内臨時町長会議（JR 日高線関係）の結果について
1. 真下 紀子委員（共産）  
～日高管内臨時町長会議（JR 日高線関係）の結果について

○ 7月 3 日（金） 開議 午後 2 時35分  
散会 午後 2 時55分  
第 4 委員会室  
委員長 喜多 龍一（自民）

## 北海道地方路線問題調査特別委員会

○ 5月13日（水） 開議 午後 1 時12分

### 議 事

1. 道内における鉄道の運行状況に関する報告聽取の件 [交通政策局次長報告]

### **質 問**

1. 沖田 清志委員（民主）  
～JR北海道の経営再生等について

## 予算特別委員会

川尻 秀之（自民）

○ 6月24日（水） 開会 午後6時2分  
散会 午後6時12分  
第1委員会室  
委員長 田中 芳憲（自民）

- ① 委員長に田中芳憲委員（自民）、副委員長に藤川雅司委員（民主）を選出。
- ② 付託議案に対する審査方法について、2分科会を設置し、質疑を行うこととし、第1分科会は委員13人、所管は総務部、総合政策部、環境生活部、保健福祉部、出納局、企業局、道立病院局、人事委員会、公安委員会及び監査委員、第2分科会は委員13人、所管は経済部、農政部、水産林務部、建設部及び教育委員会とすること、ただし、選挙管理委員会は総合政策部に、労働委員会は経済部に、海区漁業調整委員会、連合海区漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会は水産林務部に、収用委員会は建設部に含めるものとする。
- 各分科会に付託する議案は、別紙付託議案一覧のとおりとすること、各分科会の審査における質疑保留事項に対する総括質疑は、本委員会において行うことを決定。
- ③ 各分科会の委員は、別紙分科委員名簿のとおりとする。

### ○ 第1分科会（委員13人）

鈴木 一磨（民主）	星 克明（自民）
浅野 貴博（自民）	阿知良寛美（公明）
宮川 潤（共産）	小岩 均（民主）
藤川 雅司（民主）	佐藤 穎洋（自民）
笠井 龍司（自民）	沖田 清志（民主）
赤根 広介（結志）	小畑 保則（自民）
大谷 亨（自民）	

### ○ 第2分科会（委員13人）

寺島 信寿（公明）	小泉 真志（民主）
武田 浩光（民主）	佐々木大介（自民）
滝口 直人（自民）	新沼 透（結志）
池端 英昭（民主）	太田 憲之（自民）
桐木 茂雄（自民）	村木 中（自民）
佐藤 伸弥（結志）	吉田 正人（自民）

- ④ 各分科会に分科委員長及び分科副委員長各1人を選任することを決定。
- ⑤ 付託議案の審査日程について、配付の日程表のとおりとすることを決定。
- ⑥ 質疑・質問の方法等について、通告の形式により行うこと、発言の順位は本会議における一般質問に準じることを決定。
- ⑦ 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。
- ⑧ 本委員会の運営に当たり、正・副委員長、各分科会の正・副委員長及び分科会正・副委員長の配分のない会派から1人の理事をもって構成する理事会を設置し、その協議により運営することを決定。諸派についても理事会に出席願うこととし、委員長の許可を得て発言ができることする。
- ⑨ 委員の異動等について、申出は原則、当日の理事会開催前までに提出することとし、委員の交代は議長の辞任許可及び補充指名を受けること、分科委員の所属変更は、委員長の承認を受けることを決定。

## 第1分科会

○ 6月24日（水） 開会 午後6時14分  
散会 午後6時22分  
第2委員会室  
第1分科委員長  
沖田 清志（民主）

- ① 分科委員長に沖田清志委員（民主）、分科副委員長に浅野貴博委員（自民）を選出。
- ② 付託議案の審査日程、質疑・質問の方法等、理事会の設置、分科委員の異動等、分科委員外委員の発言の取扱い、議席、次回委員会の開催予定について決定。
- ③ 理事に、笠井龍司委員（自民）、鈴木一磨委員（民主）、赤根広介委員（結志）、阿知良寛美委員（公明）を選出。

○ 6月26日（金） 開議 午前11時3分

散会 午後 6 時20分

第 2 委員会室

第 1 分科委員長

沖田 清志（民主）

① 公安委員会所管に対する質疑に入り、

**藤川 雅司委員（民主）** から、

1 薄野交番のリニューアルについて

- ・旧薄野交番の状況
- ・薄野交番の役割
- ・新庁舎建て替えのスケジュール
- ・新庁舎の特徴
- ・今後の取組

等について質疑、意見及び要望があり、地域部長、施設課長及び地域部参事官兼地域企画課長から答弁があつて、公安委員会所管に関する質疑を終結。

② 保健福祉部所管に対する質疑に入り、

**笠井 龍司委員（自民）** から、

1 感染症拡大を踏まえた取組について

- ・6月18日の知事記者会見の受け止め
- ・PCR検査の一日当たりの処理可能数と外注等の割合
- ・直近3週間における1週当たりの検査実施状況と結果
- ・PCR検査センターの形態や検査状況と今後の運営見通し
- ・PCR検査体制のさらなる拡充の考え方と目標設定のエビデンス
- ・保健所設置市における検査機器の整備予定と指定医療機関等に向けた導入予定機器の概要や期待される効果
- ・感染拡大期に備えた体制の再構築の必要性に対する見解
- ・感染症の発生段階ごとの道立保健所と札幌市及びそれ以外の保健所設置市別の保健師の体制と確保のための対応
- ・保健所における保健師の体制の推移と確保への対応
- ・帰国者・接触者相談センターの体制と相談の状況
- ・一般相談の体制や状況
- ・ファーストコール対応のための電話相談業務の概要や期待される効果
- ・保健師による疫学調査の対象と従事者数及び

課題

- ・患者や検体の搬送の実績と業務委託の概要
  - ・関係職員の健康への配慮や体制の再構築に向けた取組
  - ・帰国者・接触者外来の開設状況
  - ・指定医療機関等以外の帰国者・接触者外来の開設手続と支援や保健所の指導状況
  - ・病床の状況と受入れの状況
  - ・第2波の感染が発生した場合の患者推計の進め方
  - ・G M I S の運用状況に係る認識と道実施の調達等に係る支援などの取組
  - ・医療従事者等の派遣の規模と医療チームの概要及び今後の対応への考え方
  - ・感染拡大防止体制整備事業の概要と支給スケジュール及び業務委託先
  - ・医療機関の体制の立て直しに向けた今後の取組
  - ・クラスターの温床となりかねない営業形態の店舗の把握状況と発生防止に向けた取組
  - ・医療従事者等応援事業に係る寄附者の思いの受け止めと贈呈品を贈る判断に対する見解
- 2 感染症拡大を踏まえた取組の検証について
- ・答弁における振り返りの趣旨と一定の整理の考え方
  - ・国の動向の見極めの具体的な内容
  - ・道独自の検証実施の有無
  - ・道における終息状況の考え方
  - ・必要な検証の考え方
  - ・テレビCMが随意契約となった経緯と業者の選定方法
  - ・業務委託の執行方法及び検証の考え方
  - ・北海道コロナ通知システムの取組と感染防止上の考え方
  - ・介護施設等で発生したクラスターへの対応の検証と認識
  - ・今後の検証に向けた素材の保存の考え方
  - ・取組の検証の位置づけ

等について

**鈴木 一磨委員（民主）** から、

1 障がい者雇用対策について

- ・障がい者雇用率の状況
- ・就労移行支援や就労継続支援の道内実績及び障がい者が希望する職種と採用募集とのマッチング方法

- ・農福連携への取組
  - ・離職の課題の把握方法と対応
  - ・コロナ禍による就労への影響と対策
  - ・地域福祉施策における振興局の役割と市町村との連携
  - ・今後の政策展望
- 2 新型コロナウイルス感染症病床確保対策について
- ・軽症者等用宿泊施設借上事業費の積算の考え方
  - ・軽症者等用宿泊施設借上事業の設置意向のある市町村の有無及び宿泊施設側との協議状況
  - ・病床開設基準
  - ・感染症病床確保促進事業費の積算の考え方と対象期間外の減収への対応
  - ・病床数の増加見込み
- 等について
- 星 克明委員（自民）**から、
- 北海道国民健康保険運営方針の見直しについて
    - ・市町村一人当たりの医療費の推移とその最高額と最低額の差の推移
    - ・医療費適正化に向けたこれまでの取組と今後の取組
    - ・保険料収納率の推移と市町村における収納率の最高値と最低値の差の推移
    - ・収納率向上に向けたこれまでの取組と今後の取組
    - ・加入者負担の公平化と国保運営の健全化に向けた取組
  - 公衆浴場等におけるレジオネラ症対策について
    - ・衛生管理の状況
    - ・新基準に対応するための事業者の取組
    - ・銭湯や理美容における新型コロナウイルス感染症対策の取組と道の関わり
    - ・混浴の年齢制限の改正理由と今後に向けた考え方
    - ・今後の取組
- 等について
- 藤川 雅司委員（民主）**から、
- 児童虐待防止について
    - ・札幌市での虐待死亡事案の検証報告に対する道の受け止め
    - ・検証結果を踏まえた道として強化すべき点
  - 児相の体制強化に向けたこれまでの取組と人材確保や育成に向けた今後の取組
  - 今後の取組
- 2 社会福祉施設における新型コロナウイルス感染症対策について
- ・社会福祉施設等感染症対策支援事業の目的と内容
  - ・福祉サービス再開に向けた具体的な対策
  - ・今後の取組
- 3 「エールを北の医療へ！」による寄附を活用した取組について
- ・募集の目的と異なる使途とした考え方
  - ・医療機関における資機材の整備状況に対する考え方
  - ・寄附者への説明
- 4 新型コロナウイルス感染症対策の中間検証について
- ・中間的な検証に対する考え方
- 等について
- 赤根 広介委員（結志）**から、
- 新型コロナウイルス感染症対策について
    - ・新型コロナウイルス感染症緊急包括交付金の内示額
    - ・警戒ステージにおける取組の具体的な想定
    - ・警戒ステージの基準見直しの検討
    - ・検証作業に取り組む視点と時期
    - ・専門家に係る認識
    - ・新たな専門家会議の設置
    - ・専門家会議の見える化の取組及び情報発信への取組に対する見解
    - ・医療従事者等慰労金支給事業の支給対象者の範囲と継続的な支援に向けた考え方
    - ・患者と接することの定義
    - ・慰労金の道内支給状況と支給に対する見解
    - ・医療従事者等応援事業に係る感謝品贈呈理由と対象者の考え方及び今後の活用方法
    - ・保健所体制強化の実施時期に対する見解
    - ・保健所のHIV検査休止状況の把握と受け止め
    - ・検査体制の課題と実施率及び実施数の向上に向けた取組
    - ・検査センター設置における石狩市と石狩市医師会との協議難航の受け止めと解決に向けた道の果たすべき役割
    - ・検査センター設置の考え方

- ・相談から検査までの一貫した検査体制の整備に対する見解
- ・1500床規模の体制整備の議論の経緯
- ・病床数算出の根拠と圏域別の内訳
- ・患者数の推計方法
- ・振り返りの方針と今後の病床確保に向けた取組
- ・今後の体制構築に対する所見

等について

**阿知良 寛美委員（公明）** から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
  - ・感染拡大防止に向けたこれまでの対策
  - ・中間的な検証を行う必要性に対する見解
  - ・社会福祉施設におけるクラスター発生事例を踏まえた研修会の必要性
  - ・感染症病床確保促進事業の目的と事業内容
  - ・重点医療機関の指定要件
  - ・患者を受け入れている医療機関などに対する支援策
  - ・救急医療機関等の状況に対する認識と対応
  - ・医療機関における帰国者・接触者外来充実への対応
  - ・軽症者宿泊療養施設の確保に向けた考え方
  - ・新たな流行シナリオの考え方を踏まえた患者推計の算出方針
  - ・病床確保計画の策定に対する見解
  - ・保健所の即応体制の整備に対する見解
  - ・集団感染症対策に係る機能強化の具体的な内容

等について

**宮川 潤委員（共産）** から、

- 1 医療機関等への支援について
  - ・経営上の医療崩壊に対する認識
  - ・新型コロナウイルス感染患者を入院させた医療機関と受け入れなかった医療機関に対する支援内容
  - ・患者を受け入れた医療機関への支援に対する検証の必要性
  - ・医療機関の収入減少に対する認識
  - ・国への要望内容と今後の取組
- 2 地域保健体制について
  - ・道立保健所の職員数の推移と時間外勤務の状況
  - ・保健所予算の推移
  - ・予算及び体制強化の内容
- 3 地域医療構想について

- ・公的医療機関の役割に対する認識
  - ・市町村からの意見書の状況
  - ・地域医療構想調整会議の開催状況
  - ・構想見直しの必要性に対する見解
  - ・感染症病棟の在り方に対する見解
- 4 社会福祉施設等の新型コロナ感染の影響及び対応について
    - ・通所介護の利用者減の状況
    - ・道内の介護報酬額の減少状況の検証の必要性
    - ・介護事業所の人手不足の実態と対応策
    - ・障がい者事業所に対する支援制度の内容と周知方法
    - ・障がい者事業所への優先調達のさらなる推進と工賃保障の制度化及び在宅就労支援の周知の必要性に係る現状と今後の取組
    - ・事業所存続のための支援
    - ・移動支援に対する助成が同行援護や行動援護では適用されないことに対する見解
    - ・日額払いの報酬支払制度の見直しとサービスの転換を国に求めるに対する見解
    - ・放課後デイサービスの体制整備と課題に対する見解
    - ・学童保育の現状把握と支援強化の取組
    - ・事業所が複数ある場合の支援の対象範囲
  - 5 生活保護について
    - ・保護申請の状況
    - ・受理体制の強化と決定迅速化の周知

等について質疑、意見及び要望があり、保健福祉部長、少子高齢化対策監、保健福祉部次長、地域医療推進局長、健康安全局長、福祉局長、子ども未来推進局長、技監、国保担当局長、障がい者支援担当局長、総務課長、地域医療課長、医師確保担当課長、医療参事、医務業務課長、地域保健課参事、食品衛生課長、国保医療課長、国保広域化担当課長、保護担当課長、施設運営指導課長、障がい者保健福祉課長、子ども子育て支援課長及び自立支援担当課長から答弁があって、総括質疑に保留された事項を除き、保健福祉部所管に関する質疑を終結。

**③ 環境生活部所管に対する質疑**に入り、

**星 克明委員（自民）** から、

- 1 民族共生象徴空間ウポポイについて
  - ・感染症対策の内容
  - ・教育旅行の予約状況と訪問先として選ばれるための取組
  - ・ウポポイ周辺エリアの魅力向上の取組状況
  - ・民間企業と連携した取組状況

- ・知事が訪問する目的
  - ・今後の取組
- 2 スポーツ活動の取組について
- ・中止となった全国大会と代替大会の検討状況
  - ・代替大会開催に対する支援
  - ・スポーツイベントの再開に向けた感染症予防ガイドラインの概要と中央の競技団体による競技別ガイドラインの作成状況
  - ・スポーツ活動の再開に向けた感染症対策の取組
  - ・今後の取組
- 3 ほっかいどう歴史・文化・自然「体感」交流空間構想について
- ・構想の関連施設
  - ・エリア全体の目指す姿
  - ・指定管理者の取組との関連
  - ・エリア再生に向けた具体的な取組と今後のスケジュール
  - ・各施設の役割
- 等について
- 鈴木 一磨委員（民主）**から、
- 1 風力発電所建設に係る環境アセスメント等について
- ・必要とされる事前調査や住民合意などの手続内容
  - ・発電所建設に係る環境調査等の行政窓口機関と国・道・市町村の役割
  - ・常呂・能取風力発電事業における地域の理解と協力の必要性に対する所見と必要な環境配慮に対する所見
  - ・建設予定地における地中の文化遺産に係る事前調査の必要性に対する所見
  - ・地域住民の方々の理解が最優先であるとの見解に対する認識
- 等について質疑、意見及び要望があり、環境生活部長、アイヌ政策監、環境局長、文化局長、スポーツ局長、環境計画担当課長、文化振興課長、スポーツ振興課長及び象徴空間担当課長から答弁があつて、議事進行の都合により散会。

○ 6月29日（月） 開議 午後1時4分  
 散会 午後5時57分  
 第2委員会室  
 第1分科委員長  
 沖田 清志（民主）

- ① 環境生活部所管に対する質疑を続行し、  
**佐藤 槟洋委員（自民）**から、
- 1 北海道環境基本計画について
- ・現行計画の検証状況
  - ・次期計画策定に向けた環境審議会での審議状況と諸課題
  - ・パリ協定や国の第5次計画及びSDGsの考え方を踏まえた議論の結果の計画への反映方法
  - ・今後の取組
- 2 水道事業の広域連携について
- ・北海道水道広域化推進プラン策定に向けた取組状況
  - ・市町村等との意見交換の状況
  - ・昨年度実施した現状分析や将来推計などの調査内容と結果
  - ・調査結果の受け止めと課題への対応方法
  - ・広域連携に向けた今後の取組
- 3 再犯防止の取組について
- ・再犯者の状況
  - ・再犯の要因に対する認識
  - ・これまでの取組
  - ・他都府県における地方再犯防止推進計画の策定状況と特徴的な取組
  - ・今後の取組
- 4 配偶者暴力被害者対策の充実について
- ・道内のDV被害者の状況
  - ・具体的な支援の状況
  - ・道内の民間シェルターの活動状況
  - ・民間シェルターへの支援の状況
  - ・新規の取組内容と道の関わり
  - ・今後の取組
- 5 文化芸術活動応援事業について
- ・事業の検討経緯
  - ・補助事業者決定の要件
  - ・事業実施方法の妥当性
  - ・「北海道STAGE AIDプロジェクト」の概要と具体的な支援内容
  - ・支援規模やスキームと自主事業との関係
  - ・今後の対応
  - ・事業検証に対する認識
- 等について
- 藤川 雅司委員（民主）**から、
- 1 人権施策について
- ・人権施策推進基本方針改定に当たっての意見

### 聴取方法と改定スケジュール

- ・道内におけるSNS等による人権侵害の状況
- ・被害者支援の取組状況
- ・新型コロナウイルス感染症に係る偏見差別等への対応

等について

### 赤根 広介委員（結志）から、

#### 1 スポーツ政策について

- ・部活動全国大会代替大会地方開催等支援事業の詳細
- ・北海道知事賞の位置づけと継続性
- ・感染拡大防止の取組状況等の情報共有化方法
- ・代替大会等の早期開催に向けた道の役割

#### 2 文化政策について

- ・文化芸術活動応援事業の詳細と実施時期
- ・財源を寄附金とした理由
- ・事業規模確保の確約をすることに対する見解
- ・目標額に達しない場合の財源確保方法及び事業の執行方法
- ・今後の取組
- ・知事の訪問を踏まえたウポポイへの今後の対応

#### 3 DV対策について

- ・配偶者暴力被害者等支援調査研究事業と配偶者暴力被害者相談支援体制支援事業の詳細
- ・先議により議決された新型コロナウイルス感染症対策事業に一般分の調査研究事業を含むべきであったとの考え方に対する見解及び先議にできなかった理由

等について

### 阿知良 寛美委員（公明）から、

#### 1 ウポポイについて

- ・ウポポイの意義
- ・感染症対策の状況
- ・誘客に向けた課題に対する認識
- ・魅力発信のための具体的な取組内容
- ・アイヌ政策推進交付金を活用した市町村の取組状況と道による支援の内容
- ・教育旅行の予約状況
- ・教育旅行としての活用を促進するための取組内容
- ・誘客促進や開設効果の全道波及に向けた取組

等について

### 宮川 潤委員（共産）から、

#### 1 地球温暖化対策について

- ・道における温暖化対策の意義と重要性

- ・温室効果ガス排出削減の状況

- ・温暖化対策事業の予算額

- ・多額な事業の内訳

- ・北海道地球温暖化対策推進計画の重点施策に対する評価と総括及び結果の次期計画への反映方法

- ・次期計画策定の基本的な考え方の基準とパリ協定に基づき目標を見直すことに対する見解
- ・これまでの延長線上ではない新たな取組を行う考えの有無

#### 2 消費生活相談等について

- ・昨年と今年の相談の特徴
- ・消費生活センターの相談に結びつく割合
- ・若者が相談しやすい体制づくりに対する見解
- ・介護・福祉との連携強化の必要性に対する見解
- ・機能強化の方法

等について質疑、意見及び要望があり、環境生活部長、アイヌ政策監、環境局長、くらし安全局長、文化局長、気候変動対策担当局長、象徴空間担当局長、環境政策課長、水道広域化推進室長、気候変動対策課長、道民生活課長、女性支援室長、消費者安全課長、文化振興課長、スポーツ振興課長、アイヌ政策課長及び象徴空間担当課長から答弁があって、総括質疑に保留された事項を除き、環境生活部所管に関する質疑を終結。

### ② 総合政策部所管に対する質疑に入り、

### 浅野 貴博委員（自民）から、

#### 1 交通政策について

- ・交通事業者利用促進支援事業の概要と目的
- ・対象経費の考え方
- ・対象事業者の範囲
- ・事業実施期間の考え方
- ・補助率格差の必要性と複数交通モードの連携及び事業実施見込み
- ・プレミアム乗車券の販売手続と販売時期
- ・新型コロナウイルス感染症の対応方法
- ・今後の取組
- ・地域公共交通活性化再生法の改正内容と地域公共交通網形成計画の作成状況
- ・法改正前の複数市町村における全国の地域公共交通計画の作成状況と道内の広域的な計画の作成に係る取組
- ・振興局の機能を活用した取組
- ・バス路線の確保に係る自治体の負担を回避す

るための減収への財政支援に対する所見

- ・JR留萌線の今後の在り方に対する認識と今後の取組

## 2 北海道の土地水資源について

- ・本道における水資源保全地域内の状況
- ・土地取得者の居住地の内訳
- ・事前届出の状況
- ・コロナ禍の影響に対する認識
- ・土地利用の把握状況
- ・今後の取組

等について

**鈴木 一磨委員（民主）** から、

### 1 道の在宅勤務に係るセキュリティについて

- ・在宅勤務システムの概要
- ・セキュリティの確保方法
- ・情報漏えいの防止方法
- ・業者選定方法と受注業者及び再委託の有無
- ・今後の取組

### 2 地域周遊事業について

- ・エリア循環促進事業の内容
- ・委託事業者の選定方法
- ・周遊範囲の考え方
- ・周遊範囲の再検討に対する所見
- ・今後の事業展開に向けた所見

### 3 地域交通について

- ・交通事業者利用促進支援事業の概要
- ・対象事業者の範囲
- ・利用者の見込み
- ・公共交通利用促進への働きかけ
- ・JR北海道の利用促進に向けた今後の取組
- ・地域団体と連携した事業展開に対する所見
- ・他の施策との相乗効果に対する所見
- ・今後の交通政策の展望

等について

**佐藤 榮洋委員（自民）** から、

### 1 教育長等への知事の要請について

- ・新型コロナウイルス感染症における休業要請の影響に対する認識
- ・休業要請の検証作業に対する見解と検証の位置づけ

### 2 広報広聴活動について

- ・知事が行う広報活動への認識と今後の改善方法
- ・ウポポイに関する広報活動における道の広報戦略の中での位置づけ

- ・最近の広聴活動に対する認識と改善の必要性
- ・広報広聴活動の取組における検証の位置づけ
- ・定例記者会見における定例の定義と今定例会中の実績
- ・今定例会中におけるマスコミからの取材状況等について

**小岩 均委員（民主）** から、

### 1 緊急対策第4弾について

- ・第3弾と第4弾の位置づけ
- ・国の2次補正予算関連事業の活用方法
- ・事業構築の考え方
- ・議会への説明と審議時間の確保

### 2 コロナウイルスに伴う市町村財政への影響について

- ・市町村財政への影響に対する受け止め
- ・地方創生臨時交付金に係る道内市町村の活用状況と市町村の評価等に対する認識
- ・市町村財政の現状や課題に対する認識と解消に向けた対応
- ・市町村の実施計画を今後の検証作業の対象とするべきとする考え方への認識

### 3 コロナ禍における外国人支援について

- ・これまでの支援状況
- ・外国人相談サポートセンターにおける相談状況と具体的な対応
- ・札幌市の外国人相談窓口との役割分担と連携
- ・外国人の集中する地域への支援
- ・今後の取組
- ・外国人技能実習生制度の悪用に対する認識

### 4 新たな過疎法に関わる影響と対応について

- ・本道における過疎地域の状況
- ・過疎法が果たしてきた役割や効果
- ・過疎法の見直しに向けた検討内容
- ・新たな過疎法の受け止めと今後の対応

等について質疑、意見及び要望があり、総合政策部長、地域振興監、交通企画監、知事室次長、政策局長、国際局長、地域創生局長、地域行政局長、交通政策局長、交通政策局次長、計画推進担当局長、交通・物流連携担当局長、広報広聴課長、広報担当課長、政策局参事、土地水対策課長、多文化共生担当課長、情報基盤担当課長、地域創生担当課長、地域政策課長、財政・公営企業担当課長、鉄道支援担当課長及び交通・物流担当課長から答弁があつて、議事進行の都合により散会。

○ 6月30日（火） 開議 午前10時2分  
閉会 午後5時24分

第2委員会室  
第1分科委員長  
沖田 清志（民主）

① 総合政策部所管に対する質疑を続行し、

**星 克明委員（自民）** から、

- 1 北海道Society5.0構想の取組について
- ・特に施策展開が急がれる分野
  - ・電話を用いた相談応対機能の強化に向けた取組
  - ・電子化の動きに対応できない方々への配慮
  - ・道のテレビ会議システムとウェブ会議の違いと従来のシステムを見直す考え方
  - ・オープンデータの有効性と公開する情報の基準
  - ・オープンデータに関する専門知識を有する人材の育成と今後の取組
  - ・5Gの普及に向けた取組
  - ・本道における高速通信基盤整備の取組
  - ・今後の取組

等について

**赤根 広介委員（結志）** から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
- ・現状に対する見解
  - ・きめ細かく対応すべきとの考えに対する所見
  - ・知事記者会見に対する道民意見の内容と改善への取組
  - ・知事発言への対応
  - ・さらなる情報保障に対する見解
  - ・専決処分を決定した経緯と判断に当たっての専門家の意見
  - ・先議に対する庁内議論や手続の経緯と十分な議論に対する見解
  - ・道政の推進に当たって議会と丁寧に議論を交わすことに対する所見
- 2 光ファイバーグラント整備について
- ・超高速ブロードバンド基盤整備に対する認識
  - ・道内の整備状況に対する受け止めと整備が進まない理由
  - ・ICTを活用した遠隔教育の環境整備実現に向けた取組と今後の展開
  - ・今後の取組
- 3 交通政策について
- ・バス業界における感染拡大防止対策に対する見解と振興策の要請への対応及び地域のバス

路線の維持確保に向けた取組

- ・交通需要の回復に向けた対応と国への要請
- ・JR北海道の経営安定に向けた今後の対応
- ・物流の在り方の調査検討における調査内容と進捗状況
- ・北海道交通政策総合指針に係る新たな戦略策定に向けた検討
- ・地域交通の課題解決に向けた振興局との連携強化と今後の対応
- ・地域の移動ニーズや課題把握のための意見交換会の設置形態と役割及び設置に向けた取組状況
- ・地域ニーズの把握状況
- ・今後の取組

等について

**阿知良 寛美委員（公明）** から、

- 1 多文化共生社会の実現について
- ・これまでの取組
  - ・特定技能による外国人の受入れ状況
  - ・JICA北海道による実態調査の内容
  - ・調査結果の活用方法
  - ・国際関係団体との連携方法と道による実態把握調査実施に対する所見
  - ・今後の取組
- 2 新型コロナウイルス感染症対策について
- ・交通事業者利用促進支援事業の予算規模を10億円とした考え方と交通モード連携の想定及びその狙い
  - ・事業効果の見込み
  - ・段階的回復に向けた今後の取組
  - ・道内における光ファイバー整備の状況
  - ・「道路情報BOX」の積極的な活用に対する所見
  - ・今後の整備促進への取組
  - ・これまでの緊急対策の実績と効果の検証
  - ・各種団体等からの要望内容の反映状況と今後の対応
  - ・今後の緊急対策の取組

等について

**藤川 雅司委員（民主）** から、

- 1 特別定額給付金について
- ・道内市町村における給付の状況
  - ・オンライン申請の割合などの状況
  - ・マイナンバーと金融口座とのひもづけに対する所見

- ・今後の対応
- 2 ふるさと納税を活用した寄附について
- ・取組の状況
  - ・近年のふるさと納税の実績
  - ・多額の寄附となった要因
  - ・返礼品の取扱いに対する認識
  - ・今後の取組
- 等について
- 宮川 潤委員（共産）から、**
- 1 新型コロナウイルス感染症に関する緊急対策について
    - ・第1弾から第4弾までの各対策規模と予算額及び累計額
    - ・予算の財源内訳
    - ・施策立案に当たっての考え方
    - ・これまで以上に道独自の施策を実施すべきとの考えに対する見解
    - ・ブルーライトアップ事業の目的と経緯や費用及び効果への評価
    - ・実施時期の決定理由
    - ・新北海道スタイルの徹底と道民からの意見
  - 2 マイナンバーについて
    - ・これまでの普及の取組と交付率
    - ・特別定額給付金のオンライン申請を取りやめたか行わなかつた自治体数
    - ・オンライン申請手続の現状
    - ・マイナンバー制度導入以降の情報漏えい件数と内容及び漏えいリスクに対する認識
    - ・制度の問題点是正に対する見解
  - 3 地方交通について
    - ・道内バス乗り合い事業の3月から5月の輸送人員の対前年同期比
    - ・苦境に陥ったバス事業者に対する現状認識とこれまでの具体的な支援策
    - ・運行支援の必要性と実施効果
    - ・バス運転手確保対策事業の実績と廃止の理由
    - ・早急なバス運転手確保の取組に対する認識
    - ・道独自支援の必要性に対する認識
    - ・JR北海道の収支状況と営業損益及び新型コロナウイルスの影響による新幹線乗車率の変化
    - ・国への支援要請を行わなかつた理由
    - ・北海道新幹線の赤字拡大に対する認識と建設負担金に対する考え方
    - ・北海道新幹線の赤字解消に向けた取組
- ・地方路線の維持存続に向けた取組
- 等について質疑、意見及び要望があり、総合政策部長、地域振興監、交通企画監、知事室次長、政策局長、国際局長、情報統計局長、地域創生局長兼官民連携推進室長、交通政策局長、交通政策局次長、交通・物流連携担当局長、新幹線推進室長、広報広聴課長、広報担当課長、官民連携推進室参事、政策局参事、多文化共生担当課長、情報政策課長、情報基盤担当課長、移住交流担当課長、交通企画課長、鉄道支援担当課長、交通・物流担当課長及び新幹線推進室参事から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、総合政策部所管に関する質疑を終結。
- ② **選挙管理委員会所管に対する質疑**に入り、  
**浅野 貴博委員（自民）から、**
- 1 新型コロナウイルス感染症対応を踏まえた選挙実施体制について
    - ・選挙に携わる方々に対する感染防止対策
    - ・コロナ禍による投票率低下防止の取組
    - ・コロナ対策のガイドライン作成に対する認識
    - ・電子投票に対する認識
- 等について質疑、意見及び要望があり、事務局長及び事務局次長から答弁があつて、選挙管理委員会所管に関する質疑を終結。
- ③ **総務部所管に対する質疑**に入り、  
**佐藤 穎洋委員（自民）から、**
- 1 財政運営について
    - ・道財政の着実な健全化を進めるための目標に対する取組状況とその評価
    - ・実質公債費比率が過去最高水準まで上昇する要因
    - ・比率対策の取組実績
    - ・実質公債費比率の改善に向けた取組
    - ・財政調整基金の積立て実績やその背景
    - ・財政調整基金の確保に向けた取組
    - ・新型コロナウイルス感染症の発生による財政収支に対する影響の受け止めと課題
    - ・今後の財政運営の在り方検討
- 等について
- 鈴木 一磨委員（民主）から、**
- 1 道の在宅勤務に係る労務管理等について
    - ・タブレット端末を使用した在宅勤務のこれまでの取組と課題
    - ・勤務時間の管理方法
    - ・テレワークによる在宅勤務を希望する職員への環境整備の必要性に対する見解
    - ・在宅勤務の課題

- ・今後の在宅勤務の実施に向けた取組
- 2 税の収納対応について
- ・コロナ禍による自動車税等の納税猶予等の特例措置の概要と納税猶予の相談件数及び猶予件数並びに猶予税額の現況
  - ・自動車税種別割の納税緩和措置を取らない理由
  - ・自動車税の督促や延滞金の発生日とその内容及び納期限後の救済の有無
  - ・納税相談に対する所見
  - ・自動車税の認識
  - ・寄附金控除に対する所見
  - ・今後の対応
- 3 技術職員の支援について
- ・総務省が新たに設けた制度の内容と対応状況
  - ・道における技術職員の配置状況
  - ・技術職員の確保に向けた今後の取組
- 4 札幌医科大学附属病院におけるG I Dクリニックについて
- ・新患受け付け中止の理由と受診できなくなった人数
  - ・道内唯一のG I D学会認定施設であることへの認識
  - ・受診できない方の現状とその対応
  - ・G I Dクリニック再開に向けた取組に対する所見
  - ・札医大G I Dクリニックからのメッセージ
- 5 財政運営について
- ・今回の補正予算による後年度への影響
  - ・減額補正の状況と今後の対応方針
  - ・財政調整基金の確保に向けた今後の取組
  - ・新型コロナウイルス感染症が今後の財政運営に及ぼす影響
- 等について
- 星　克明委員（自民）** から、
- 1 Smart道府県の取組について
- ・目指す姿と昨年度の推進本部における取組状況
  - ・意義や取組の職員間における共有方法
  - ・業務の効率化や省力化の進め方
  - ・R P Aの取組状況と効果及び今後の取組
  - ・行政の電子化の促進方法
  - ・オフィス改革の具体的な取組内容と狙い
  - ・テレワークの本格実施に向けた課題
  - ・テレワーク環境の整備方法
- ・検証の位置づけ
- ・今後の取組
- 等について
- 赤根 広介委員（結志）** から、
- 1 防災について
- ・市町村の感染症対策のための備蓄状況調査の結果と課題
  - ・被災市町村向けの感染症対策物資と資材の整備内容及び使用方針
  - ・北海道版避難所マニュアルの検証内容と検証結果から得た課題及び今後の対策
  - ・防災におけるI C Tの導入と活用方法
  - ・国の対応方針を踏まえた地域防災計画や緊急時対応の見直し内容と時期
  - ・今後の取組
- 2 行財政運営について
- ・国の臨時交付金の支給額や決定時期に対する評価
  - ・第2次臨時交付金の執行見込みと今後の取組及び残額の使途
  - ・財源確保のための事業精査の取組の見解と目標額の設定に対する所見
  - ・今後の対策に必要な財源確保の方針と次期行財政運営方針の作成
- 等について
- 菊地 葉子委員（共産）** から、
- 1 地域防災について
- ・市町村における指定避難所の指定や避難所マニュアルの策定及び避難勧告等の発令基準の策定並びにハザードマップの策定状況
  - ・非常用発電機の整備及び燃料確保状況
  - ・非常用電源の増設への対応
  - ・感染リスクへの不安により避難所への避難をためらう現状への見解
  - ・避難所の環境改善に対する認識
  - ・物資の分散備蓄の実施に対する考え方
  - ・段ボールベッドの感染対策上の有効性と配備の規模
  - ・地方創生臨時交付金等を活用した資材整備
  - ・避難所マニュアルの策定遅延に対する認識と策定促進のための取組
  - ・新型コロナウイルス感染症に対応した原発事故時の緊急時対応の改正を直ちに着手しなかった理由と他県の動きなどの情報収集の方法
  - ・換気を行わない避難先での感染症リスクの受

## け止めと対策

- ・感染流行下における避難用バスの確保方法
- ・コロナ対応を踏まえた避難時間シミュレーションの改正に対する認識
- ・実行ある避難対策の検討

等について質疑、意見及び要望があり、総務部長兼北方領土対策本部長、職員監、危機管理監、総務部次長兼行政局長、人事局長、財政局長、法人局長、危機対策局長、原子力安全対策担当局長、改革推進課長、人事課長、職員活躍担当課長兼人事局参事、財政課長、資金担当課長、税務課長、税務対策担当課長、独立行政法人課長、危機対策課長、防災教育担当課長及び原子力安全対策課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、総務部所管に関する質疑を終結。

---

## 第 2 分 科 会

○ 6月24日（水） 開会 午後 6時13分  
散会 午後 6時22分  
第3委員会室  
第2分科委員長  
太田 憲之（自民）

- ① 分科委員長に太田憲之委員（自民）、分科副委員長に池端英昭委員（民主）を選出。
- ② 付託議案の審査日程、質疑・質問の方法等、理事会の設置、分科委員の異動等、分科委員外委員の発言の取扱い、議席、次回委員会の開催予定について決定。
- ③ 理事に、桐木茂雄委員（自民）、武田浩光委員（民主）、新沼透委員（結志）、寺島信寿委員（公明）を選出。

○ 6月26日（金） 開議 午前10時4分  
散会 午後 5時23分  
第3委員会室  
第2分科委員長  
太田 憲之（自民）

- ① 建設部所管に対する質疑に入り、  
**佐々木 大介委員（自民）** から、

- 1 議会庁舎について
  - ・新議会庁舎の特徴
  - ・先駆的な取組の発信と普及に向けた今後の取

## 組

等について

### **池端 英昭委員（民主）** から、

- 1 道営住宅の高齢化対応について
  - ・3階建て以上の住棟でエレベーターが設置されていない住宅数と未設置住宅に居住している高齢者への対応
  - ・3階建て以上の住棟でエレベーターが設置されていない住宅のうちオイルサーバーが設置されていない住宅数とオイルサーバーが未設置の住宅への今後の対応
  - ・これまでの道営住宅におけるバリアフリー化の取組
  - ・今後の取組
- 2 道路の維持管理について
  - ・車両損害事案の最近の状況
  - ・舗装の穴ぼこの発生原因と事故件数の増減原因
  - ・車両損害事案の処理方法
  - ・穴ぼこに起因する事故防止に向けた道の対応方法
  - ・今後の対応
- 3 自転車利用環境の整備について
  - ・北海道におけるサイクルツーリズム推進に向けた取組状況
  - ・道道における自転車道などの整備状況
  - ・全道におけるルート協議会の設置状況
  - ・石狩北部・増毛サイクルルート協議会における道の取組
  - ・今後の取組
- 4 日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデルの対応について
  - ・道内の主要箇所での津波高
  - ・国が公表した津波高と平成24年に道が公表した最大沿岸津波高との違い
  - ・津波浸水想定の設定に向けた今後のスケジュール
  - ・津波災害警戒区域指定の進め方と指定される市町村が可能となる取組の内容
  - ・市町村との連携

等について

### **滝口 直人委員（自民）** から、

- 1 河川の整備等について
  - ・道管理河川の整備計画策定時に想定している降雨の規模

- ・2016年8月から9月にかけての台風や低気圧等に伴う河川の氾濫等による被害額
- ・道管理河川の整備実施河川数と延長及び現在整備を実施している河川の補助対象河川と地域河川改良事業の対象河川数と延長
- ・緊急度の高い区間の選定方法と整備完了までの期間
- ・これまでと今後の河川の維持管理の進め方
- ・今後の対応に対する部長の見解

2 新型コロナウイルス感染症拡大と道営住宅を活用した支援について

- ・支援の内容
- ・家賃の設定方法と入居可能期限
- ・市町村の支援状況
- ・確保した道営住宅及び市町村営住宅の現時点での利用状況
- ・入居申込み等における感染防止対策の取組内容
- ・既存入居者への対応方法
- ・住宅困窮者に対する今後の対応

等について

**佐藤 伸弥委員（結志）** から、

1 土砂災害対策の取組について

- ・本道と他府県の土砂災害警戒区域の指定状況
- ・土砂災害警戒区域指定の遅れの原因
- ・土砂災害警戒区域指定の早期指定に向けた今後の進め方
- ・土砂災害警戒区域指定後の市町村に対する支援内容
- ・土砂災害警戒区域における施設整備の進め方と整備の効果に対する認識
- ・今後の取組

2 建築物等の耐震化の促進について

- ・道路の閉塞を防止するための耐震化を促進すべき建築物の対象
- ・耐震化をすべき沿道建築物の数と道路閉塞のおそれに対する認識
- ・沿道建築物の耐震化の促進方法
- ・通行障害となるブロック塀の数
- ・今後の取組

等について

**大越 農子委員（自民）** から、

1 古民家の活用について

- ・平成30年度調査における道内の空き家の状況及び前回調査との比較

- ・空き家等対策の推進に関する特別措置法制定以降における道及び市町村の空き家対策の取組
- ・道内の古民家の状況
- ・古民家の活用状況
- ・道内の古民家の活用事例
- ・今後の取組

等について質疑、意見及び要望があり、建設部長、建築企画監、土木局長、住宅局長、施設保全防災担当局長、施設整備担当局長、維持管理防災課長、維持担当課長、管理担当課長、道路課長、河川砂防課長、砂防災害担当課長、建築指導課長、建築安全担当課長、住宅課長、住宅管理担当課長及び大規模施設整備担当課長から答弁があつて、建設部所管に関する質疑を終結。

② **水産林務部所管に対する質疑**に入り、  
**滝口 直人委員（自民）** から、

1 北の森づくり専門学院の運営について

- ・新型コロナウイルス感染症へのこれまでの対応状況と生徒へのフォローアップの状況
- ・今後の新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の取組内容
- ・カリキュラムの遅れへの道の取組
- ・来年度の入学生確保に向けた今後の道の取組
- ・今後の取組

2 水産業の緊急対策について

- ・新たな増養殖の支援方法と養殖の事業化推進に向けた取組内容
- ・道総研水産試験場が取り込む技術開発の水域別の活用方法と増養殖の推進に対する考え方
- ・栽培漁業対象種の選定に対する支援内容
- ・水産物の販売戦略の見直しと販売拡大に向けた道の所見

3 北海道水産業・漁村振興推進計画について

- ・ニシンの魚価向上に向けた取組内容
- ・新たな就業モデルの策定方法と進め方
- ・国内に向けた水産物の安定供給の現状に対する受け止めと今後の取組

4 漁協支援の取組について

- ・道内の漁協の現状
- ・指導事業の具体的な取組内容
- ・直近3か年の漁協の経営状況の推移
- ・漁業者や漁協の経営への影響に対する認識
- ・今回追加提案された漁協への支援の考え方や具体的な内容
- ・事業検証の位置づけ

- ・コロナ禍の状況下における漁協の安定経営に向けた今後の対応
- 等について

**池端 英昭委員（民主）から、**

1 新型コロナウイルス感染症による漁業への影響について

- ・漁業者や漁協の状況及び今後の見通し
- ・新たな支援制度の必要性に対する認識
- ・コロナ禍における水産物の安定供給のためのネット通販の必要性
- ・国内需要喚起や販売促進に向けた道の見解
- ・漁協経営継続緊急支援事業による支援内容
- ・新型コロナウイルス感染症の影響を想定した本道漁業の確立に向けた支援の必要性に対する道の考え方

等について

**村木 中委員（自民）から、**

1 林業・木材産業の体制強化と道産木材の需要拡大について

- ・道産木材の製品出荷及び原木の在荷量の状況
- ・道のこれまでの取組状況
- ・林業・木材産業の生産活動を維持するための道の取組
- ・道有林の木材供給に向けた取組方法
- ・感染症拡大による影響を踏まえた道産木材の需要拡大への今後の取組

等について

**新沼 透委員（結志）から、**

1 密漁防止対策について

- ・過去5年間の密漁の発生状況
- ・地域における密漁防止対策の状況
- ・道の密漁防止対策に対する地元支援の取組内容
- ・漁業取締船の密漁対策における役割
- ・巧妙化する密漁に対する今後の取組

2 森林資源の循環利用について

- ・木材利用量及び再造林実績の推移
- ・森林資源の齢級構成の平準化に向けた考え方
- ・新型コロナウイルスの感染拡大による本道全体への影響と原木価格への影響
- ・国等への支援制度の要請に向けた考え方
- ・施設整備等への支援の考え方
- ・公共建築物への木材利用を通じた道産木材の需要喚起に対する考え方

等について

**安住 太伸委員（自民）から、**

1 森林を活用した新たな産業の創造について

- ・森林づくりと林業・木材産業の発展が人口減少問題の解決に果たす役割への認識
- ・研究成果を活用した人口減少問題の解決を図るための取組
- ・研究機関との共同研究を視野に入れた取組に対する考え方
- ・産業化に向けた情報共有の必要性
- ・人口減少の抑止や新たな産業創造に向けた部長の所見

等について

**寺島 信寿委員（公明）から、**

1 北の森づくり専門学院の取組について

- ・出願時の居住地や経歴の傾向と昨年度の入学者の傾向を踏まえた今後の生徒募集の取組
- ・SNSを活用した情報発信の取組
- ・カリキュラムの特色
- ・高性能林業機械の種類や特徴及び道内の導入台数
- ・ICTを活用した実習の内容
- ・海外の教育機関との連携を継続するための取組方法
- ・地域と連携した実習の進め方
- ・北森カレッジの運営に対する今後の取組

2 アキサケ資源対策について

- ・アキサケの来遊予測の公表の目的及び昨年の予測と実績
- ・本年の来遊予測と来遊予測に対する道の受け止め
- ・秋サケ資源対策協議会の取りまとめたアキサケ資源の減少要因と道の受け止め
- ・アキサケ資源の回復に向けた今後の取組

等について質疑、意見及び要望があり、水産林務部長、水産局長、林務局長、森林環境局長、森林計画担当局長、企画調整担当課長、水産経営課長、水産支援担当課長、水産食品担当課長、水産振興課長、サケマス・内水面担当課長、指導取締担当課長、林業木材課長、木材産業担当課長、林業振興担当課長、森林計画課長及び森林活用課長から答弁があって、総括質疑に保留された事項を除き、水産林務部所管に関する質疑を終結。

**③ 農政部所管に対する質疑に入り、**

**佐々木 大介委員（自民）から、**

1 北海道農業・農村振興推進計画について

- ・計画の位置づけ

- ・現在の第5期計画の概要とその推進状況
  - ・次期計画の策定手順及び今後のスケジュール
  - ・次期計画における目指す姿の位置づけと具体的な内容
  - ・本道農業の持続的発展を図るための今後の取組方針
- 2 農業農村整備事業について
- ・近年の本道への予算配分状況の推移
  - ・区画整理や暗渠排水等の整備状況
  - ・農業水利施設の老朽化への対応方針
  - ・パワーアップ事業に対する地域農業者等の評価や課題
  - ・対策や事業などの検証の位置づけ
  - ・予算の確保を含めた今後の取組方針
- 等について
- 小泉 真志委員（民主）から、**
- 1 持続可能な農業について
    - ・国が示す新たな飼養管理基準の当初案からの内容変更に対する放牧酪農家の受け止めと与える影響
    - ・本道における酪農の現状
    - ・放牧酪農の今後の推進方針
    - ・放牧酪農が広がらない要因に対する認識と今後の対応方針
    - ・放牧の推進における認証制度の活用に対する道の見解
    - ・新たな北海道農業・農村振興推進計画におけるアニマルウェルフェアの位置づけ及び普及定着に向けた道の所見
    - ・道のアニマルウェルフェア畜産認証制度の認証認知の状況と第4次北海道食育推進計画に本認証制度を追加すべきとの考えに対する道の所見
    - ・地域に根差した食農教育等の施策の創出に対する所見
- 等について
- 桐木 茂雄委員（自民）から、**
- 1 家畜伝染病防疫体制の強化について
    - ・今回の家畜伝染病予防法等の改正の概要
    - ・家畜伝染病予防法改正に伴う家畜所有者や飼養衛生管理者の責務の有無
    - ・強化が図られた飼養衛生管理の概要
    - ・飼料製造業者に対する対応内容
    - ・パブリックコメントで見直しが図られた改正飼養衛生管理基準の内容
- ・飼養衛生管理基準の改正における大臣指定地域の概要と指定された地域での対応内容
  - ・改正法施行までのスケジュールと道の取組
  - ・今後の道の取組方針
- 2 生乳の需給状況等について
- ・これまでの要因や影響並びに本道での対応状況
  - ・需給緩和が酪農経営に及ぼす影響
  - ・家庭用バターが不足している要因や影響及び対応状況
  - ・今後の需給見込みと道の対応方針
  - ・この春に懸念された生乳のオーバーフローに対する今後の影響の見通し
  - ・感染症による影響を踏まえた今後の本道酪農の持続的成長に向けた取組方針
- 3 食の安全・安心に関する施策の推進について
- ・北海道食の安全・安心条例の策定と基本計画策定の趣旨及び本定例会に提出された報告書の位置づけ
  - ・食の安全・安心の確保に向けた昨年の道の取組内容
  - ・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響に対する道の認識
  - ・道産農畜産物の生産体制の強化及び地産地消等の推進に向けた取組に対する道の考え方
  - ・食の北海道ブランドの確立に向けた今後の取組に対する所見
- 等について
- 武田 浩光委員（民主）から、**
- 1 パワーアップ事業について
    - ・現在実施されている事業の制度概要
    - ・本年度の事業費の規模及びこれまでの事業効果
    - ・事業継続要望など地域の声に対する受け止めと今後の取組方針
- 等について質疑、意見及び要望があり、農政部長、食の安全推進監、農政部次長、食の安全推進局長、生産振興局長、農村振興局長、政策調整担当課長、食品政策課長、畜産振興課長、環境飼料担当課長、家畜衛生担当課長、農村設計課長、指導管理担当課長及び農地整備課長から答弁があつて、議事進行の都合により散会。
- 6月29日（月） 開議 午後1時5分  
散会 午後5時41分  
第3委員会室  
第2分科委員長

① 農政部所管に対する質疑を続行し、  
佐藤 伸弥委員（結志）から、

1 新型コロナウイルスによる本道の和牛生産への影響について

- ・道内における和牛の飼養頭数の推移及び飼養形態
- ・牛肉の販売価格への影響とそれに対して講じられた支援策
- ・本道において多くを占める繁殖経営への影響とそれに対して講じられた支援策
- ・現在実施されている学校給食への道産牛肉の無償提供事業の取組状況及びその他の牛肉消費拡大に向けた取組状況
- ・実施を希望しない学校へ引き続き事業への参加を働きかけるべきとの考えに対する見解
- ・和牛の一大産地に向けた生産面や消費面での課題及び今後の道の取組方針

2 農村地域における情報通信基盤の整備について

- ・全国と本道及び道内の農村地域における超高速ブロードバンド基盤の整備率
- ・農村地域で超高速ブロードバンド基盤の整備が進まない理由
- ・農村地域の超高速ブロードバンド基盤の必要性
- ・国の令和2年度第2次補正予算で措置された高度無線環境整備推進事業の内容
- ・今後の整備促進に対する見解

等について

寺島 信寿委員（公明）から、

1 食の自給向上について

- ・供給熱量ベースの食料自給率における本道の位置づけとその向上に向けた道の取組内容
- ・本道における今後の稲作振興に向けた取組上の課題
- ・本道における畑作物の作付動向及び野菜の生産状況と今後の生産振興上の課題
- ・ICT技術を活用したスマート農業の推進に向けた道の取組方針
- ・本道酪農の現状と生産力向上に向けた課題並びに今後の方針
- ・現状と課題を踏まえた今後の和牛生産向上に向けた取組

- ・飼料自給率向上に向けた今後の取組
- ・コロナ禍における畜産物の需要確保に向けた取組と今後の消費拡大に向けた取組方策
- ・今後の地産地消の推進に向けた取組
- ・本年度中に策定予定の農業・農村振興推進計画での位置づけ

等について質疑、意見及び要望があり、農政部長、農政部次長、食の安全推進局長、農村振興局長、技術支援担当局長、農産振興課長、水田担当課長、園芸担当課長、畜産振興課長、環境飼料担当課長及び農村計画課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、農政部所管に関する質疑を終結。

② 経済部所管に対する質疑に入り、  
桐木 茂雄委員（自民）から、

1 新型コロナウイルス感染症に関する経済対策について

- ・プレミアムつき商品券発行支援事業における新北海道スタイルの具体的な内容
- ・新北海道スタイルの補助要件の明確化に向けた考え方
- ・プレミアムつき商品券事業の対象範囲を市町村のプレミアムつき商品券事業に限定する理由
- ・市町村独自のプレミアムつき商品券の検討状況
- ・市町村のプレミアムつき商品券事業の実施時期に応じた対応方法
- ・補助申請が多数の場合の取扱い
- ・予算額が不足した場合の対応及び追加支援に向けた認識
- ・プレミアムつき商品券の販売時期
- ・登録店との連携や運用方法
- ・消費喚起に向けた今後の取組
- ・新北海道スタイルの普及に係るPR予算の緊急性
- ・PRの手法の選定理由及び知事のテレビ出演理由
- ・広告代理店選定の考え方
- ・道外企業の選定理由
- ・今後の新北海道スタイルの普及に向けた取組
- ・今後の電波媒体の活用の考え方
- ・今後の知事の出演
- ・道産品消費喚起特別割引事業における支援制度の概要
- ・商品券のプレミアム率の格差の設定理由

- ・事業規模の妥当性の認識
  - ・多くの事業者がメリットを受けられるようするための今後の対応
  - ・中小企業総合振興資金に係る融資の利用状況
  - ・予算規模の妥当性及び不足の場合の対応方法
  - ・無利子融資制度創設の経緯
  - ・劣後ローンの拡大を含めた企業体質の向上に向けた考え方
  - ・休業要請に係る支援金の支給作業が滞った理由と対応方法の見直し
  - ・次の感染拡大期を想定した振興局の活用の検討
  - ・新型コロナウイルス感染症に対応した経済対策に対する経済界の評価
  - ・道内中小・小規模事業者の支援に向けた今後の対応
  - ・対策事業の検証に対する認識
- 2 観光政策について
- ・どうみん割の制度におけるO T Aの販売手数料の軽減
  - ・どうみん割の地域配分平準化の考え方
  - ・どうみん割の対象となる商品の範囲
  - ・どうみん割の事業効果の最大化に向けた今後の取組
  - ・感染症対策の注意喚起時におけるどうみん割の取扱い
  - ・外出抑制時におけるどうみん割の取扱い
  - ・感染症対策時におけるキャンセル料の取扱い
  - ・経済活動と感染症対策の道の考え方
  - ・教育旅行支援事業の狙い
  - ・修学旅行時の感染症対策
  - ・教育旅行の目指す姿
  - ・教育旅行の観光事業への経済効果を踏まえた次年度以降の取組に向けた考え方
- 等について
- 武田 浩光委員（民主）**から、
- 1 汚染水処理について
    - ・福島第一原発の汚染水の現状
    - ・トリチウムの海洋放出に対する道の認識
    - ・トリチウムに対する所見及びトリチウムを海洋放出した場合の危険性の認識
    - ・有機結合型トリチウムが体内へ取り込まれた場合の人体への影響に対する所見
    - ・海洋放出以外の処理方法に対する道の見解及び国への要望内容
  - 2 C O V I D-19の中間検証について
    - ・各施策における中間検証の実施に対する道の考え方
    - ・中間検証と検証結果の情報共有の必要性
    - ・各部連携した全庁的な点検及び整理の必要性に対する認識
  - 3 新北海道スタイルについて
    - ・名称を「新北海道スタイル」とした理由
    - ・効果的な普及方法の検討の必要性
    - ・新北海道スタイルの今後の展開
  - 4 どうみん割について
    - ・申請不備を把握するまでに時間を要した理由
    - ・1泊6,000円以上と認定額を設定した根拠
    - ・小規模事業者に対する支援の見解
  - 5 中小企業対策について
    - ・中小企業総合振興資金の直近の融資実績と利用方法の特徴
    - ・中小企業総合振興資金の利用実績を踏まえた予算の見込み
    - ・予算提案時期の考え方
  - 6 道内の消費喚起について
    - ・プレミアムつき商品券発行支援事業費の予算規模の考え方
    - ・商品券を発行済の市町村への対応
    - ・市町村間における新北海道スタイルの普及の取組の格差
    - ・新北海道スタイルの周知及び啓発の取組の主体
    - ・消費喚起を効果的に進めるためのどうみん割等施策間連携
- 滝口 直人委員（自民）**から、
- 1 道産ワインの振興について
    - ・ワインアカデミー受講内容と修了生のその後の活動及び今年度の取組内容
    - ・プロモーションの取組内容
    - ・ワイン産地の発展に向けた課題や問題意識を共有するための意見交換会の実施結果及びワイン産地の形成に向けた今後の取組
  - 2 産業振興政策について
    - ・ポストコロナ時代を見据えた企業誘致の在り方
    - ・企業のテレワークオフィス等活動拠点の誘致への対応
    - ・ポストコロナ時代を見据えた海外との経済交流の位置づけと今後の取組

- ・今後の産業振興政策等の対応

太田 憲之（自民）

等について

**佐藤 伸弥委員（結志）**から、

- 1 休業協力・感染リスク低減支援金等について
  - ・支給申請件数及び支給実績
  - ・提出書類が不備となる原因の分析
  - ・相談窓口の回線数の確保状況と書類不備の関係
  - ・支援金支給の条件となる事業者の感染防止策の取組状況
  - ・事業者の新北海道スタイルの取組の把握方法
  - ・休業・感染リスク低減支援金の従事職員数
  - ・通常業務への影響
  - ・支援金の早期支給に向けた考え方
  - ・次の波に備えた新型コロナウイルス感染症対策に向けた経済対策
- 2 中小企業に対する資金繰り支援等について
  - ・持続化給付金や雇用調整助成金及び家賃支援給付金の道内企業への支給状況
  - ・新型コロナウイルスによる道内の企業倒産の状況及び今後の対策
  - ・新型コロナウイルス感染症対応資金の月別及び金融機関別実績
  - ・金融機関における審査の実態
  - ・融資限度額の制度拡充に伴う利子補給費補助金や北海道信用保証協会保証料補助金への影響
  - ・融資先企業規模の内訳
  - ・融資枠の国準拠分と道特別分の増加割合の差異
  - ・北海道信用保証協会に対する保証申込み及び保証承諾の状況
  - ・コロナ後を見据えた今後の対応

等について質疑、意見及び要望があり、経済部長、観光振興監、食産業振興監、経済部次長兼経済企画局長、食関連産業室長、地域経済局長、産業振興局長、環境・エネルギー局長、国際経済室長、誘客担当局長、食関連産業室参事、経済企画課長、企画調整担当課長、観光局参事、中小企業課長、金融担当課長、地域商業担当課長、立地担当課長及びエネルギー政策担当課長から答弁があつて、議事進行の都合により散会。

○ 6月30日（火） 開議 午前10時8分  
閉会 午後4時  
第3委員会室  
第2分科委員長

- ① **経済部所管に対する質疑**を続行し、

**村木 中委員（自民）**から、

- 1 HOKKAIDO LOVE！プロジェクトについて
  - ・狙いと取組内容
  - ・実施決定までの経緯
  - ・類似プロジェクトの提案への対応方法と道が展開する観光戦略の中での位置づけ
  - ・道の負担も含めた資金計画の内容
  - ・現在の参加団体の状況と今後の見込み
  - ・今後の推進方法
- 2 北海道コロナ通知システムについて
  - ・企業登録実績とその対象企業数との割合及び事業者の登録状況に対する道の受け止め
  - ・施設利用者によるメールアドレス登録状況及びその対象者数との割合
  - ・登録状況の効果分析と効果測定指標の考え方
  - ・メールアドレス登録を増やすための取組
  - ・有効活用するための道の取組方針
  - ・国の通知システムの評価と利用促進に対する協力方法及び道のシステムとのすみ分けの考え方
  - ・セキュリティー確保の状況
  - ・安全性の確認方法
  - ・道と札幌市との資金面や組織運営面を含めた役割と責任分担の内容
  - ・保守管理の実施者とコスト
  - ・委託料の積算内訳と金額の妥当性
  - ・基本システムを開発し道に無償提供を申し出した道内IT企業に保守管理業務を委託することとした経緯と理由
  - ・実施に至る一連の経緯の認識と今後のシステム運用に対する考え方

等について

**寺島 信壽委員（公明）**から、

- 1 北海道経済の現状認識等について
  - ・本道経済の現状認識
  - ・観光需要の現状認識
- 2 中小企業の資金繰りに対する支援について
  - ・中小企業総合振興資金における保証料免除などの支援
  - ・北海道信用保証協会の保証実績と1件当たりの保証承諾額

- ・事業承継時の個人保証免除の考え方
  - ・事業撤退後の再挑戦を支援する保証に対する考え方
  - ・今後の取組
- 3 外国人材について
- ・外国人材の現状
  - ・外国人技能実習生の現状
  - ・新型コロナウイルス感染症による外国人材への影響
  - ・影響を受けている外国人材に対する対応
  - ・今後の取組
- 4 新型コロナウイルス感染症の影響に対する今後の経済対策について
- ・ふっこう割と比較した際のどうみん割の工夫内容とその理由
  - ・どうみん割とG o T o キャンペーンとのすみ分け
  - ・教育旅行の現状と今後の見通し
  - ・教育旅行支援事業における需要の取り込みに向けた考え方
  - ・プレミアムつき商品券発行支援事業の活用
  - ・道産品消費喚起特別割引事業の具体策
  - ・これまでの企業誘致の取組と企業立地件数の推移
  - ・サテライトオフィスの誘致に向けた見解
  - ・生産拠点の誘致に向けた見解
  - ・コロナ後を見据えた地域と連携した経済対策の今後の取組
- 等について
- 新沼 透委員（結志）から、**
- 「新北海道スタイル」と消費喚起について
    - ・プレミアムつき商品券の使える店舗を新北海道スタイルの実践に取り組む店舗に限定する考え方とプレミアムつき商品券発行支援事業の販売目標額の設定根拠
    - ・プレミアムつき商品券事業を実施している市町村数と今後実施を予定している市町村数及び既実施市町村が再度支援を受ける場合に不公平が生ずることへの考え方
    - ・教育旅行支援事業の提案時期の考え方や支援対象
    - ・道産品消費喚起特別割引事業における受託業者の選定方法と委託予定額や出店事業者の感染防止策
    - ・新北海道スタイルと商店街のにぎわいの関連性と商店街域内消費喚起事業による消費回復効果の見込み
  - サプライチェーン国内回帰促進事業における意向調査実施対象企業と海外渡航禁止地域等への訪問時期や実施の可能性
  - 新北海道スタイルの普及と本道の消費回復効果
- 2 エネルギー問題について
- ・出光興産北海道製油所の定期補修工事における千歳市内の宿泊キャンセルを要請した法的根拠と要請に至る経過や今後の対処方法
  - ・北本連系の増強見通し
  - ・V P P やD R の早期活用への取組
  - ・次期環境産業振興戦略の策定内容
  - ・次期行動計画の実効性の確保
- 等について質疑、意見及び要望があり、経済部長、観光振興監、経済部次長、地域経済局長、産業振興局長、環境・エネルギー局长、産業人材担当局長兼経済企画局次長、食関連産業室参事、経済調査担当課長、企画調整担当課長、観光局参事、金融担当課長、地域商業担当課長、立地担当課長、環境・エネルギー課長、エネルギー政策担当課長、新エネルギー担当課長及び産業人材課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、経済部所管に関する質疑を終結。
- ② 教育委員会所管に対する質疑に入り、桐木 茂雄委員（自民）から、**
- 学校教育活動における子どもの学びの保障について
    - ・学校再開後の教育活動の状況と課題
    - ・人的体制の強化に向けた取組への考え方
    - ・授業時数の確保に向けた取組内容
    - ・授業改善などの取組に対する支援方策
    - ・保健衛生用品の調達方法及び調達状況
    - ・学校内におけるマスクの使用方法と熱中症対策
    - ・手洗いの実施状況の認識
    - ・手回しの蛇口の改善を検討する必要があるとの考え方に対する見解
    - ・特別支援学校のスクールバスの乗車率と過密状態を回避するための対策
    - ・普通教室のエアコンの整備状況と今後の整備の考え方
    - ・学校の新しい生活様式の定着に向けた今後の取組及び再び臨時休業となった場合の対応方針

## 2 教育環境変化の対応について

- ・ I C T 教育環境の整備状況と今後のスケジュール
- ・ 出席日数の緩和や欠席扱いにしない取組
- ・ 教員のストレスへの対応策
- ・ 来年度以降の小中学校の修学旅行の学習先は道内にすべきとの考え方に対する所見

等について

### 小泉 真志委員（民主）から、

#### 1 「学びの保障」について

- ・ フッ化物洗口を中止すべきとの考え方に対する所見
- ・ フッ化物の希釀を学校職員が行うことにリスクがあるとの考え方に対する所見
- ・ 専門家でない学校職員がフッ化物の希釀を行うことに対する所見
- ・ 標準授業時間数を形式的に確保するものではないことについての認識
- ・ 教育課程編成を各学校が行うことについての認識
- ・ 各市町村や学校の判断で全国学力・学習状況調査の問題冊子等を使用することについての認識と周知方法
- ・ 可能な範囲で体力テストを実施することとした考え方
- ・ 水泳の実技を計画どおり実施できない場合の授業時数の考え方
- ・ 学習活動の重点化の考え方
- ・ 指導主事が学習の重点化の事例を提起すべきとの考え方に対する所見
- ・ 学校行事が削られて無機質な学校になっているのではないかとの懸念に対する所見
- ・ 学習指導員やスクールサポートスタッフの配置までのスケジュールや配置人数並びに配置基準等
- ・ 学習指導員及びスクールサポートスタッフを全学校に配置することとした考え方
- ・ 人的配置のされない学校に対する支援に向けた考え方
- ・ 退職教員等を利用した教員の追加配置に対する考え方
- ・ 道内の少人数編成にすべき学級数についての認識
- ・ 欠員の解消に向けた対応
- ・ オンライン学習を行う上で課題及び解決方

## 策

- ・ 端末調達の見通し
- ・ 端末を共同調達しなかった理由
- ・ 回線環境が悪い地域への対応方策
- ・ 冬休み前にオンライン授業を実施し第3波に備えておくべきとの考え方に対する所見
- ・ 高校入試の出題範囲を早急に示すべきとの考え方に対する所見

- ・ 道経済連などに求人を維持するよう要請すべきとの考え方に対する所見

- ・ 令和2年度入学者選抜における2次募集後に学級減となった高校から少人数学級とすべきとの考え方に対する所見

#### 2 教員不足の問題について

- ・ 再任用をされていない60歳以上の期限付教諭の任用が必要との考え方に対する所見

#### 3 働き方改革について

- ・ 変形労働時間制導入の議論の考え方
- ・ 休憩時間に行った業務時間及び持ち帰り業務時間の把握方法
- ・ 持ち帰り業務実態の把握方法
- ・ 業務の削減と平準化が難しい現実があるとの考え方に対する所見
- ・ 在宅勤務制度の活用促進に対する所見

#### 4 道立青少年体験活動支援施設について

- ・ 道内学校における農山漁村での自然体験の実施状況及び意義
- ・ ネイパルの施設整備等における課題
- ・ ネイパルの中央監視装置の更新等に対する所見

等について

### 佐々木 大介委員（自民）から、

#### 1 I C T 活用の環境整備について

- ・ G I G A スクール構想における市町村の取組状況
- ・ 端末の調達に支障を来たすことへの危惧に対する受け止めと整備方針
- ・ 市町村への支援状況と今後の支援
- ・ I C T 環境整備財源に対する受け止めと対応方針
- ・ 国における高等学校の I C T 環境整備の考え方と道教委の受け止め
- ・ 高校生の1人1台端末整備に対する教育長の所見

#### 2 幼児教育の推進について

- ・休園期間中の幼児教育の支援状況
  - ・幼児教育推進センターの取組状況と情報提供方法
  - ・再開に当たっての感染防止の取組と留意事項及び課題
  - ・道教委が実施する研修等の状況
  - ・研修等の充実に向けた取組方針
  - ・センター機能の充実に向けた今後の取組
- 3 1日防災学校について
- ・道教委が事業を主体的に実施することとなつた経緯
  - ・道との役割分担の考え方
  - ・これまでの開催実績及び今後の取組方針とスケジュール
  - ・今後の防災教育の推進に向けた取組方針

等について

#### **新沼 透委員（結志）から、**

- 1 学習環境の整備について
  - ・オンライン学習における具体的な支援内容
  - ・道内小中学校におけるオンライン授業の実施状況
  - ・光ファイバー網の早期整備を行うべきとの考え方に対する道教委の所見
  - ・成績評価における道教委の見解
- 2 教員の働き方改革について
  - ・学校における働き方改革実現本部等における具体的な取組内容
  - ・勤務時間を客観的に把握し集計するシステムの進捗状況と市町村教育委員会の取組状況
  - ・教職員の時間外勤務等の努力目標を達成できなかつた原因と今後の取組強化の内容

等について質疑、意見及び要望があり、教育長、教育部長、学校教育監、総務政策局長兼幼児教育推進局長、学校教育局長、指導担当局長兼ICT教育推進局長、教職員局長、総務課長、教育政策課長、幼児教育推進センター長、高校教育課長兼ICT教育推進課長、配置・制度担当課長、義務教育課長、特別支援教育課長、教育環境支援課長、健康・体育課長、生徒指導・学校安全課長、教職員課長及び働き方改革担当課長から答弁があつて、教育委員会所管に関する質疑を終結。

#### **予算特別委員会**

○7月1日（水） 開議 午前10時5分

散会 午後5時1分  
第1委員会室  
委員長 田中 芳憲（自民）

- ① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。
- ② 議事進行の都合により休憩に入り、再開後、総括質疑については7月2日（木）に行うことになった。

○7月2日（木） 開議 午前10時20分  
閉会 午後8時27分  
第1委員会室  
委員長 田中 芳憲（自民）

- ① 各分科会において保留された事項について、  
**知事に対する総括質疑**に入り、  
**笠井 龍司委員（自民）**から、
  - 1 感染症拡大を踏まえた取組について
    - ・知事が考える政治決断及び道政上の位置づけに係る所見
    - ・知事の政治決断の結果責任に係る所見
    - ・重要な政策決定過程の正確な記録と保管が実施されていなかつたことに係る認識
    - ・PCR検査の現状認識及びPCR検査体制の充実に係る所見
    - ・感染症危機管理体制の充実強化に向けた体制再構築に係る所見
    - ・保健所機能の充実に向けた市町村との連携強化に係る所見
    - ・医療機関情報の公開に關し、現状の感染症対応への受け止め及び今後の対応に係る見解
    - ・医療体制の着実な整備及び医療機関の経営改善に向けた取組
    - ・クラスター対策の徹底に向けた見解
  - 2 感染拡大を踏まえた取組の検証について
    - ・「国の動向を見極める」ことの具体的な内容
    - ・「道における収束状況」の具体的な状況
    - ・保健所業務全般の検証及び業務委託の促進に係る見解
    - ・導入を急いだ道のコロナ通知システムの検証及び早急なシステム改良に係る所見
    - ・利用者側の視点にも配慮した介護施設等の取組の検証に係る所見
  - 3 教育長等への知事の要請について

- ・学校の休業要請を教育長等へ行った判断に係る認識
- 4 新型コロナウイルス感染症に関する経済対策について
- ・これまで実施してきた経済対策に関する評価に係る認識
  - ・中小企業総合振興資金の更なる増額等、今後の対応に係る所見
  - ・プレミアム付商品券発行支援事業における補助要件緩和の検討に係る見解
  - ・プレミアム付商品券発行支援事業の事業予算に係る見解
  - ・道産品消費喚起特別割引事業の拡充等、食品関連企業支援に向けた積極的な取組に係る見解
  - ・休業要請に伴う支援金の早期支給に係る所見
- 5 北海道コロナ通知システムについて
- ・利用促進に向けた取組に係る所見
  - ・国の接触確認アプリとの併用効果の道民への説明
  - ・システムのセキュリティの検証に係る所見
- 6 産業振興政策について
- ・ポストコロナ時代の企業誘致の取組に係る見解
  - ・新たな雇用機会の創出に向けた支援制度の創設に係る所見
  - ・ポストコロナ時代を見据え、産業政策の在り方を根本から見直すことに係る見解
- 7 北海道Society5.0構想の取組について
- ・相談対応機能の整備に係る見解
  - ・道のテレビ会議システムの見直しに係る見解
  - ・高速通信基盤の整備に係る所見
- 8 Smart道庁の取組について
- ・行政の電子化の進め方に係る所見
  - ・道におけるテレワーク環境の早急な整備に係る見解
  - ・今後のSmart道庁の取組の推進に係る所見
- 9 北海道農業・農村振興推進計画について
- ・本道農業・農村の将来像を示す新たな計画策定の考え方
  - ・来年度以降のパワーアップ事業の在り方及び生産基盤整備への取組に係る所見
- 10 北の森づくり専門学院の運営について
- ・期待に応え得る人材の育成・確保に向けた今後の取組
- 11 観光政策等について
- ・どうみん割制度を地域の観光産業の実態に即して、柔軟に運用することに係る所見
  - ・どうみん割の予算積算の考え方
  - ・どうみん割の予算の拡充に係る見解
  - ・保護者の懸念に対応した教育旅行における感染症対策に係る所見
  - ・「HOKKAIDO LOVE！」プロジェクトの取り進め方に係る所見
  - ・路線及び経営維持に向けた交通事業者に対する持続的支援に係る見解
  - ・知事の責任と対策の検証に係る所見
  - ・検証に参加する外部有識者の役割等に係る見解
- 等について
- 池端 英昭委員（民主）**から、
- 1 緊急対策第4弾について
    - ・新型コロナ緊急対策の緊急性の判断基準
    - ・新型コロナ緊急対策第3弾及び第4弾の対策の考え方の違いに係る所見
    - ・一般質問最終日の追加提案と議会との信頼関係を損なわないタイミングでの提案に係る認識
    - ・今後の対応に關し、「十分な議論ができる適切な対応」に係る所見
    - ・専決処分に対する認識
  - 2 財政運営について
    - ・コロナ禍が財政運営に及ぼす影響及び今後の取組に係る所見
    - ・市町村財政への影響及び市町村の取組の検証と道の施策への反映に係る所見
  - 3 新北海道スタイルについて
    - ・新北海道スタイルの普及目的、具体的な取組分野及び推進協議会のメンバーに係る所見
    - ・知事自身のテレビCM出演による普及啓発の必要性及び事業の成果に係る見解
    - ・あらゆる分野の施策間連携による新北海道スタイルの普及啓発に係る所見
  - 4 新型コロナウイルス感染症対策の中間検証について
    - ・早期の中間検証実施に係る所見及び検証のスケジュール
    - ・会議録作成の状況、代表格質問の答弁との整

- 合性及び公文書管理に係る所見
  - ・検証体制構築に係る所見
  - 5 中小企業対策について
    - ・これまでの資金需要の見込み及び今後更なる資金需要が生じた場合の対応に係る所見
  - 6 どうみん割について
    - ・現在の進捗状況及び今後の改善点に係る所見
    - ・今の状況を勘案した柔軟な対応に係る見解
    - ・プレミアム付商品券発行支援事業による支援を柔軟に行うことへの見解
    - ・プレミアム付商品券発行支援事業の予算積算の基本的考え方
    - ・どうみん割及びプレミアム付商品券などを利用する道民へのPRに係る所見
  - 7 地域交通について
    - ・地域周遊事業の執行に当たって、エリア設定の弹力的な運用などに係る所見
    - ・地域交通の維持存続に向けたの打開策
  - 8 「エールを北の医療へ！」による寄附を活用した取組について
    - ・カタログギフトに重点を置いた手法に係る所見
    - ・寄附者が積極的に寄附したいと思う事業や使い方の戦略的な構築に向けた今後の対応に係る所見
- 等について

**赤根 広介委員（結志）から、**

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
  - ・小樽市の状況の把握及び市が独自の休業要請を実施することに対する見解
  - ・警戒ステージの見直し、後ろ盾となる条例の策定及び小樽市との連名による対応
  - ・札幌市との共同による検証の実施に係る所見
  - ・議事録未作成を受けた改善に向けた取組及び説明責任に係る所見
  - ・過去に遡って詳細な記録を作成することに係る認識
  - ・専門家会議の役割の明確化を含めた「見える化」に向けた取組
  - ・保育士等への支援及び道独自の取組に係る所見
  - ・感染拡大の局面を見据えた検査体制の充実に向けた取組
  - ・オール北海道で立ち向かう体制構築に係る所見

- ・休業協力・感染リスク低減支援金の早期支給に向けた取組
  - ・中小企業に対する資金繰り支援等の追加補正予算に、本道の活性化につながる施策が生産拠点の誘致に要する事業しか組み込まれていないことに係る見解
  - ・「新北海道スタイル」の定着に向けた業態変化等の取組に対する財政的支援に係る所見
  - ・道政の推進にあたり、今定例会における道議会への説明及び真摯に議会と向き合い取り組むことに係る所見
  - 2 防災について
    - ・大規模自然災害と感染症拡大が同時に起こり得る事態への対応に係る所見
  - 3 光ファイバー網の整備について
    - ・整備促進への取組に係る所見
  - 4 交通政策について
    - ・地域交通確保のための支援を行うために必要な枠組みに係る見解
  - 5 エネルギー問題について
    - ・出光興産北海道製油所の定期補修工事における千歳市の宿泊キャンセルに関し、行政指導としての任意の協力要請の法的根拠に係る見解
    - ・本部会議での企業に対する要請の報告に係る所見
    - ・宿泊場所変更要請に伴う十分な補償等の要望に係る対応及び文書での回答に係る所見
    - ・ホテル及び千歳市への誠意ある対応に係る所見
  - 6 スポーツ政策について
    - ・代替大会等の早期開催に向けた道の積極的な取組に係る所見
- 等について

**小岩 均委員（民主）から、**

- 1 新型コロナウイルス感染症病床確保対策について
  - ・万全な医療体制の整備に係る見解
- 2 社会福祉施設における新型コロナウイルス感染症対策について
  - ・厳しい経営難に陥った社会福祉施設への支援に係る所見
  - ・利用再開に向けた環境整備に係る見解
- 3 道の在宅勤務に係る労務管理等について
  - ・在宅勤務に係る事故防止及び危機管理に係る

## 見解

- ・事務事業に見合った計画的な職員採用と配置に係る見解
- 4 コロナ禍における外国人支援について
- ・コロナ禍で大変な思いをしている外国人に対する現状認識
  - ・留学生等へのきめ細やかな対応に係る所見
  - ・外国人に北海道を訪れていただく、北海道に住んでいただくための取組及び所見
- 5 新型コロナウイルス感染症による漁業への影響について
- ・新型コロナウイルス感染症に伴う影響に係る現状認識
  - ・苦境を乗り越えるための今後の対策
  - ・漁業経営安定に向けた対応
- 6 持続可能な農業について
- ・生産基盤整備促進の効果に係る認識
  - ・パワーアップ事業への農業関係者の期待及び成果に係る認識
  - ・食農教育及び食漁教育の推進に係る所見
  - ・知事自身による農水産業PRに係る所見
- 7 新たな過疎法に関する影響と対応について
- ・現行過疎法に対する認識
  - ・都市部と山農地が一体となった合併市町村の価値や役割に係る認識及び一部過疎に対する過疎法の役割に係る見解
  - ・市町村と連携した過疎地域振興対策の推進に係る所見及び一部過疎の見直しに対する所見
- 8 税の収納対策について
- ・収入減などの影響を受ける納税者増に対する道としての収納対策
- 9 人権施策について
- ・差別等への対応に係る所見
  - ・札医大のGIDクリニック新患受付中止問題に係る見解及び受診できない方々への対応に係る所見
  - ・LGBTの方々への施策に係る所見

等について

## 阿知良 寛美委員（公明）から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
- ・医療機関の対応に係る見解
  - ・医療機関への要請の決定プロセスと判断根拠及び要請時期と要請の行い方
  - ・札幌市との連携
  - ・医療機関の経営実態の把握

- ・医療機関における対応に要する費用負担に係る所見
  - ・包括支援交付金等の支援対象とならない医療機関に対する支援
  - ・医療機関支援に向けた予算確保に係る見解
  - ・今後の病床確保計画策定の進め方及び計画策定の考え方
  - ・社会福祉施設等でのクラスター発生を踏まえた再発防止対策に係る今後の具体的な取組
  - ・北海道版CDCの設置に係る見解
  - ・総合的な対策の検証に向けた外部の専門家から成る検証委員会の設置に係る見解
  - ・道が新たに設置する有識者会議の役割や開催方法
- 2 中小企業の資金繰りに対する支援について
- ・中小企業総合振興資金の新型コロナウイルス感染症対応資金の融資枠に係る所見
  - ・円滑な資金供給に係る所見
  - ・再挑戦の環境整備に向けた取組
- 3 ウポポイについて
- ・国内外へのウポポイの魅力発信に係る見解
- 4 北の森づくり専門学院の取組について
- ・フィンランドとの交流による教育プログラムの充実に係る所見
  - ・道内外からの入学者確保に係る所見
- 5 多文化共生社会の実現について
- ・外国人材をめぐる課題の解決及び多文化共生社会の実現に向けた取組に係る見解

等について

## 宮川 潤委員（共産）から、

- 1 医療機関支援について
- ・道内医療機関の厳しい状況に係る認識
  - ・新型コロナウイルス感染患者を受け入れている医療機関に対する支援強化に係る所見
  - ・道内医療機関を存続させる立場での支援強化に係る表明
  - ・医療機関への道独自の支援に係る決意
- 2 地域医療構想について
- ・道内54医療機関の統廃合に関して、道内各地から出された意見書に係る見解
  - ・コロナ禍における公的医療機関の役割の重さに係る見解
  - ・感染症病床の確保と配置の検討に係る所見
- 3 地球温暖化対策について
- ・次期計画策定に向けた北海道地球温暖化対策

- 推進計画の総括、評価の実施に係る所見
- ・温室効果ガス排出量増加に係る評価
  - ・温室効果ガス排出削減の取組強化に係る所見
- 4 新型コロナウイルス感染症に関する緊急対策について
- ・道内の感染状況や社会経済への影響に係る現状認識
  - ・道独自の取組の強化及び抜本的な財源捻出の検討に係る見解
- 5 地方交通について
- ・バス運転手確保に係る認識
  - ・バス運転手確保事業に対するバス事業者からの要望
  - ・北海道乗合バス活性化戦略会議における議論に係る認識
  - ・バス運転手確保事業の見直しに係る所見
  - ・地方路線存続に係る認識
  - ・北海道新幹線の赤字拡大が地方路線存続に及ぼす影響に係る所見
  - ・北海道新幹線の赤字解消に向けた国への要望に係る所見
- 等について質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があつて、総括質疑を終結。
- ② 付託議案に対する意見調整は、理事会で行うことを決定。
- ③ 理事会において付託議案に対する意見調整の結果、報告第1号については、意見の一一致をみるに至らなかつた旨の報告の後、報告第1号を問題とし、宮川潤委員（共産）から反対討論の後、採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもつて原案のとおり可決することを決定。
- 次に、議案第2号、第3号及び第22号を問題とし、原案のとおり可決することを諮り、いずれも異議なく決定。
- ④ 太田憲之委員（自民）から、附帯意見を委員長報告に挿入されたい旨の動議があり、これを諮って動議成立。本動議を直ちに議題とし、動議のとおり決することを諮り、異議なく決定。
- ⑤ 付託議案に対する委員長報告については、委員長に一任することを決定。
- ⑥ 委員長から、付託案件に対する審査の終了に当たり、挨拶があつて閉会。

## 附 帯 意 見

1. 新型コロナウイルス感染症に関し、道がこれ

まで行ってきた様々な措置・施策について、知事の判断も含め早急に検証を行い、今後の判断や対策に生かしていくべきである。併せて、検証に不可欠な記録が確実に保存されるよう適切に管理すべきである。

1. 新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中、次の感染拡大を想定し対応力強化に万全を期する必要がある。このため、減収となっている医療機関への支援、日夜検査・治療の最前線で奮闘している医療従事者をはじめ、感染症対策に関わる全ての方々の待遇改善を図ることはもとより、検査体制や医療体制の充実、医療備品の確保、感染リスク低減に向けた取組など、山積する課題の解決にしっかりと取り組むべきである。
1. 新型コロナウイルス感染症は、食や観光が基幹産業となっている北海道に極めて深刻な経済的ダメージをもたらしているが、道による経済政策については、必ずしも十分とは言えず、さらに道民の切実な声に耳を傾け、スピード感を持って対応すべきである。  
道は、本道経済を一日も早く回復させるため、休業協力・感染リスク低減支援金等の早期支給はもとより、どうみん割や中小企業振興資金など中小企業に対する支援策のさらなる充実・強化を図るなど、政策を総動員して取り組むことと、今後、対策をより効果的に推進するため、各市町村や経済界の声に真摯に耳を傾け、振興局、各市町村、経済界としっかりと連携し、オール北海道で取り組むべきである。
1. 全国で最も長く休校が続いた北海道において、子どもたちの学習の遅れが大変に危惧されている。子どもの負担に配慮しながら長期休業の短縮や土曜日を活用し、授業時数を確保するなど、学習の遅れを取り戻すための様々な取組を進めるとともに、子どもたち一人一人が、安心して学び続けられるよう、「学校における新しい生活様式」の定着、ICT環境の整備に全力で取り組むべきである。

**資 料**

**第2回定例会において議決を経た条例の公布調**

<b>件 名</b>	<b>議決年月日</b>	<b>公布年月日</b>	<b>公 布 番 号</b>
北海道議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	R2. 6. 16	R2. 6. 23	北海道条例第69号
北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	R2. 7. 3	R2. 7. 14	北海道条例第70号
北海道税条例等の一部を改正する条例	R2. 7. 3	R2. 7. 14	北海道条例第71号
特定地域等における道税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例	R2. 7. 3	R2. 7. 14	北海道条例第72号
北海道総合政策部の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例	R2. 7. 3	R2. 7. 14	北海道条例第73号
北海道立児童福祉施設条例の一部を改正する条例	R2. 7. 3	R2. 7. 14	北海道条例第74号
北海道安心こども基金条例の一部を改正する条例	R2. 7. 3	R2. 7. 14	北海道条例第75号
北海道農政部手数料条例の一部を改正する条例	R2. 7. 3	R2. 7. 14	北海道条例第76号
国営土地改良事業負担金等徴収条例の一部を改正する条例	R2. 7. 3	R2. 7. 14	北海道条例第77号
租税特別措置法施行令の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例	R2. 7. 3	R2. 7. 14	北海道条例第78号
北海道建築基準法施行条例の一部を改正する条例	R2. 7. 3	R2. 7. 14	北海道条例第79号
北海道地方警察職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	R2. 7. 3	R2. 7. 14	北海道条例第80号
北海道花きの振興に関する条例	R2. 7. 3	R2. 7. 14	北海道条例第81号

## 5月の出来事

- 4日 ○新型コロナウイルス感染拡大を受けた緊急事態宣言について、政府は全都道府県を対象に6日の期限を5月31日まで延長すると決めた。安倍晋三首相は14日をめどに改めて専門家会議の評価を受け、一部地域の期限前の解除を検討すると表明。
- 5日 ○札幌市教委は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、市立小中高校などに10日までとしていた一斉休校を31日まで延長するよう通知した。
- 7日 ○厚生労働省は、新型コロナウイルス感染症の国内初の治療薬として、米製薬会社が開発した「レムデシビル」を特例承認した。申請の3日後という異例のスピード承認。
- 8日 ○米国の4月の失業率は14.7%で、3月の4.4%から急上昇した。新型コロナウイルスの感染拡大による人員削減が響き、比較可能な統計を取り始めた1948年以降、最悪となった。
- 10日 ○道は、新型コロナウイルス特措法に基づく知事の権限で、休業要請に応じないパチンコ店6店の店名を道のホームページで公表した。道が特措法に基づき施設名を公表したのは初めて。
- 13日 ○新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、4月の新千歳空港の国際線の出入国者数はゼロだった。月間の出入国者数がゼロになるのは初めて。
- 13日 ○原子力規制委員会は、北電が泊原発（後志管内泊村）から大気中に放出している放射性物質の量を31年間にわたり実際より半分少なく報告していた問題について、原発の運用ルールを定めた保安規定に違反すると判断した。
- 14日 ○政府は、緊急事態宣言を39県で解除した。13の特定警戒都道府県のうち、茨城、石川、岐阜、愛知、福岡の5県と、特定警戒以外の34県。北海道や東京など8都道府県は特定警戒都道府県にとどめ、21日をめどに専門家の評価を聞いて解除するか判断する。
- 15日 ○鈴木直道知事は、北海道が引き続き国の緊急事態宣言の対象地域となったことを受け、事業者に追加で支給する支援金など48億6千万円を盛り込んだ本年度一般会計補正予算案を専決処分した。
- 20日 ○日本高野連は新型コロナウイルスの影響を受け、8月10日から予定していた夏の甲子園大会と出場権を懸けた地方大会の中止を決めた。夏の大会の中止は3度目で戦後初、選抜大会と春夏連続での中止は戦争での中断を除き史上初めて。
- 20日 ○国際オリンピック委員会（IOC）のバッハ会長は英BBC放送で、新型コロナウイルスの影響で延期となった東京五輪が2021年に開催されなかった場合、中止となる見通しを認めた。
- 25日 ○道は、新型コロナウイルス特措法などに基づく、事業者に対する休業などの要請を大幅に緩和した。31日まで一部業種への休業要請、外出自粛や札幌との往来自粛の要請を続ける。
- 25日 ○政府は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、北海道と東京、神奈川、埼玉、千葉の4都県で継続していた緊急事態宣言を解除した。北海道や4都県との間の移動は、6月19日から認める方針。
- 29日 ○パートら非正規労働者への厚生年金の加入拡大などを柱とした年金制度改革関連法が参院本会議で可決、成立した。
- 29日 ○トランプ米大統領は、香港の自治を搖るがす国家安全法制の導入を決めた中国への対抗措置として、米国が香港に認めてきた優遇措置の廃止手続きに入ると表明した。「中国寄り」と批判してきた世界保健機関（WHO）についても「関係を断絶する」と述べ、脱退を宣言した。

## 6月の出来事

- 1日 ○道は、新型コロナウイルス対策として一部業種で継続してきた休業要請を全面解除した。営業する事業者に対し、感染予防対策に取り組む「新北海道スタイル」の実践を求める。
- 1日 ○来春卒業予定の大学生らへの筆記試験や採用面接が解禁され、新型コロナウイルス感染防止で主要企業の多くは面接をオンライン形式で実施。就活が様変わり。
- 4日 ○将棋の藤井聰太七段（17）が、第91期棋聖戦の挑戦者決定戦で勝ち、30年ぶりに最年少タイトル挑戦の記録を更新した。
- 5日 ○インターネット上に無断で掲載された海賊版と知りつつ、漫画などをダウンロードする行為を違法とする改正著作権法が成立した。
- 8日 ○JR北海道は、2019年度の線区別収支を発表した。公表を始めた2014年度から6年連続で全線区で赤字となり、営業損益は過去最大の551億8,300万円の赤字を計上した。
- 10日 ○国際オリンピック委員会（IOC）は、来夏に1年延期となった東京五輪を巡り、IOCと大会組織委員会がコスト削減と感染予防の観点から、大会運営の簡素化を進める方針で一致した。
- 10日 ○日本高野連は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった今春の選抜高校野球大会に出場予定だった32校を、8月に甲子園球場に招待して交流試合を行うと発表した。
- 15日 ○道教委は、2019年度に道内の公立小中高校などを対象に実施した教職員勤務実態調査の結果を公表した。勤務時間で中学校の教職員の約4割が、国が示す「過労死ライン」の週60時間以上の勤務をしていた。
- 16日 ○さっぽろ雪まつり実行委員会は、来年1～2月に札幌市内で開催予定のさっぽろ雪まつりについて、大雪像の製作を中止するなど規模を縮小して開く方針を固めた。
- 17日 ○札幌市は、市内のバー（北区新琴似）で日中のカラオケ「昼カラ」を楽しんでいた客と従業員の計5人が新型コロナウイルスに感染し、クラスター（感染者集団）と認定した。昼カラ関連のクラスターは道内3例目。
- 19日 ○新型コロナウイルスの感染拡大防止のため政府が呼び掛けた都道府県をまたいでの人の移動が、全国で原則解禁された。首都圏4都県および北海道と他府県の間の移動に制限がなくなった。
- 21日 ○北海道アイヌ協会は、札幌市内で総会を開き、任期満了による加藤忠理事長の退任に伴い、7代目の新理事長に新ひだかアイヌ協会会长の大川勝氏（75）を選出した。理事長の交代は2004年以来、16年ぶり。
- 30日 ○妨害目的で車線変更したり、急ブレーキをかけるなどの「あおり運転」の罰則を新たに定めた改正道交法が施行された。事故を起こさなくとも、違反すると、3年以下の懲役か50万円以下の罰金が科され、違反1回で免許取り消しとなる。
- 30日 ○中国の全国人民代表大会（全人代）常務委員会は、香港の統制強化を目的とした「香港国家安全維持法」を可決、成立した。反政府デモなどを封じめるのが狙いで、香港政府は即日、公布、施行した。
- 30日 ○ふるさと納税の新制度から大阪府泉佐野市を除外した総務省の決定は違法だとして、市が取り消しを求めた訴訟の上告審判決で、最高裁は、除外決定を違法として取り消した。

## 7月の出来事

- 1日 ○国税庁は2020年1月1日時点の路線価を発表した。道内約1万5,400地点の標準宅地(継続地点)の平均は前年比で3.7%上がり、5年連続上昇。後志管内倶知安町山田では上昇率50.0%と、6年連続で全国一となった。
- 2日 ○ロシアでプーチン大統領の5選出馬を可能にする憲法改正案の是非を問う国民投票が行われ、8割近い支持を得て成立が決まった。プーチン氏は最長で83歳になる2036年まで大統領を続投する選択肢を確保した。改正憲法には「領土の割譲禁止」条項が盛り込まれており、日ロの北方領土交渉への影響は避けられない情勢。
- 4日 ○梅雨前線停滞により熊本県南部を中心に九州全域で猛烈な雨が降り、球磨川など多数の河川が氾濫した。死者は71人(16日現在)となった。
- 5日 ○任期満了に伴う東京都知事選の投開票が行われ、無所属現職の小池百合子氏(67)が再選を果たした。得票は前回を上回る330万票超の圧勝。
- 7日 ○トランプ米政権は、世界保健機関(WHO)から来年7月6日付で脱退すると国連に正式に通告した。新型コロナウイルスを巡る対応が中国寄りだと主張し、脱退すると宣言していた。
- 9日 ○旭川医大病院が昨年までの数年間、検査報告書の確認不足などで、がん患者を含む男女8人の診断が遅れ、このうち3人が死亡していたことが分かった。
- 10日 ○道教委は来春の道内公立高入試で、出題範囲を例年より縮小すると発表した。国語、数学、社会、理科、英語の5教科全てで、例年であれば中学3年の10月末までに学ぶ内容に限定する。新型コロナウイルス感染拡大に伴う休校で、学習の遅れが生じていることに対応した。
- 12日 ○政府がアイヌ文化復興の拠点として、胆振管内白老町に整備した「民族共生象徴空間(ウポポイ)」が開業した。北日本初の国立博物館となる国立アイヌ民族博物館で、アイヌの言葉や精神世界、歴史、暮らしなどを常設展示で紹介する。
- 15日 ○第163回芥川賞・直木賞の選考会が開かれ、直木賞に5年ぶり7回目の候補となつた日高管内浦河町出身の馳星周(はせいしゅう)さん(55)の「少年と犬」(文芸春秋)が選ばれた。
- 16日 ○赤羽一嘉国土交通相は、観光支援事業「Go To トラベル」の割引対象から、東京都発着の旅行を除外すると表明した。東京都は新型コロナウイルス感染が再拡大しているため、運用を見直し、22日から開始する。
- 16日 ○将棋の藤井聰太七段(17)が第91期棋聖戦5番勝負の第4局で渡辺明棋聖(36)を破り、最年少の17歳11カ月でタイトルを獲得した。1990年に屋敷伸之九段が作った18歳6カ月を30年ぶりに更新した。
- 22日 ○中央最低賃金審議会は、2020年度の地域別最低賃金の目安について「現行水準の維持が適当」とする答申を決めた。据え置き答申はリーマン・ショック後の2009年度以来。新型コロナウイルスの感染拡大による経済情勢の悪化を考慮した。
- 24日 ○米国務省は、トランプ米政権の命令通り、テキサス州ヒューストンの中国総領事館が閉鎖されたとした。27日には、中国政府が閉鎖を求めた四川省成都の米総領事館が閉鎖された。報復の応酬で米中対立が激化している。
- 26日 ○米ジョンズ・ホプキンズ大の集計によると、新型コロナウイルスの感染者が、世界全体で1,600万人を超えた。過去最悪に並ぶ4日で100万人増のペースで感染が拡大、死者は64万人を上回っている。



# その先の、道へ。北海道

**北海道議会時報  
第72巻 第2号**

編集 北海道議会事務局政策調査課  
〒060-0002  
札幌市中央区北2条西6丁目  
TEL 011-204-5691  
E-Mail [gikai.seisakul@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:gikai.seisakul@pref.hokkaido.lg.jp)  
発行 令和2年（2020年）10月9日